

現場説明事項

工事名称 市立諏訪集会所大規模修繕工事

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立諏訪集会所の劣化に伴う修繕工事（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、工事用図面 A4（A3 二つ折）を 3 部製本し提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 現場施工期間は令和 6 年 12 月 16 日から令和 7 年 3 月 14 日までとし、期間内に現場使用前検査を受け、引き渡しをすること。
- 4) 降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 5) 仮設については、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。
- 6) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、近隣道路に違法駐車しないこと。
- 7) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 8) 住宅地ということを考え安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。
- 9) 大気汚染防止法の改正により、石綿の規制が強化されているため「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」等に基づき工事を行うこと。石綿事前調査結果の報告手続きは遅滞なく行うこと。
- 10) ホルムアルデヒド等有害化学物質の発生材は、MSDS（化学物質安全データシート）等を確認した上で監督員に提出すること。
- 11) 提出書類については、富士見市様式で遅滞なく提出すること。
- 12) 竣工図は、監督員と協議の上、CAD データを作成すること。

設 計 仕 様 書

工事名称 市立諏訪集会所大規模修繕工事

工事場所 富士見市 諏訪2丁目 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称						市立諏訪集会所大規模修繕工事					
請負工事費											
工事概要											
屋根塗装・外壁塗装・内装仕上等修繕											
照明器具のLED化等											
洋便器のウォシュレット化・空調等更新											
総括表										上段	設計変更
										下段	原設計
名称	摘要	数量	単位	金額				備考			
建築工事		1	式								
電気設備工事		1	式								
機械設備工事		1	式								
計		1	式								
共通仮設費		1	式								
純工事費		1	式								
現場経費		1	式								
工事原価		1	式								
一般管理費		1	式								
工事価格		1	式					スクラップ [°] 控除前 スクラップ [°] 控除			
改め		1	式								
消費税相当額		1	式					10%			
請負工事費		1	式								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	振動測定器、騒音測定器、 測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 -)

()

()

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設(積み上げ)						
化学物質室内濃度測定	5物質測定(ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン)					
	作業前×2箇所・作業後×2箇所	4.0	回			
アスベスト分析費用	屋根・外壁・軒裏・和室天井ボード・トイレ天井(大平板)					
	試料持込費、報告書作成費を含む	5.0	箇所			
物置等移設						
	3人工程度	1.0	式			
計						

(P - 共通 3)

(—————)

市立諏訪集会所大規模修繕工事

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接工事費						
I	建築工事		1.0	式			
II	電気設備工事		1.0	式			
III	機械設備工事		1.0	式			
IV	廃棄物運搬・処分費		1.0	式			
	計						

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	建築工事						
1	仮設工事		1.0	式			
2	屋根等改修工事		1.0	式			
3	外壁等改修工事		1.0	式			
4	外部建具改修工事		1.0	式			
5	内装改修工事		1.0	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	仮設工事						
	整理清掃・後片づけ	外部	50.6	m ²			
	整理清掃・後片づけ	内部 引渡し清掃	134.2	m ²			
	くさび緊結式足場(本足場)	2か月 手すり先行方式 建地幅600mm 運搬費含む	374.3	m ²			
	安全手すり		51.6	m			
	ネット状養生シート張り	メッシュシート防炎1類	374.3	m ²			
	脚立足場	内部改修	117.1	m ²			
	養生	外部	50.6	m ²			
	養生	内部	134.2	m ²			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	屋根等改修工事						
	高压洗浄	屋根・庇 水洗い程度	194.6	m ²			
	遮熱塗装	フッ素系3回塗り(下塗り含む)、棟塗装含む	194.6	m ²			
	縁切り	タスペーサー同等	192.9	m ²			
	集水器	硬質塩ビ製 角型 幅75mm用 エルボ2個 呼びとい共	6.0	個			
	樋撤去		66.3	m			
	軒樋設置	硬質塩ビ製 角型 幅75mm 継手・止まり共	43.2	m			
	竪樋設置	硬質塩ビ製丸型60φ 継手共	23.1	m			
	竪樋地中つなぎ部分掘削	W30cm×D30cm×H30cm程度掘削・埋戻	6.0	箇所			
	雨水枡泥取り清掃	厚15cm程度撤去・場内処分	4.0	箇所			
	小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 外壁等改修工事						
高压洗浄	外壁・軒裏・庇裏・基礎・AW・AD・雨戸 水洗い程度	288.4	m ²			
外部建具廻り シーリング撤去・新設	変性シリコン系 ノンブリードタイプ	130.2	m			
サイディング シーリング撤去・新設	変性シリコン系 ノンブリードタイプ	106.3	m			
軒裏 シーリング撤去・新設	軒裏 - 外壁間 変性シリコン系 ノンブリードタイプ	2.5	m			
庇 シーリング撤去・新設	変性シリコン系 ノンブリードタイプ	8.1	m			
外壁 塗装改修	超耐候形一液NAD特殊シリコン樹脂塗料 A種同等(下塗り水性エポキシ樹脂含む)	149.7	m ²			
軒裏・庇裏 合成樹脂エマルジョンペイント塗り	C種	62.0	m ²			
破風・鼻隠し 下地調整	汚れ・付着物除去・研磨紙ずり(RC種)	85.2	m			
破風・鼻隠し 合成樹脂エマルジョンペイント塗り	B種	85.2	m			
破風・鼻隠し シーリング撤去・新設	変性シリコン系 ノンブリードタイプ	85.2	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	軒天小屋裏換気ガラリ再塗装	スチール製(ダンパー付き、300×150)	7.0	箇所			
		RA種2種ケレン、錆止め塗料塗C種					
	基礎薄塗りモルタル		16.1	㎡			
		金ゴテ 既調合 塗厚5mm					
	小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	外部建具改修工事						
	網戸張替え(AW-1)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	2.0	枚			
	網戸張替え(AW-1 欄窓)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	2.0	枚			
	網戸張替え(AW-2)(AW-2')	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	3.0	枚			
	網戸張替え(AW-3)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	4.0	枚			
	網戸張替え(AW-5)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	1.0	枚			
	網戸張替え(AW-6)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	3.0	枚			
	網戸張替え(AW-7)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	3.0	枚			
	網戸張替え(AW-8)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	3.0	枚			
	網戸張替え(AW-9)	合成樹脂製 16～18メッシュ 線径0.25mm	2.0	枚			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガラスフィルム撤去						
	AW-2,AW-2'下部	2.30	m ²			
格子取外し再設置						
	7ヶ所	3.9	m ²			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修工事					
	(撤去)					
	畳 撤去	集会室	27.0	枚		
	縁甲板 撤去(根太共)	集会室	5.0	m ²		
	畳寄せ 撤去	集会室	19.8	m		
	クロス 撤去	標準剥離 玄関・ホール・廊下、集会室、調理室、WD-1・-2	153.9	m ²		
	天井クロスボード 撤去	集会室・調理室の一部(集積共)石綿含有見込	16.6	m ²		
	大平板撤去	(集積共) 石綿含有見込	15.5	m ²		
	玄関ホール手摺撤去		1.0	箇所		
	調理室吊戸棚撤去		1.0	式		
	調理室ロールスクリーン撤去		3.4	m		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	カーテンレール撤去			14.9		m							

積算用紙

						上段	変更設計						
						下段	原設計						
名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(新設)												
	床組		集会室 下地調整 根太30×40 @303	49.7		m ²							
	床:複合フローリング		集会室 化粧単板張りt=15 Nクラレス15 同等品	49.7		m ²							
	床モルタル塗り金ゴテ押え		トイレ 張物下地	15.5		m ²							
	クッションフロア		トイレ 耐湿工法	15.5		m ²							
	ビニル幅木		集会室・便所 H=100	42.5		m							
	クロス貼り		玄関・ホール・廊下、集会室、調理室、WD-1・-2 一般品(定価1,200円)同等、下地調整含む	153.9		m ²							
	OSCL塗		集会室(枠・長押)・小会議室(壁・天井・梁)木部B種、RB種共	83.4		m ²							
	集会室吹抜天井 合成樹脂エマルジョンペイント塗り		C種	19.1		m ²							
	天井化粧せっこうボード張り		集会室・便所 GB-D 準不燃 t=9.5	32.1		m ²							
	廻り縁		便所 塩ビ製	24.4		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井断熱材敷き込み	グラスウール10K 厚100 λ0.05、R2.0程度	49.7	m ²			
カーテンレール新設(壁付)	シングルレール	8.0	m			
便所ピクトグラフ	アクリル製シルク印刷 平付け200×200	2.0	箇所			
玄関ホール手摺新設	木製 φ35 L900 補強共	2.0	箇所			
壁付エアコン下地	900×450程度 ラワン1類t12 見え掛かり	3.0	箇所			
床 ソフトブロック塗装改修	サンダー掛け 木部ウレタン樹脂ワニス1液形	20.9	m ²			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備工事						
1	電灯設備工事		1.0	式			
2	コンセント設備工事		1.0	式			
3	撤去工事		1.0	式			
	合計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1 電灯設備工事						
照明器具	A1	3.0	台			
照明器具	A2	1.0	台			
照明器具	A3	1.0	台			
照明器具	B	2.0	台			
照明器具	C	4.0	台			
照明器具	D	12.0	台			
照明器具	E	1.0	台			
照明器具	F	1.0	台			
照明器具	G	5.0	台			
照明器具	J	2.0	台			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
照明器具	K	1.0	台			
照明器具	L	5.0	台			
照明器具	M	1.0	台			
照明器具	P	2.0	台			
非常警報装置	一体型 露出	1.0	面			
埋込スイッチ	金属プレート 1P15A×1	1.0	組			
埋込スイッチ	金属プレート 1PL15A×1	1.0	組			
埋込スイッチ	金属プレート 3W15A×1	1.0	組			
埋込スイッチ	金属プレート 1P15A×2	2.0	組			
埋込スイッチ	金属プレート 1P15A×1+1PL15A×1	2.0	組			
埋込スイッチ	金属プレート 1P15A×1+3W15A×1	1.0	組			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋込スイッチ	金属プレート 1P15A×2+1PL15A×1	1.0	組			
防水スイッチ	1P15A×1	1.0	組			
フラッシュプレート	金属製 角型 1連用 ブランク	8.0	枚			
フラッシュプレート	金属製 丸型 ブランク	5.0	枚			
EM-EEFケーブル	1.6mm-2C コロガシ	1.0	m			
EM-EEFケーブル	1.6mm-2C 管内	1.0	m			
EM-EEFケーブル	1.6mm-3C コロガシ	1.0	m			
EM-EEFケーブル	1.6mm-3C 管内	15.0	m			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2 コンセント設備工事						
EM-EEFケーブル	2.0mm-3C コロガシ	41.0	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm-3C 管内	13.0	m			
1種金属線び	MM1-A	9.0	m			
1種金属線び付属品	スイッチボックス A型1個用	6.0	個			
埋込コンセント	金属プレート 2P15A×1	2.0	個			
埋込コンセント	金属プレート 2P15A×2	12.0	個			
埋込コンセント	金属プレート 2P15A×2E	1.0	個			
埋込コンセント	金属プレート 2P15A×1ET	3.0	個			
埋込コンセント	金属プレート 250V 2P15/20A×1EET	3.0	個			
blankチップ	取付枠共	1.0	個			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
フラッシュプレート	金属製 角型 1連用 ブランク	2.0	枚			
漏電遮断器	ELB 2P20AF	1.0	個			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3 撤去工事(電気設備)						
照明器具撤去	A1	3.0	台			
照明器具撤去	A2	1.0	台			
照明器具撤去	A3	1.0	台			
照明器具撤去	B	2.0	台			
照明器具撤去	C	4.0	台			
照明器具撤去	D	14.0	台			
照明器具撤去	E	1.0	台			
照明器具撤去	F	1.0	台			
照明器具撤去	G	5.0	台			
照明器具撤去	H	4.0	台			

(P. - E - 7)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
照明器具撤去	I	1.0	台			
照明器具撤去	J	2.0	台			
照明器具撤去	K	1.0	台			
照明器具撤去	L	5.0	台			
照明器具撤去	M	1.0	台			
照明器具撤去	O	4.0	台			
壁付扇風機撤去	450φ コンセント式	2.0	台			
非常警報設備撤去		1.0	面			
コインタイマー撤去		3.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×1	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1PL15A×1	1.0	個			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配線器具撤去	埋込スイッチ3W15A×1	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×2	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×1+1PL15A×1	2.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×1+3W15A×1	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×3	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×3+1PL15A×1	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1PL15A×2+強弱スイッチ×2	1.0	個			
配線器具撤去	埋込スイッチ1P15A×1 WP	1.0	個			
配線器具撤去	埋込コンセント2P15A×1	4.0	個			
配線器具撤去	埋込コンセント2P15A×2	12.0	個			
配線器具撤去	埋込コンセント2P15A×2E	1.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配線撤去	VVF1.6-2C コロガシ	11.0	m			
配線撤去	VVF1.6-3C コロガシ	20.0	m			
配線撤去	VVF2.0-3C 管内	36.0	m			
モール撤去		3.0	m			
テレビアンテナ撤去	8素子+14素子 2段	1.0	基			
混合器撤去		1.0	台			
屋根馬撤去		1.0	基			
直列ユニット撤去	端末	1.0	個			
配線撤去	5C-2V	15.0	m			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
III 機械設備工事						
1 空気調和設備工事		1.0	式			
2 換気設備工事		1.0	式			
3 衛生設備工事		1.0	式			
4 給湯設備工事		1.0	式			
5 厨房機器設備工事		1.0	式			
6 撤去工事		1.0	式			
合計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1 空気調和設備工事						
壁掛エアコン	14畳 1φ200V					
	冷房4.0kW 暖房5.0kW	2.0	組			
据付費	ルームエアコン セパレート形					
	室内機 壁掛け 4.0kW以下	2.0	台			
据付費	ルームエアコン セパレート形					
	室外機 床置き 4.0kW以下	2.0	台			
壁掛エアコン	18畳 1φ200V					
	冷房5.6kW 暖房6.7kW	1.0	組			
据付費	ルームエアコン セパレート形					
	室内機 壁掛け 6.3kW以下	1.0	台			
据付費	ルームエアコン セパレート形					
	室外機 床置き 6.3kW以下	1.0	台			
断熱材被覆鋼管						
	液管 φ6.4(保温厚10mm以上)	20.0	m			
断熱材被覆鋼管						
	ガス φ9.5(保温厚20mm以上)	20.0	m			
EM-EEFケーブル						
	2.0mm-3C 管内	20.0	m			
保温化粧ケース						
	60×58 樹脂製・屋外用	12.0	m			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
機械研り	75φ 200mm程度	3.0	箇所			
ブロック(硬質ビニル製)	0.2㎡未満/個	0.3	㎡			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2 換気設備工事						
換気扇 F-1	天井埋込形 180φ 風量切替 VD-20ZVR7-C 相当品	2.0	台			
換気扇 F-2	壁付 250φ×880CMH EX-25SH9 相当品	1.0	台			
換気扇 F-3	壁付 250φ×880CMH EX-25EMP9 相当品	1.0	台			
換気扇 F-4	壁付 200φ×540CMH EX-20SH9 相当品	2.0	台			
給気レジスタ F-5	壁付 150φ P-18QSR 相当品	2.0	台			
ウェザーカバー	SUS製 防鳥網付 20cm用	2.0	台			
ウェザーカバー	SUS製 防鳥網付 25cm用	2.0	台			
換気扇 取付費	天井埋込形	2.0	台			
換気扇 取付費	150φ以下	2.0	台			
換気扇 取付費	200φ以下	2.0	台			

(P. - M - 4)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
換気扇 取付費	250φ以下	2.0	台			
ベントキャップ	150A SUS製 防鳥網付	2.0	台			
	P-18VSQ4 相当品					
ベントキャップ	150A SUS製 低圧損失形FD付	2.0	台			
ベントキャップ 取付費	150mm	4.0	台			
24時間換気スイッチ	P-04SWL2 相当品	2.0	個			
24時間換気スイッチ 取付費		2.0	個			
機械研り	150φ 200mm程度	2.0	箇所			
小計						

(P. - M - 5)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3 衛生設備工事						
温水洗浄便座	CW-KB31 相当品	3.0	台			
温水洗浄便座 取付費	タンク式	3.0	台			
小便器	自動フラッシュパネル(露出形、電池式) TEA61ADS 相当品	2.0	台			
小便器 取付費	洗浄弁式床置小便器 小形	2.0	台			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 給湯設備工事						
ガス瞬間湯沸器	屋内壁掛式 開放式 5号	1.0	台			
ガス瞬間湯沸器 据付費	屋内壁掛式 開放式 5号	1.0	台			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5 厨房機器設備工事						
ガステーブル	2口コンロ 幅59cm グリル機能なし	1.0	台			
ガステーブル 据付費	幅 750mm以下	1.0	台			
横水栓	T130AEQF13 C 相当品	1.0	個			
水栓類 取付費	13A	1.0	個			
小計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6 撤去工事(機械設備工事)						
パッケージ形空気調和機撤去	室内機 天井吊り 4.0kW以下	2.0	台			
パッケージ形空気調和機撤去	室外機 床置き 防振基礎無し 4.0kW以下	2.0	台			
パッケージ形空気調和機撤去	室内機 壁掛け 5.6kW以下	1.0	台			
パッケージ形空気調和機撤去	室外機 床置き 防振基礎無し 5.6kW以下	1.0	台			
断熱材被覆鋼管撤去	液管 φ6.4 1/4B	17.0	m			
断熱材被覆鋼管撤去	ガス φ12.7 1/2B	17.0	m			
冷媒フロン回収工事	冷却能力 4.5kW	2.0	台			
冷媒フロン回収工事	冷却能力 7.1kW	1.0	台			
換気扇撤去	天井付 電源式 強弱 370×370	2.0	台			
換気扇撤去	壁付 電源式 350×370	1.0	台			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
換気扇撤去	壁付 電源式 350×350	1.0	台			
換気扇撤去	壁付 コンセント式 320×300	2.0	台			
ベントキャップ撤去		2.0	個			
ガス瞬間湯沸器撤去	5号 元止式	1.0	台			
ガステーブル撤去	幅 750mm以下	1.0	台			
洋風大便器 便座撤去	タンク式	3.0	台			
リモコン撤去		2.0	台			
横水栓撤去		1.0	個			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
IV	廃棄物運搬・処分費						
	発生材運搬	廃プラスチック類	0.6	m ³			
	発生材運搬	ボード類	0.3	m ³			
	発生材運搬	スレート類	0.4	m ³			
	発生材運搬	木材類	0.2	m ³			
	発生材運搬	混合廃棄物	6.1	m ³			
	発生材運搬	蛍光灯	1.0	式			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	廃プラスチック類	0.6	m ³			
処分費	ボード類(石綿含有見込)(管理型)	0.3	m ³			
処分費	スレート類(石綿含有見込)(安定型)	0.4	m ³			
処分費	木材類	0.2	m ³			
処分費	混合廃棄物	6.1	m ³			
処分費	蛍光灯	8.4	kg			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						

市立諏訪集会所大規模修繕工事

設計図

富士見市 総務部 営繕課

工 事 名	市立諏訪集会所大規模修繕工事	
I 工事概要		
1. 工事場所	富士見市諏訪2丁目 地内	
2. 敷地面積	321.95㎡	
3. 建物概要	木造・平屋建て 建物用途：地域集会所 建築面積：137.23㎡・延床面積：134.75㎡	
4. 工事内容	建築工事) 屋根等改修 外壁等改修 外部建具網戸交換 内装改修 (畳のフローリング化・内装仕上げ修繕等) 電気設備工事) 電灯設備改修 (LED化) ・コンセント設備改修 機械設備工事) 空調設備改修・換気設備改修・衛生設備改修・給湯機更新	
5. 工 期	契約工期	契 約 日 日から令和7年3月21日まで
6. 工事範囲	※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ※「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。	

工事種目	工事種目				
2 仮設工事	○				
3 防水改修工事	○				
4 外壁改修工事	○				
-1 コンクリート打直し仕上げ外壁					
-2 モルタル塗り仕上げ外壁					
-3 タイル張り仕上げ外壁					
-4 塗り仕上げ外壁	○				
-5 外壁用塗膜防水塗り					
5 建具改修工事	○				
6 内装改修工事	○				
7 塗装改修工事	○				
8 耐震改修工事					
9 環境配慮改修工事	○				
10 鉄筋工事					
11 コンクリート工事	○				

II 建築改修工事仕様

(1) 質問回答書、本特記仕様書 (改修) 及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。) 及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。) による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等 (条例を含む) と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の場合は、◎のみを適用する。
3) 特記事項に記載の [. . .] 内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4) 特記事項に記載の [. . .] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5) 特記事項に記載の (. . .) 内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、() 内は製品名を示す。
7) 本工事において、「環境物品等の調達推進に関する基本方針 (最新版)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針 (最新版)」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等 (以下「特定調達物品等」という) を選択しよう努めるものとする。
なお、[G] 印は設計図書で定めのある品目を示す。
8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項
1	一般共通事項	
①	適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針 (国土交通省監修) (参考図書) ※建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
②	条件明示事項	保険の種類 [1. 1. 3] ※法定外の労災保険 (工事に従事する者(全ての下請人員を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等 (工事目的物及び工事材料等を対象とするもの) ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事成実完成期日後14日を含む期間
③	工事実績情報の登録	※行う (請負代金額500万円以上、10日以内に登録) ・行わない [1. 1. 4] [1. 1. 8]
4	適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (Vo=32m/s) 地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 H12. 5. 31告示第1455号における区域 別表 () ・大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の腐間変形角 ・1/200 ・1/150 ・1/120 ・ (図示) 確認箇所 ()
5	別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 [1. 1. 7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。
6	施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1. 1. 12、13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物
⑦	工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1. 2. 4] [1. 6. 6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する (CD-R又はDVD-Rで1部提出) ・適用しない
⑧	電気保安技術者	適用する [1. 3. 3] [1. 3. 1]
9	施工条件	施工時間 [1. 3. 5] ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28. 5%(8日/28日) 以上であること。 ・年末年始(日)、夏季休暇(3日間)、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間指定期間 () ・公告に別に添付する「埼玉県営繕工事における「週休2日制モデル工事」特記仕様書」も参照のこと 施工時間以外の施工条件 図示による
⑩	施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者 (統括安全衛生管理義務者) とする。 [1. 3. 7]
⑪	環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1. 3. 11]
⑫	発生材の処理等	引渡しを要するもの [1. 3. 12] [1. 1. 13] ※無し (全て全廃搬出適正処理) ・有り (※図示 ()) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」 (以下「建設リサイクル法」という。) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
⑬	県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は [1. 4. 2] 埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。
⑭	環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び [1. 4. 3] [1. 4. 3] 性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、コリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル) 等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
⑮	材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受け。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受け。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材、木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのeドライブ」 (林野庁 H18. 2. 15) に準拠した証明書を監督員に提出する。
⑯	石綿含有建材の調査	調査 [1. 5. 1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料 () ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロソライト、トレモライト 分析方法 分析対象 定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4 定量分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4 JIS A 1481-5 JIS A 1481-6 JIS A 1481-7 JIS A 1481-8 JIS A 1481-9 JIS A 1481-10 JIS A 1481-11 JIS A 1481-12 JIS A 1481-13 JIS A 1481-14 JIS A 1481-15 JIS A 1481-16 JIS A 1481-17 JIS A 1481-18 JIS A 1481-19 JIS A 1481-20 JIS A 1481-21 JIS A 1481-22 JIS A 1481-23 JIS A 1481-24 JIS A 1481-25 JIS A 1481-26 JIS A 1481-27 JIS A 1481-28 JIS A 1481-29 JIS A 1481-30 JIS A 1481-31 JIS A 1481-32 JIS A 1481-33 JIS A 1481-34 JIS A 1481-35 JIS A 1481-36 JIS A 1481-37 JIS A 1481-38 JIS A 1481-39 JIS A 1481-40 JIS A 1481-41 JIS A 1481-42 JIS A 1481-43 JIS A 1481-44 JIS A 1481-45 JIS A 1481-46 JIS A 1481-47 JIS A 1481-48 JIS A 1481-49 JIS A 1481-50 JIS A 1481-51 JIS A 1481-52 JIS A 1481-53 JIS A 1481-54 JIS A 1481-55 JIS A 1481-56 JIS A 1481-57 JIS A 1481-58 JIS A 1481-59 JIS A 1481-60 JIS A 1481-61 JIS A 1481-62 JIS A 1481-63 JIS A 1481-64 JIS A 1481-65 JIS A 1481-66 JIS A 1481-67 JIS A 1481-68 JIS A 1481-69 JIS A 1481-70 JIS A 1481-71 JIS A 1481-72 JIS A 1481-73 JIS A 1481-74 JIS A 1481-75 JIS A 1481-76 JIS A 1481-77 JIS A 1481-78 JIS A 1481-79 JIS A 1481-80 JIS A 1481-81 JIS A 1481-82 JIS A 1481-83 JIS A 1481-84 JIS A 1481-85 JIS A 1481-86 JIS A 1481-87 JIS A 1481-88 JIS A 1481-89 JIS A 1481-90 JIS A 1481-91 JIS A 1481-92 JIS A 1481-93 JIS A 1481-94 JIS A 1481-95 JIS A 1481-96 JIS A 1481-97 JIS A 1481-98 JIS A 1481-99 JIS A 1481-100 JIS A 1481-101 JIS A 1481-102 JIS A 1481-103 JIS A 1481-104 JIS A 1481-105 JIS A 1481-106 JIS A 1481-107 JIS A 1481-108 JIS A 1481-109 JIS A 1481-110 JIS A 1481-111 JIS A 1481-112 JIS A 1481-113 JIS A 1481-114 JIS A 1481-115 JIS A 1481-116 JIS A 1481-117 JIS A 1481-118 JIS A 1481-119 JIS A 1481-120 JIS A 1481-121 JIS A 1481-122 JIS A 1481-123 JIS A 1481-124 JIS A 1481-125 JIS A 1481-126 JIS A 1481-127 JIS A 1481-128 JIS A 1481-129 JIS A 1481-130 JIS A 1481-131 JIS A 1481-132 JIS A 1481-133 JIS A 1481-134 JIS A 1481-135 JIS A 1481-136 JIS A 1481-137 JIS A 1481-138 JIS A 1481-139 JIS A 1481-140 JIS A 1481-141 JIS A 1481-142 JIS A 1481-143 JIS A 1481-144 JIS A 1481-145 JIS A 1481-146 JIS A 1481-147 JIS A 1481-148 JIS A 1481-149 JIS A 1481-150 JIS A 1481-151 JIS A 1481-152 JIS A 1481-153 JIS A 1481-154 JIS A 1481-155 JIS A 1481-156 JIS A 1481-157 JIS A 1481-158 JIS A 1481-159 JIS A 1481-160 JIS A 1481-161 JIS A 1481-162 JIS A 1481-163 JIS A 1481-164 JIS A 1481-165 JIS A 1481-166 JIS A 1481-167 JIS A 1481-168 JIS A 1481-169 JIS A 1481-170 JIS A 1481-171 JIS A 1481-172 JIS A 1481-173 JIS A 1481-174 JIS A 1481-175 JIS A 1481-176 JIS A 1481-177 JIS A 1481-178 JIS A 1481-179 JIS A 1481-180 JIS A 1481-181 JIS A 1481-182 JIS A 1481-183 JIS A 1481-184 JIS A 1481-185 JIS A 1481-186 JIS A 1481-187 JIS A 1481-188 JIS A 1481-189 JIS A 1481-190 JIS A 1481-191 JIS A 1481-192 JIS A 1481-193 JIS A 1481-194 JIS A 1481-195 JIS A 1481-196 JIS A 1481-197 JIS A 1481-198 JIS A 1481-199 JIS A 1481-200 JIS A 1481-201 JIS A 1481-202 JIS A 1481-203 JIS A 1481-204 JIS A 1481-205 JIS A 1481-206 JIS A 1481-207 JIS A 1481-208 JIS A 1481-209 JIS A 1481-210 JIS A 1481-211 JIS A 1481-212 JIS A 1481-213 JIS A 1481-214 JIS A 1481-215 JIS A 1481-216 JIS A 1481-217 JIS A 1481-218 JIS A 1481-219 JIS A 1481-220 JIS A 1481-221 JIS A 1481-222 JIS A 1481-223 JIS A 1481-224 JIS A 1481-225 JIS A 1481-226 JIS A 1481-227 JIS A 1481-228 JIS A 1481-229 JIS A 1481-230 JIS A 1481-231 JIS A 1481-232 JIS A 1481-233 JIS A 1481-234 JIS A 1481-235 JIS A 1481-236 JIS A 1481-237 JIS A 1481-238 JIS A 1481-239 JIS A 1481-240 JIS A 1481-241 JIS A 1481-242 JIS A 1481-243 JIS A 1481-244 JIS A 1481-245 JIS A 1481-246 JIS A 1481-247 JIS A 1481-248 JIS A 1481-249 JIS A 1481-250 JIS A 1481-251 JIS A 1481-252 JIS A 1481-253 JIS A 1481-254 JIS A 1481-255 JIS A 1481-256 JIS A 1481-257 JIS A 1481-258 JIS A 1481-259 JIS A 1481-260 JIS A 1481-261 JIS A 1481-262 JIS A 1481-263 JIS A 1481-264 JIS A 1481-265 JIS A 1481-266 JIS A 1481-267 JIS A 1481-268 JIS A 1481-269 JIS A 1481-270 JIS A 1481-271 JIS A 1481-272 JIS A 1481-273 JIS A 1481-274 JIS A 1481-275 JIS A 1481-276 JIS A 1481-277 JIS A 1481-278 JIS A 1481-279 JIS A 1481-280 JIS A 1481-281 JIS A 1481-282 JIS A 1481-283 JIS A 1481-284 JIS A 1481-285 JIS A 1481-286 JIS A 1481-287 JIS A 1481-288 JIS A 1481-289 JIS A 1481-290 JIS A 1481-291 JIS A 1481-292 JIS A 1481-293 JIS A 1481-294 JIS A 1481-295 JIS A 1481-296 JIS A 1481-297 JIS A 1481-298 JIS A 1481-299 JIS A 1481-300 JIS A 1481-301 JIS A 1481-302 JIS A 1481-303 JIS A 1481-304 JIS A 1481-305 JIS A 1481-306 JIS A 1481-307 JIS A 1481-308 JIS A 1481-309 JIS A 1481-310 JIS A 1481-311 JIS A 1481-312 JIS A 1481-313 JIS A 1481-314 JIS A 1481-315 JIS A 1481-316 JIS A 1481-317 JIS A 1481-318 JIS A 1481-319 JIS A 1481-320 JIS A 1481-321 JIS A 1481-322 JIS A 1481-323 JIS A 1481-324 JIS A 1481-325 JIS A 1481-326 JIS A 1481-327 JIS A 1481-328 JIS A 1481-329 JIS A 1481-330 JIS A 1481-331 JIS A 1481-332 JIS A 1481-333 JIS A 1481-334 JIS A 1481-335 JIS A 1481-336 JIS A 1481-337 JIS A 1481-338 JIS A 1481-339 JIS A 1481-340 JIS A 1481-341 JIS A 1481-342 JIS A 1481-343 JIS A 1481-344 JIS A 1481-345 JIS A 1481-346 JIS A 1481-347 JIS A 1481-348 JIS A 1481-349 JIS A 1481-350 JIS A 1481-351 JIS A 1481-352 JIS A 1481-353 JIS A 1481-354 JIS A 1481-355 JIS A 1481-356 JIS A 1481-357 JIS A 1481-358 JIS A 1481-359 JIS A 1481-360 JIS A 1481-361 JIS A 1481-362 JIS A 1481-363 JIS A 1481-364 JIS A 1481-365 JIS A 1481-366 JIS A 1481-367 JIS A 1481-368 JIS A 1481-369 JIS A 1481-370 JIS A 1481-371 JIS A 1481-372 JIS A 1481-373 JIS A 1481-374 JIS A 1481-375 JIS A 1481-376 JIS A 1481-377 JIS A 1481-378 JIS A 1481-379 JIS A 1481-380 JIS A 1481-381 JIS A 1481-382 JIS A 1481-383 JIS A 1481-384 JIS A 1481-385 JIS A 1481-386 JIS A 1481-387 JIS A 1481-388 JIS A 1481-389 JIS A 1481-390 JIS A 1481-391 JIS A 1481-392 JIS A 1481-393 JIS A 1481-394 JIS A 1481-395 JIS A 1481-396 JIS A 1481-397 JIS A 1481-398 JIS A 1481-399 JIS A 1481-400 JIS A 1481-401 JIS A 1481-402 JIS A 1481-403 JIS A 1481-404 JIS A 1481-405 JIS A 1481-406 JIS A 1481-407 JIS A 1481-408 JIS A 1481-409 JIS A 1481-410 JIS A 1481-411 JIS A 1481-412 JIS A 1481-413 JIS A 1481-414 JIS A 1481-415 JIS A 1481-416 JIS A 1481-417 JIS A 1481-418 JIS A 1481-419 JIS A 1481-420 JIS A 1481-421 JIS A 1481-422 JIS A 1481-423 JIS A 1481-424 JIS A 1481-425 JIS A 1481-426 JIS A 1481-427 JIS A 1481-428 JIS A 1481-429 JIS A 1481-430 JIS A 1481-431 JIS A 1481-432 JIS A 1481-433 JIS A 1481-434 JIS A 1481-435 JIS A 1481-436 JIS A 1481-437 JIS A 1481-438 JIS A 1481-439 JIS A 1481-440 JIS A 1481-441 JIS A 1481-442 JIS A 1481-443 JIS A 1481-444 JIS A 1481-445 JIS A 1481-446 JIS A 1481-447 JIS A 1481-448 JIS A 1481-449 JIS A 1481-450 JIS A 1481-451 JIS A 1481-452 JIS A 1481-453 JIS A 1481-454 JIS A 1481-455 JIS A 1481-456 JIS A 1481-457 JIS A 1481-458 JIS A 1481-459 JIS A 1481-460 JIS A 1481-461 JIS A 1481-462 JIS A 1481-463 JIS A 1481-464 JIS A 1481-465 JIS A 1481-466 JIS A 1481-467 JIS A 1481-468 JIS A 1481-469 JIS A 1481-470 JIS A 1481-471 JIS A 1481-472 JIS A 1481-473 JIS A 1481-474 JIS A 1481-475 JIS A 1481-476 JIS A 1481-477 JIS A 1481-478 JIS A 1481-479 JIS A 1481-480 JIS A 1481-481 JIS A 1481-482 JIS A 1481-483 JIS A 1481-484 JIS A 1481-485 JIS A 1481-486 JIS A 1481-487 JIS A 1481-488 JIS A 1481-489 JIS A 1481-490 JIS A 1481-491 JIS A 1481-492 JIS A 1481-493 JIS A 1481-494 JIS A 1481-495 JIS A 1481-496 JIS A 1481-497 JIS A 1481-498 JIS A 1481-499 JIS A 1481-500 JIS A 1481-501 JIS A 1481-502 JIS A 1481-503 JIS A 1481-504 JIS A 1481-505 JIS A 1481-506 JIS A 1481-507 JIS A 1481-508 JIS A 1481-509 JIS A 1481-510 JIS A 1481-511 JIS A 1481-512 JIS A 1481-513 JIS A 1481-514 JIS A 1481-515 JIS A 1481-516 JIS A 1481-517 JIS A 1481-518 JIS A 1481-519 JIS A 1481-520 JIS A 1481-521 JIS A 1481-522 JIS A 1481-523 JIS A 1481-524 JIS A 1481-525 JIS A 1481-526 JIS A 1481-527 JIS A 1481-528 JIS A 1481-529 JIS A 1481-530 JIS A 1481-531 JIS A 1481-532 JIS A 1481-533 JIS A 1481-534 JIS A 1481-535 JIS A 1481-536 JIS A 1481-537 JIS A 1481-538 JIS A 1481-539 JIS A 1481-540 JIS A 1481-541 JIS A 1481-542 JIS A 1481-543 JIS A 1481-544 JIS A 1481-545 JIS A 1481-546 JIS A 1481-547 JIS A 1481-548 JIS A 1481-549 JIS A 1481-550 JIS A 1481-551 JIS A 1481-552 JIS A 1481-553 JIS A 1481-554 JIS A 1481-555 JIS A 1481-556 JIS A 1481-557 JIS A 1481-558 JIS A 1481-559 JIS A 1481-560 JIS A 1481-561 JIS A 1481-562 JIS A 1481-563 JIS A 1481-564 JIS A 1481-565 JIS A 1481-566 JIS A 1481-567 JIS A 1481-568 JIS A 1481-569 JIS A 1481-570 JIS A 1481-571 JIS A 1481-572 JIS A 1481-573 JIS A 1481-574 JIS A 1481-575 JIS A 1481-576 JIS A 1481-577 JIS A 1481-578 JIS A 1481-579 JIS A 1481-580 JIS A 1481-581 JIS A 1481-582 JIS A 1481-583 JIS A 1481-584 JIS A 1481-585 JIS A 1481-586 JIS A 1481-587 JIS A 1481-588 JIS A 1481-589 JIS A 1481-590 JIS A 1481-591 JIS A 1481-592 JIS A 1481-593 JIS A 1481-594 JIS A 1481-595 JIS A 1481-596 JIS A 1481-597 JIS A 1481-598 JIS A 1481-599 JIS A 1481-600 JIS A 1481-601 JIS A 1481-602 JIS A 1481-603 JIS A 1481-604 JIS A 1481-605 JIS A 1

屋内防水			
工法	種別	施工箇所	備考
・P1E	・E-1		保護層 設ける
・P2E	・E-2		保護層 設けない

・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位）
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋根根水溝 ※図示

屋根露出防水（既存） 新設防水層の種別					
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考
・M4AS ・M3AS ・POAS	・AS-T1 ・AS-T2		[9.2.1~3]	(種類・使用量) ※改質7770樹脂の製造所の仕様	(種類・使用量) ※改質7770樹脂の製造所の仕様
	・AS-T3 ・AS-T4				
	・AS-J1 ・AS-J3 (POASのみ)				
・M3AS ・M4AS ・POAS	・AS1-T1 ・AS1-J1	(材質) ※JIS A 9521による 発泡7770樹脂 (厚さ)		(種類・使用量) ※改質7770樹脂の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける (改修用) 設ける (改修用) 設けない

高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
・種類 () 個/㎡
・設置数量 () 個/㎡
押え金物
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定
設置数量 ※改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)
絶縁断熱工法の防湿シート ・設置する ・設置しない

新設防水層の種別								
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考			
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける (改修用) 設けない (改修用) 設ける (改修用) 設けない			
	・SSS	・S-F1 ・S-F2				・7770樹脂下地 ・7770樹脂下地	(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様	設ける 設けない
		・MAS				・S-M1 ・S-M2 ・S-M3		(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様
	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・MAS1					・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2	(材質) ※JIS A 9521による 発泡7770樹脂 (厚さ)・25mm・50mm	(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様

高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・適用しない
・S-M2で立り面を接着工法とする場合
立り面のシート厚 (※1.5mm)
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用
※非歩行仕様
・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)

屋内防水 防水層の種別			
改修工法	種別	施工箇所	備考
・PIS	・S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合
厚さ () mm
目地割り (※2㎡程度 最大目地間隔3㎡程度)
目地の種類 (※押し目地)
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改質標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
絶縁用シート等の材質
※発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面
若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の指定による
・種類 () 個/㎡
・設置数量 () 個/㎡

接着工法の目地処理
Pコンクリート下地の場合 ()
Pコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、S1-F1の場合)
・行う (・図示)
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする ウレタンゴム系塗膜防水工法				
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける (改修用) 設けない
	・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H	(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける 設けない

高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※材料の製造所の指定による ・種類 () 個/㎡ ・設置数量 () 個/㎡				
ゴムアスファルト系塗膜防水工法				
工法	種別	施工箇所	各工程及び各工種の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける ・設けない
施工箇所				
	シーリング材の種類(記号)			
シーリング材の種類				
種別	呼び	施工箇所		
・ろく屋根用特形I型	※ねじ込み式	・80・100・125・150		
・ろく屋根用機形I型	※ねじ込み式	・80・100・125・150		
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50・80・100		
	・差し込み式	・50・75・100		
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50・80・100		
	・差し込み式	・50・75・100		
種類				
オープン形式	押出250形	押出300形	押出350形	
	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	
※設置する (ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない				

2 欠損部改修工法	
※充填工法	[4.1.4][4.2.4、7]
・エポキシ樹脂モルタル	・ポリマーセメントモルタル

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁					
1 既存モルタル塗りの撤去	※全面 ・図示の範囲				
・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5~8]					
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)		
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130		
樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40		
樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70		
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130		
3 欠損部改修工法					
※充填工法	[4.1.4][4.3.9、10]				
・エポキシ樹脂モルタル	・ポリマーセメントモルタル				
4 浮き部改修工法					
※充填工法	[4.1.4][4.3.11~16]				
・アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの				
・注入口付アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm				
アンカーピン					
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m)	注入口の箇所数(箇所/m)	注入量(ml/箇所)		
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	一般部	指定部	一般部 指定部		
	※16	※25	— —		
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12 ※20		
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12 ※20		
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	— —		
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9 ※16		
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9 ※16		
・充填工法	—	—	—		
・モルタル塗替え工法	—	—	—		
注入工法用材料					
ポリマーセメントスラリー	樹脂注入工法				
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (材齢28日) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

5 浮き部改修工法	
※充填工法	[4.1.4][4.4.5、9~15][4.5.9~15]
・アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・注入口付アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

アンカーピン			
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m)	注入口の箇所数(箇所/m)	注入量(ml/箇所)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	一般部	指定部	一般部 指定部
	※16	※25	— —
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12 ※20
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12 ※20
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	— —
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9 ※16
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9 ※16
・充填工法	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

タイル部分張替え工法
※4 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による

タイル張替え工法	
※4 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による	[4.1.4][4.4.5、16]
・目地ひび割れ部改修工法	
・伸縮調整目地改修工法	
・伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示	
・シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。	

4-3 タイル張り仕上げ外壁	
1 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整	[4.5.4]
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示
・加圧力 ※30MPa程度以上	(既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示
○水洗い工法	※上記以外の既存仕上げ面全体 ・図示
下地調整	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル [4.5.2]
・その他特殊な工法等 (既存塗膜等に含有する石棉の除去を行う場合など。下地調整含む。)	※図示による

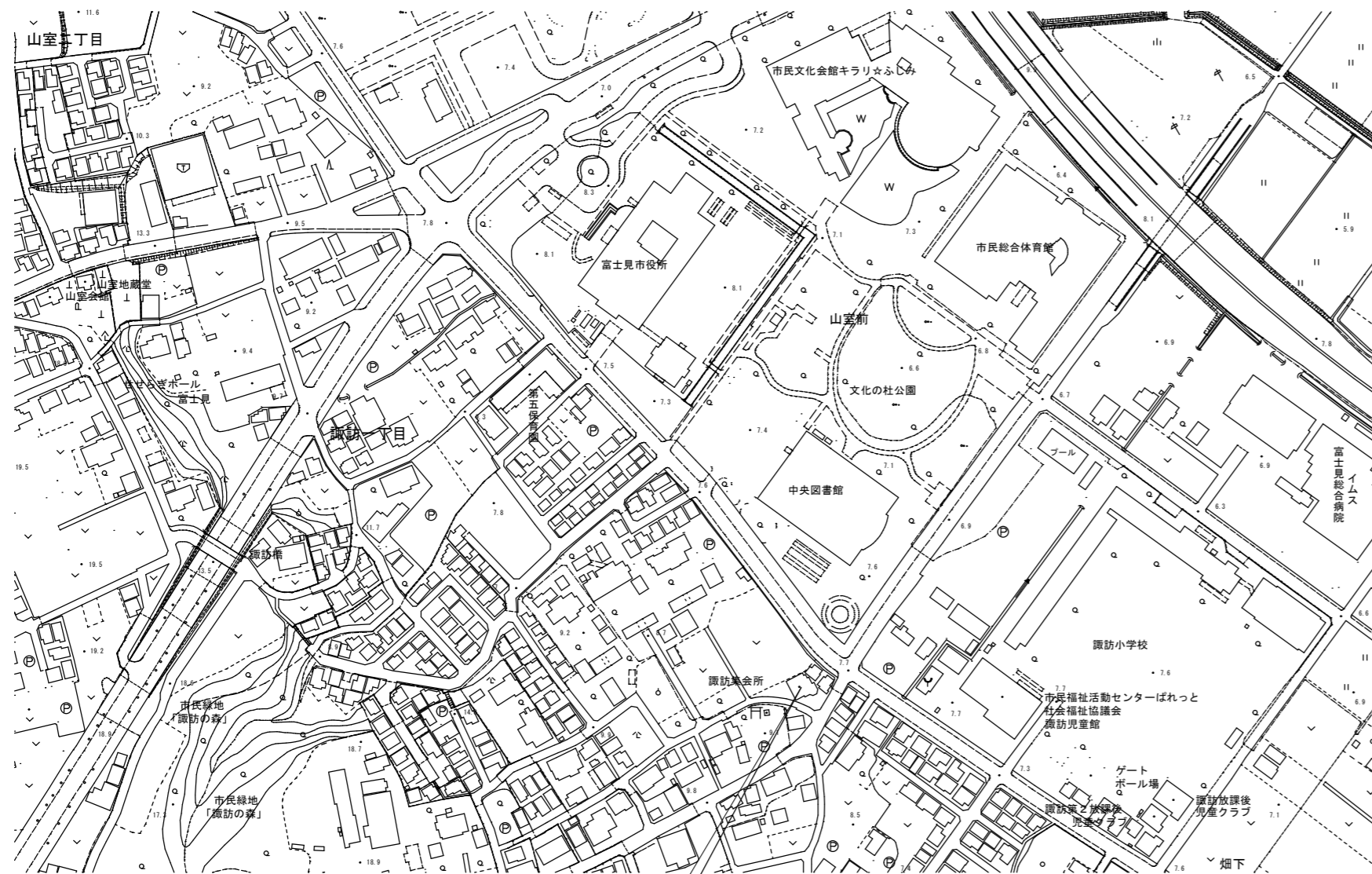
② 仕上塗材仕上げ			
[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]	[4.5.4]		
新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け	・外装薄塗材 S1	・	・砂壁状
仕上塗材	・可とう形外装薄塗材 S1	・	・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)
	・外装薄塗材 E	・	・さざ波状 ・平たん状
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)
	・防水形外装薄塗材 E	・	・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り)
	・砂壁状仕上	・	・砂壁状仕上
・厚付け	・外装厚塗材 C	・	・吹付け ・凸部処理
仕上塗材	・外装厚塗材 S1	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かさ落とし
	・外装厚塗材 E	・	・土塗材 ・適用する ・適用しない
・複層	・複層塗材 C E	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状
仕上塗材	・複層塗材 S1	・	・耐候性 ※耐候形3種
	・複層塗材 R E	・	・上塗材
	・複層塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系
	・防水形複層塗材 C E	・	・樹脂 ※アクリル系
	・防水形複層塗材 E	・	・外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材 R E	・	・メタリック
3 マスチック塗材塗り			
種別	・A種 ・B種		
4-5 外壁用塗膜防水材塗り			
※充填工法	[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]		
・アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの		
・注入口付アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm		
外壁用塗膜防水材			
仕上塗材	仕上塗料		
・アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの		
・注入口付アンカーピン	※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm		

Table with 8 rows and 2 columns. Headers include '8 合板等', '9 接合具等', '10 接着剤', '11 防腐・防蟻処理', '12 内部間仕切軸組及び床組み', '13 窓、出入口その他', '14 軽量鉄骨天井下地'. The table contains detailed specifications for various construction materials and treatments, including grades, thicknesses, and application methods.

Table with 15 rows and 2 columns. Headers include '15 軽量鉄骨壁下地', '16 ビニル床シート', '17 ビニル床タイル', '18 特殊機能床材', '19 ビニル幅木', '20 ゴム床タイル', '21 カーベット敷き', '22 合成樹脂塗床', '23 フローリング張り', '24 畳敷き'. The table details specifications for flooring materials, including vinyl sheets, tiles, mats, and carpets, covering types, dimensions, and installation requirements.

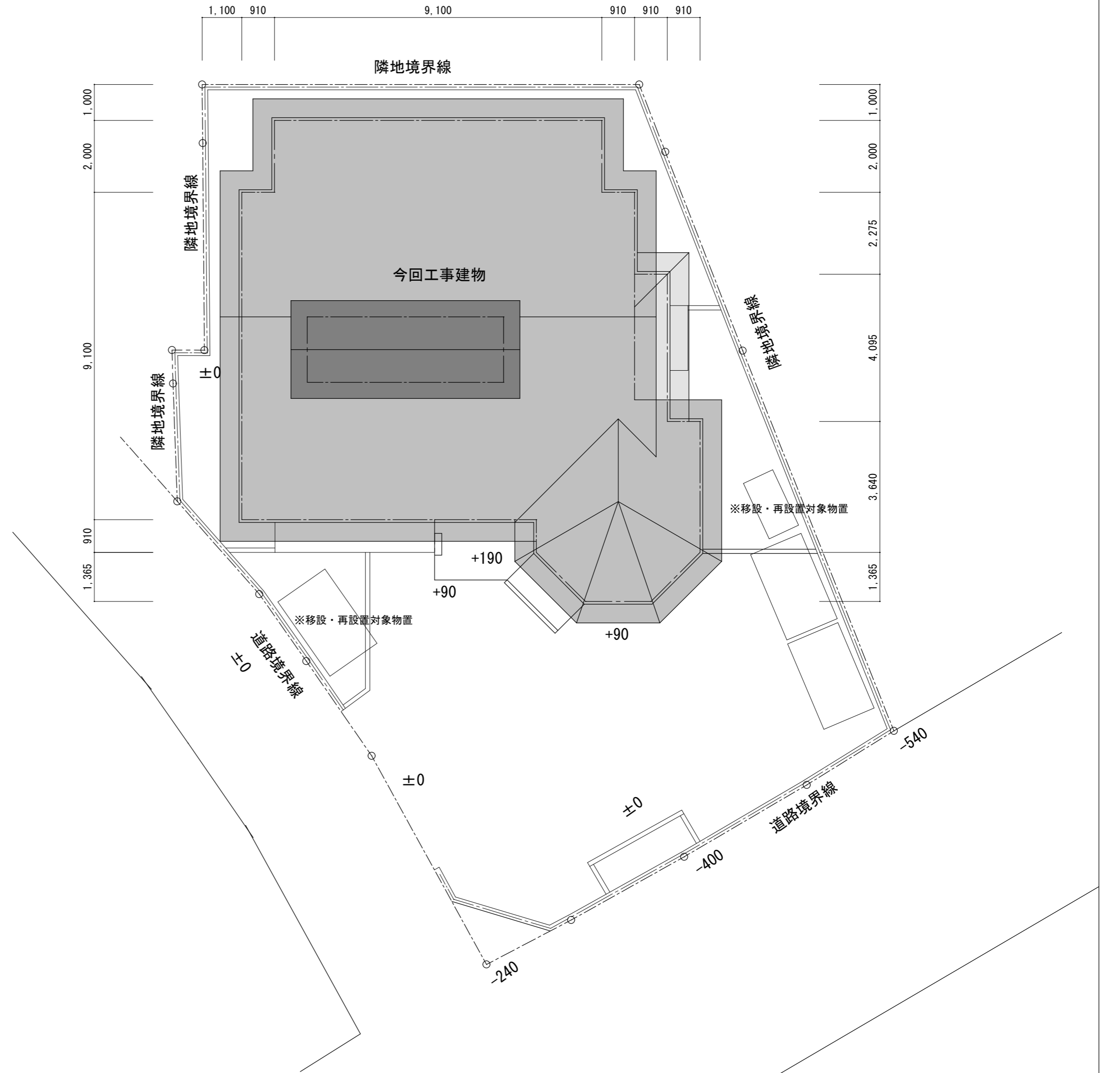
Table with 24 rows and 2 columns. Headers include '24 畳敷き', '25 セッコウボード', '26 壁紙張り', '27 モルタル塗り', '28 タイル張り', '29 セルフレベリング材塗り', '30 フリーアクセスフロア', '31 可動間仕切', '32 移動間仕切', '33 トイレブース', '34 手すり'. The table provides specifications for wall treatments, ceiling panels, papering, plastering, tiling, leveling materials, access floors, movable partitions, moving partitions, toilet stalls, and handrails.

Table with 27 rows and 2 columns. Headers include '27 モルタル塗り', '28 タイル張り', '29 セルフレベリング材塗り', '30 フリーアクセスフロア', '31 可動間仕切', '32 移動間仕切', '33 トイレブース', '34 手すり'. The table continues with specifications for plastering, tiling, leveling materials, access floors, movable partitions, moving partitions, toilet stalls, and handrails, including material types and performance standards.



埼玉県富士見市諏訪2丁目地内
(諏訪集会所)

【案内図】



【配置図 S=1/100】

敷地面積：321.95㎡
建築面積：137.23㎡
延床面積：134.75㎡

※スレート（石綿含有見込）0.4m3処分

外部仕上表		備考	玄関ポーチ	土間コンクリートの上、モルタル下地、磁器質150角タイル張り(中木共)、スロープ:モルタル③30/耐毛引仕上 階段:段島タイル使用、柱型:外壁(タイル調サイディング⑩12)と同じ、出隅:同質サイディング使用
屋根	屋根	彩色石綿板(石綿セメント系)互④45巻、勾配4/10、アスファルト-フィン②22kg/巻(940)、野地板:ラワンベニヤ(T-1)⑩12		
	屋根	棟役物及び各種木切(専用金属板加工品使用)、雪止×取付 越屋根:屋根と同仕様		
	屋根	ケイ酸カルシウム板⑩12(無石棉)下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗		天井:軒天井ボード(岩綿吸音板・ストライプ調・シーラー処理済)⑩12下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗(防火才1154号)
	軒	ケイ酸カルシウム板⑩12(無石棉)下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗(防火才590号)		
外壁	外壁	特殊セメント板(無石棉)サイディング⑩12横張り(塗装品)[防火才676号又は同等品以上] 一部タイル調サイディング⑩12張り(塗装品)[防火才676号又は同等品以上]、出隅部:同質サイディング使用(L-85×85) 一部腰壁モルタル金ゴテ③30下地、アクリルエマルジョン系吹付タイル、 ^{目地切} ⑩900内外、 ^{断熱材} :グラスウールの50(外壁面・天井面共) 基礎部水皿:合金メッキ銅板⑩0.35(既製品)	テラス 小屋裏換気グリ 館名文字	土間コンクリート金ゴテ直挿工、目地切⑩900内外 軒裏:ステール製(ダンパ付、300×150) 妻側(外壁面)及越屋根:アルミ製(ダンパ付、400×755) 真ちょう型 切文字・180×180×2(H)、7文字(正式名称及び書体は監督員の指示による)
	基礎	鉄筋コンクリート布基礎の上、防水モルタル刷毛引仕上③30、床下換気孔:120×450(ステンズ製・アミ付)	外構工事	車止メボル(ステンズ中78.3、埋没式、反射テープ付、チェーン(ステンズ製)内蔵(ℓ=2,000))、カギ付 一部アスファルト全面装
	開口部	カラ-アルミサッシ:ブラック(木造用)・詳細は建築表参照、玄関ハ-フロントサッシ	南道路面、北 西側歩道面	コンクリートブロック種⑩150、1~3段積(1留)化粧目地仕上、メッシュ状フェンス H=1,000
雨戸	軒種	塩化ビニル製、角型(82×55)、内吊金具(SUS)⑩300		
	タ子種	塩化ビニル製、60φ、受金具(SUS)⑩1,200、小型ジョウゴ使用		

内部仕上表											
室名	床	FL±0	巾木	H	壁	壁高	天井	廻縁	天井高	備考	設備
玄関	土間コンクリートの上、モルタル下地、磁器質150角タイル張り(ダント-KSF308)	-300	磁器質150角タイル(ダント-KSF308)	150	石こうボード⑩12.5下地、ビニルクロス貼(リカラLL3154)		石こうボード⑩9.5下地、岩綿化粧吸音板⑩12張り	米桐 SOP、2回塗	2,800	上り框:集成材(ケヤキニ段式・W=420)付枠:同質材使用 下駄箱:造付(H1,800×2,000×350×2φ併)	公衆電話設置
ホール廊下	複合フローリング⑩15張り	0	米桐 SOP、2回塗	100	石こうボード⑩12.5下地、ビニルクロス貼(リカラLL3154)		ホ-ル:石こうボード⑩9.5下地、岩綿化粧吸音板⑩12張り 廊下:化粧石こうボード⑩9.5張り 吹抜:石こうボード⑩9.5下地、ビニルクロス貼(リカラLL3786)	米桐 SOP、2回塗 目透シ	2,500		
集会室	タタミ敷 一部複合フローリング(桧縁甲板)⑩15	0	タタミ敷 雑布摺		石こうボード⑩12.5下地、ビニルクロス貼(リカラLL3408)		化粧石こうボード(和室天井用)⑩9.5張り 一部石こうボード⑩9.5下地、ビニルクロス貼(サゲルRE3701) 見立縁(機木扉):浮度付金具式太φ60	杉	2,650	化粧梁(米桐):ワックス仕上 カーテンボックス(ステンズ製Wレール)	換気扇、 (空調設備)
小会議室	ソフトブロック直張り(ナラ)	-300	桧	100	杉合板⑩9張り、OS塗		杉板⑩5張り、OS塗	目透シ	3,250 4,100	化粧梁(米桐):オイルステインクリアーラッカー(OSCL)、3回塗 カウンター(米桐ウレタン樹脂ワニス塗)	換気扇、 (空調設備)
調理室	ラワンベニヤ(T-1)⑩15下地、ビニル床シート②2.5貼(ロンリム3113)	0	米桐 SOP、2回塗	100	石こうボード⑩12.5下地、ビニルクロス貼[準不才0003号、防火2級品] 漆(台前):100角タイル貼(ダント-SL142)(リカラLL3154)		化粧石こうボード⑩9.5張り(トラバーチン模様)[準不才2016号]	米桐 SOP、2回塗	2,500	流し台(ℓ=1,650)、ガス台(ℓ=600)、調理台(ℓ=300) ガステーブル、換気フード(ℓ=900)、吊戸棚(ℓ=900・750) カーテンボックス(ステンズ製Wレール)	給排水、給湯器 ガス、換気扇
納戸	複合フローリング⑩15張り	0	米桐 SOP、2回塗	100	石こうボード⑩12.5下地、ビニルクロス貼(リカラLL3567)		石こうボード⑩9.5下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗	米桐 SOP、2回塗	2,500	棚(W=600・3段)	
男子便所	土間コンクリートの上、モルタル下地、磁器質50角タイル張り(ダント-LN32)	-10			壁:コンクリート下地、磁器質100角タイル張り(ダント-SL161) 壁:耐水石こうボード⑩12.5、目地処理下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗(T22-85D)	H300	大平板⑤、目透シ張り下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗	目透シ	2,400	トイレブ-ス	洋風便器、小便器 洗面器、鏡、床排水 換気扇
女子便所	土間コンクリートの上、モルタル下地、磁器質50角タイル張り(ダント-LN59)	-10			壁:コンクリート下地、磁器質100角タイル張り(ダント-SL161) 壁:耐水石こうボード⑩12.5、目地処理下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗(T22-85D)	H300	大平板⑤、目透シ張り下地、合成樹脂エマルジョンペイント(AEP)・2回塗	目透シ	2,400	トイレブ-ス	洋風便器、洗面器 鏡、床排水、換気扇
輸入	ラワンベニヤ⑩9張り	+100	雑布摺		ラワンベニヤ⑩5.5張り		ラワンベニヤ⑩4張り	米桐			

※ SOP :合成樹脂調合ペイント塗
 ※ AEP :合成樹脂エマルジョンペイント塗
 ※ OSCL :オイルステインクリアーラッカー塗
 ※ OS :オイルステイン塗

※ 天井面)断熱材:グラスウールの50

便所 床：タイル→既存の上、クッションフロア（耐湿）貼り
 壁：既存のまま
 天井：大平版（石綿含有見込）撤去、化粧石膏ボードt9.5貼り

集会室 床：畳撤去、複合フローリングt15貼り
 壁：クロス貼替
 天井一部：撤去後、化粧石膏ボードt9.5貼り

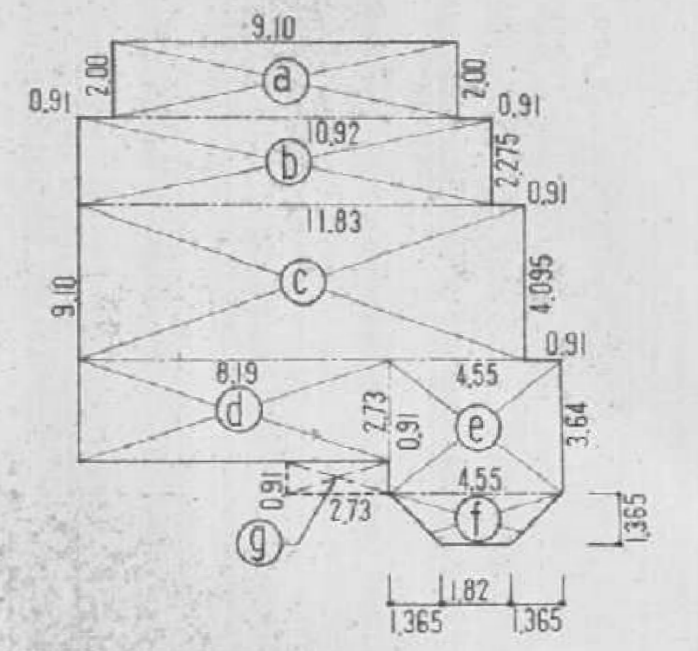
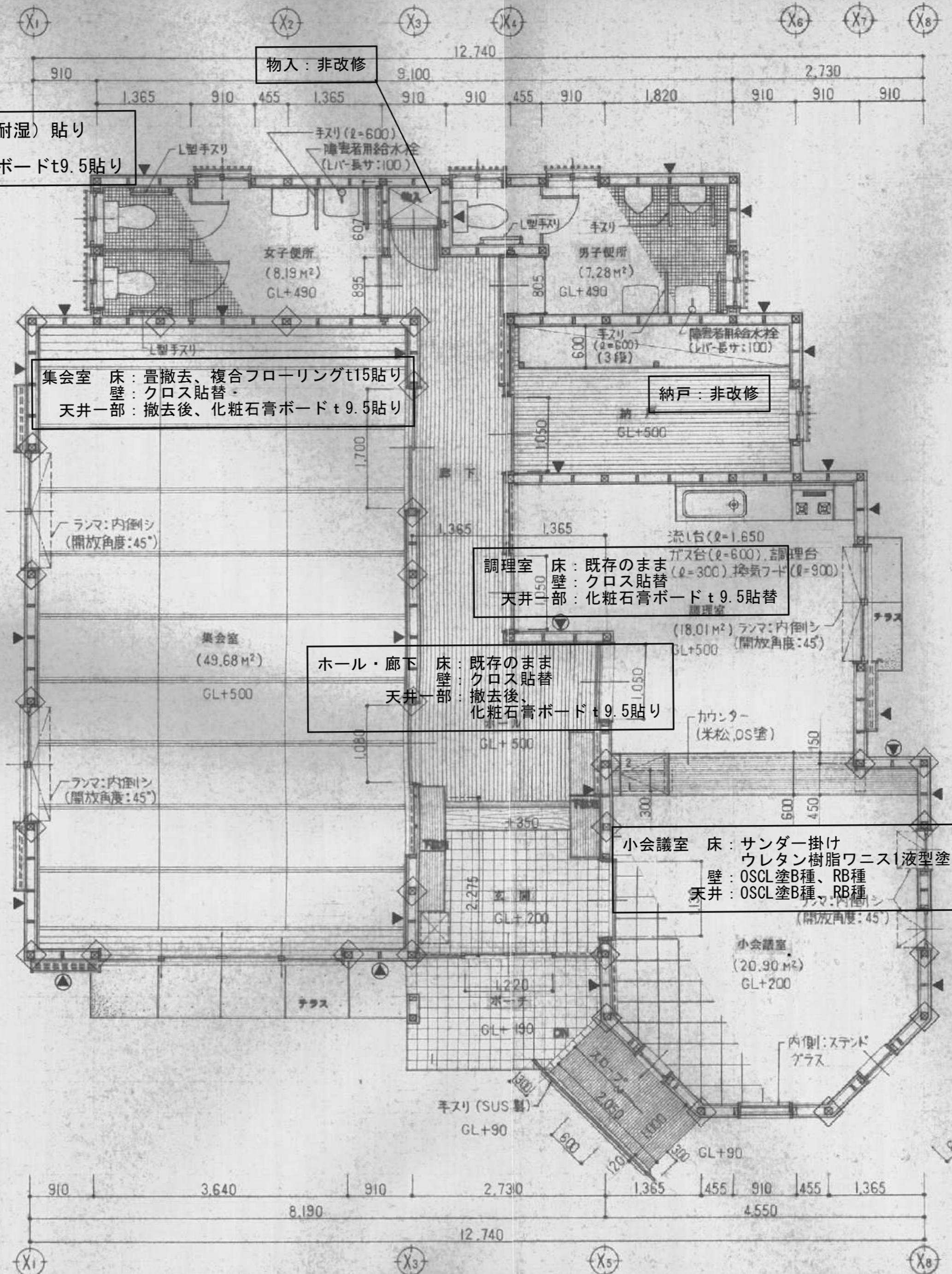
調理室 床：既存のまま
 壁：クロス貼替
 天井一部：化粧石膏ボードt9.5貼替

ホール・廊下 床：既存のまま
 壁：クロス貼替
 天井一部：撤去後、化粧石膏ボードt9.5貼り

小会議室 床：サンダー掛け
 ウレタン樹脂ワニス液型塗
 壁：OSCL塗B種、RB種
 天井：OSCL塗B種、RB種

物入：非改修

納戸：非改修



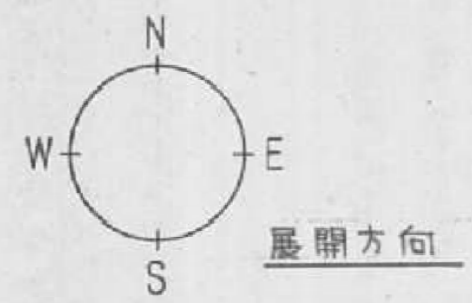
Ⓐ	: 9.10	X	2.00	= 18.2000
Ⓑ	: 10.92	X	2.275	= 24.8430
Ⓒ	: 11.83	X	4.095	= 48.44385
Ⓓ	: 8.19	X	2.73	= 22.3587
Ⓔ	: 4.55	X	3.64	= 16.5620
Ⓣ	: (4.55+1.82) X 1.365 X 1/2			= 4.347525
Ⓤ	: 2.73	X	0.91	= 2.4843

床面積 = Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ + Ⓣ
 = 134.755075 ∴ 134.75 m²
 (40.76 畳)

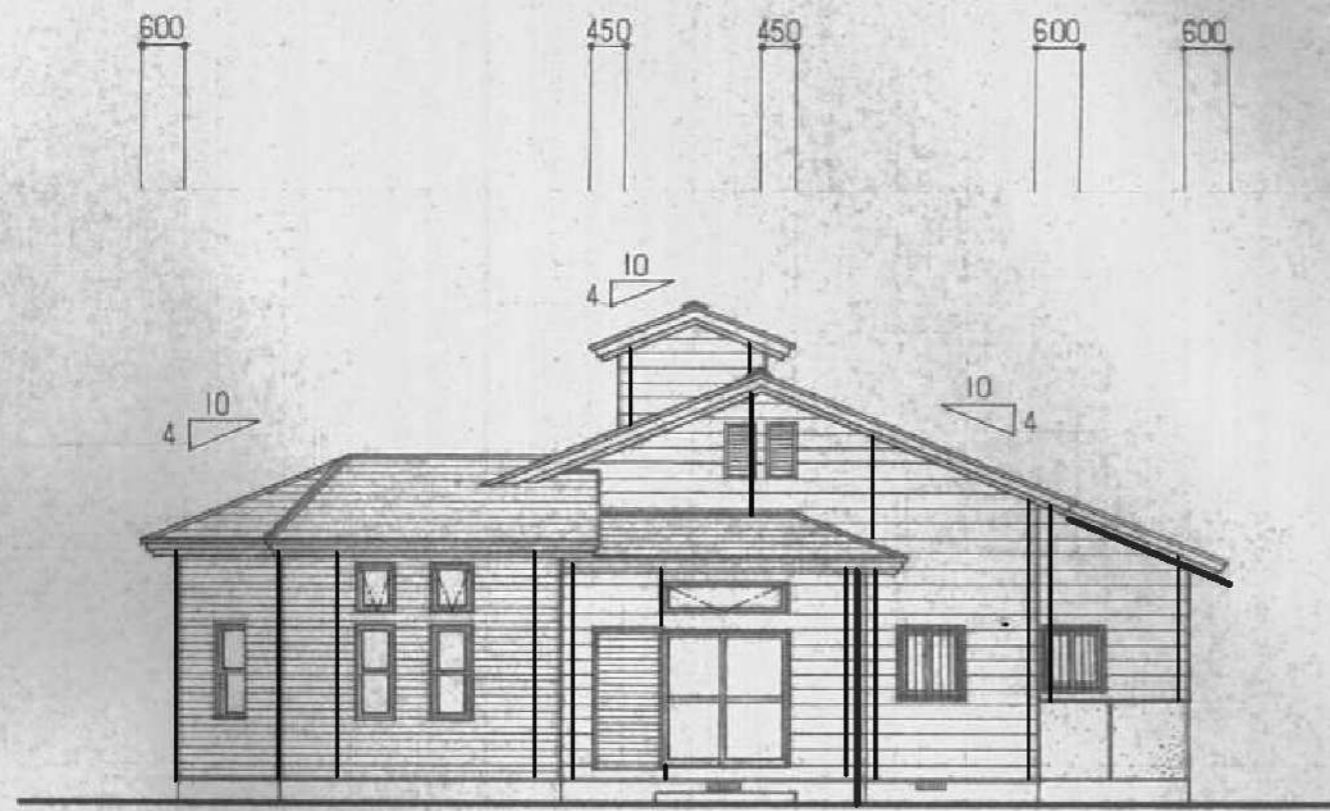
建築面積 = 床面積 + Ⓤ
 = 137.2343 ∴ 137.23 m²
 (41.51 畳)

建物求積図 S=1/200

- 凡例
- ◀ = 筋かい：ニッ製, 45x90
 - Ⓢ = 筋かい：ニッ製, タスキ製, 45x90x2
 - ◇ = 柱：120x120
 - = 柱：105x105
 - ⊠ = 柱：120x120, 杉, 上小節 (見エケリ)



平面図 S=1/50



※格子取外し・再設置

東面立面図 S=1/100

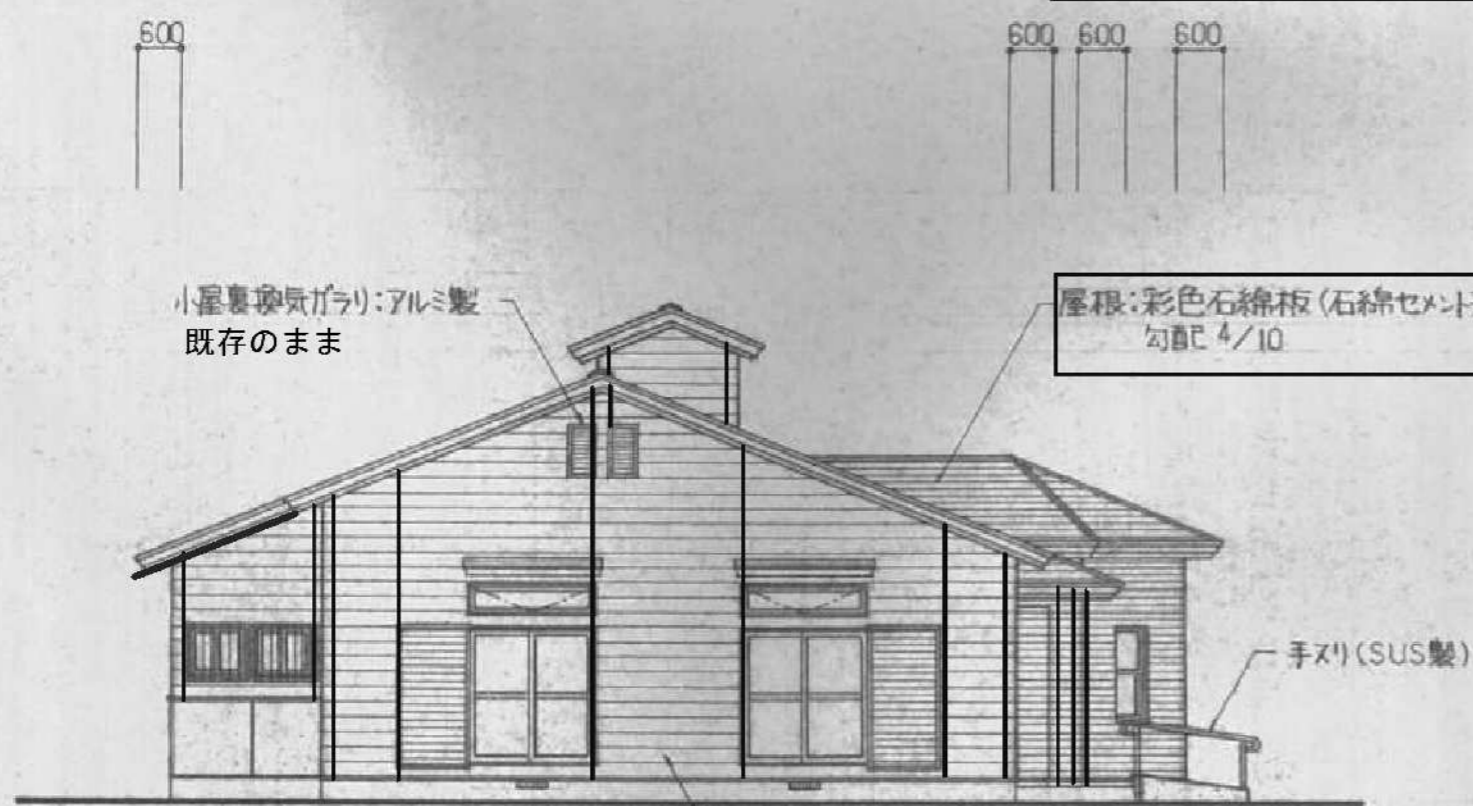


改修仕上

南面立面図 S=1/100

館名文字: 真ちゆう 聖
 切文字: 180x180x2 (H)
 外壁: タイル調サイディングφ12張り(塗装品)
 (防火ホ676号) 再塗装

屋根: 高圧洗浄
 縁切り(タスペーサー同等)
 遮熱塗装 フッ素系3回塗(下塗り含む)
 軒樋・竪樋・集水器: 更新
 破風・鼻隠し: 下地調整RC種 合成樹脂エマルジョンペイント塗B種
 外壁: 高圧洗浄
 サイディングシーリング撤去・新設
 超耐候形一液NAD特殊シリコン樹脂塗料 A種同等
 (下塗り水性エポキシ樹脂含む)
 ※2色以上の塗分けあり(監督員と要相談)
 基礎: 薄塗りモルタル 金ゴテ 既調合 塗厚5mm



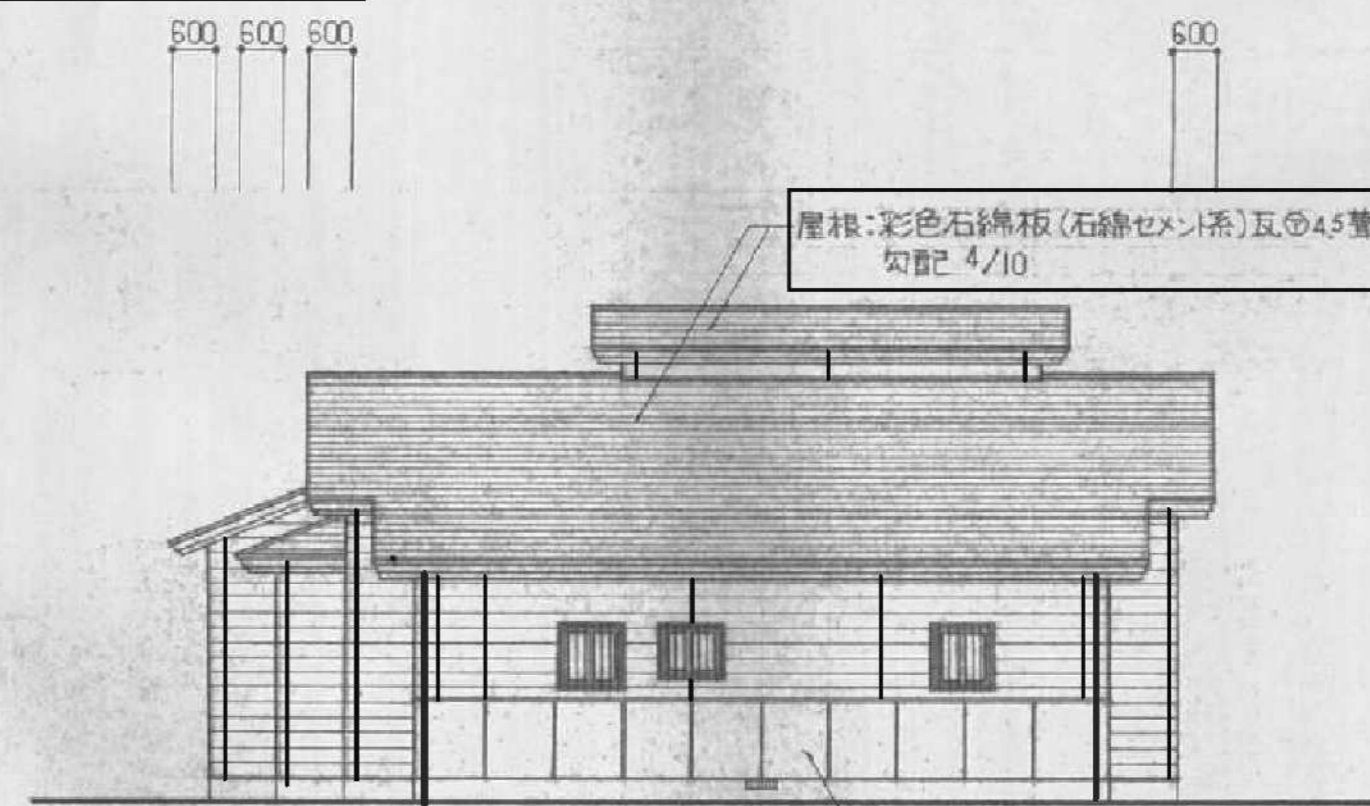
※格子取外し・再設置

西面立面図 S=1/100

屋根: 彩色石綿板(石綿セメント系)瓦φ45葺
 勾配 4/10 再塗装

外壁: 特殊セメント板(無石棉)サイディングφ12横張り
 (塗装品) [防火ホ676号] 再塗装

手すり(SUS製)

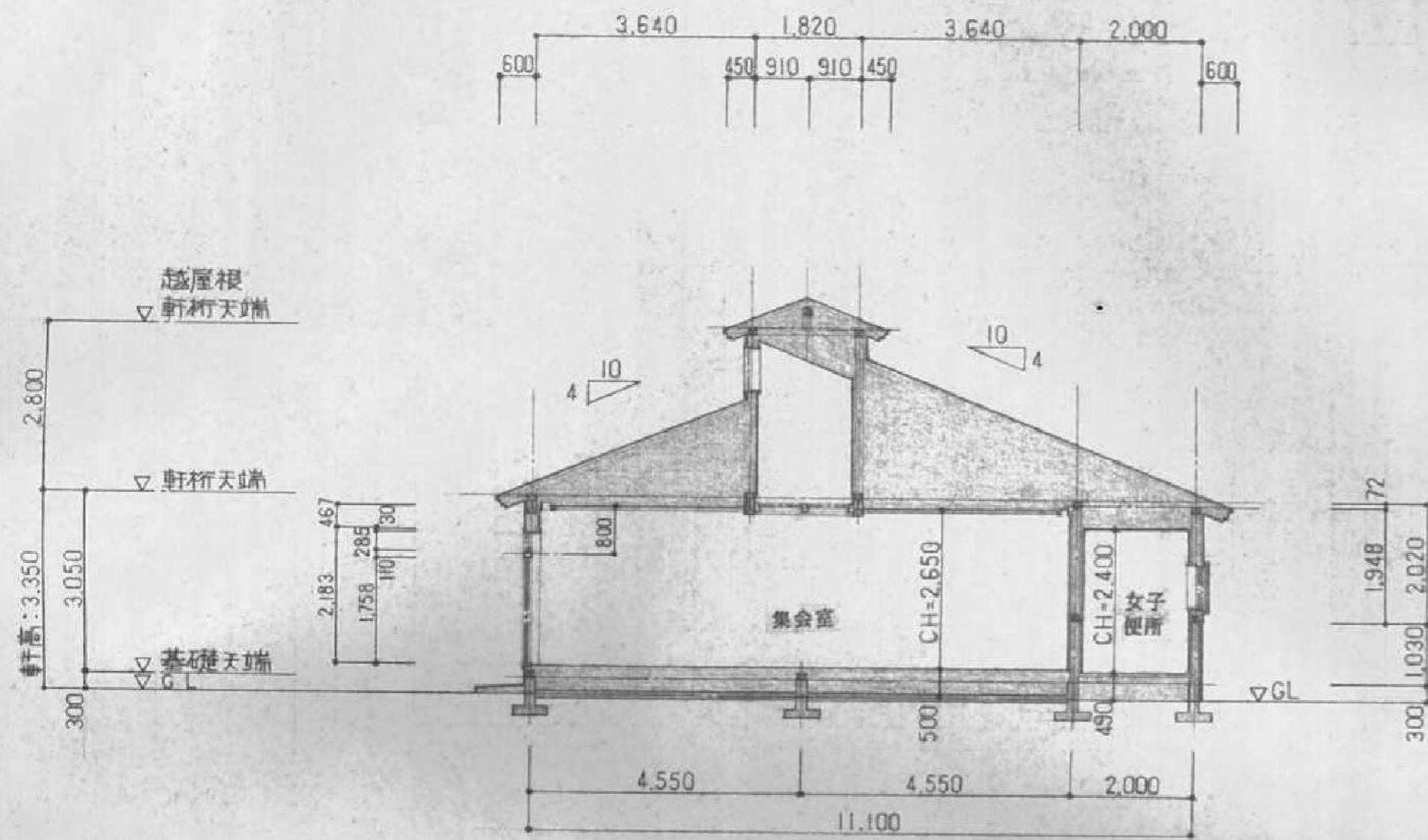


※格子取外し・再設置

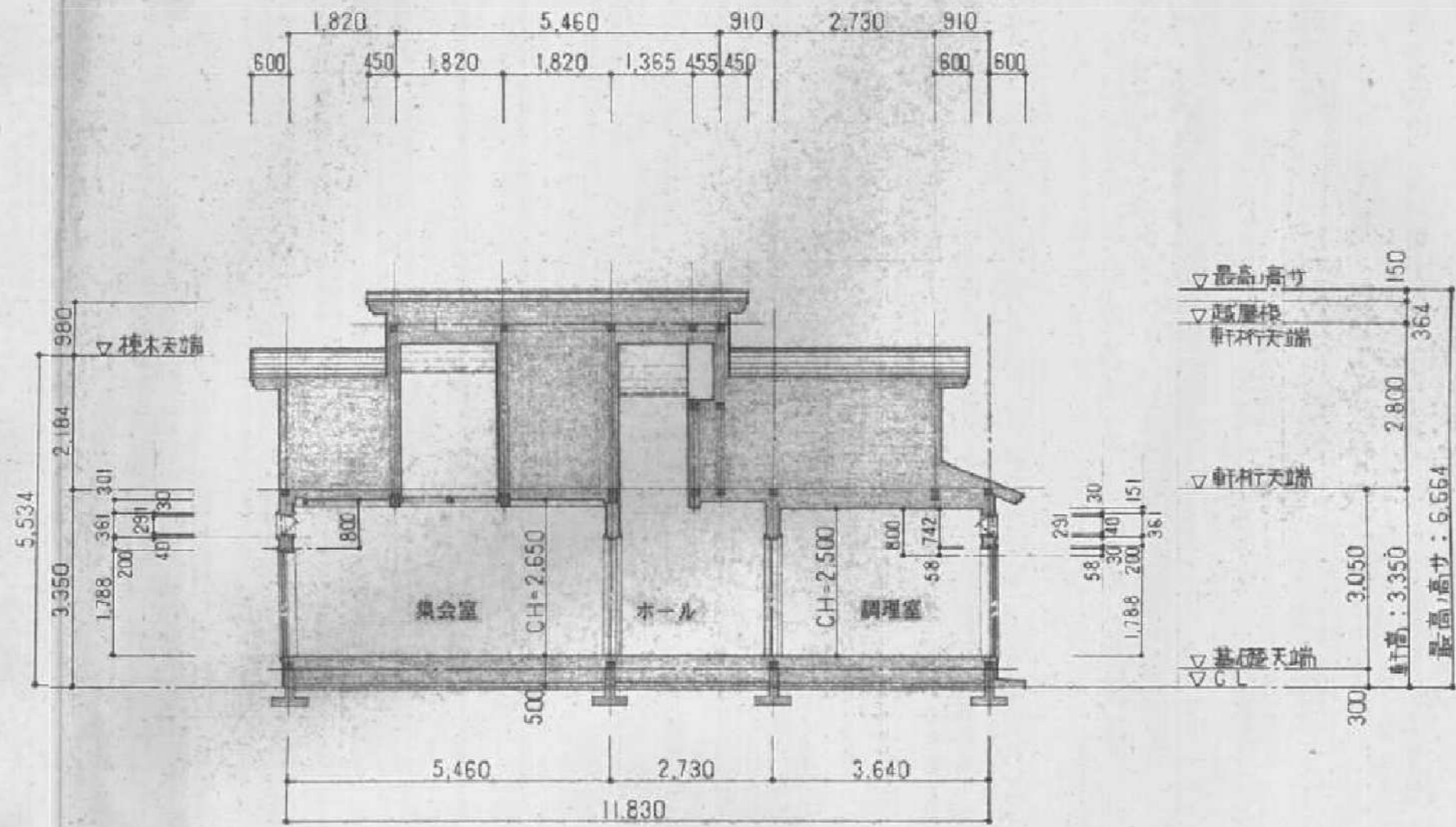
北面立面図 S=1/100

屋根: 彩色石綿板(石綿セメント系)瓦φ45葺
 勾配 4/10 再塗装

外壁(腰壁): コンクリート上モルタル金ゴテφ30下地
 アクリルエマルジョン系吹付タイル
 目地埋 @900以内 再塗装



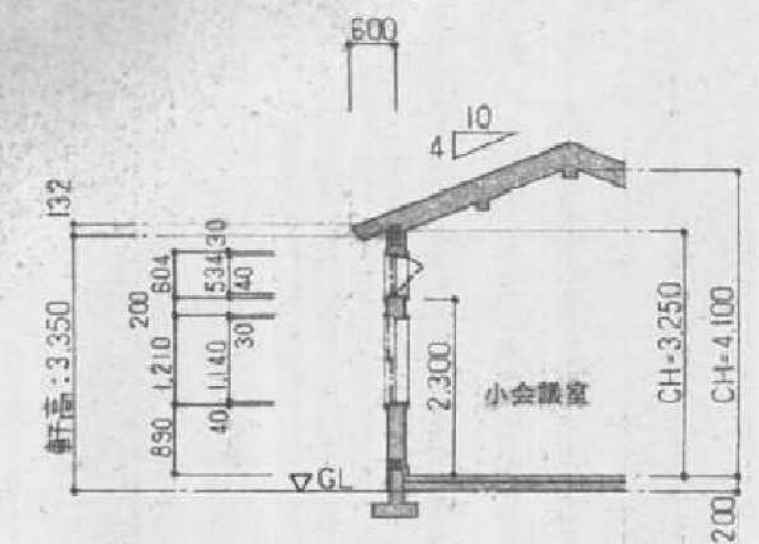
A-A断面図 S=1/100



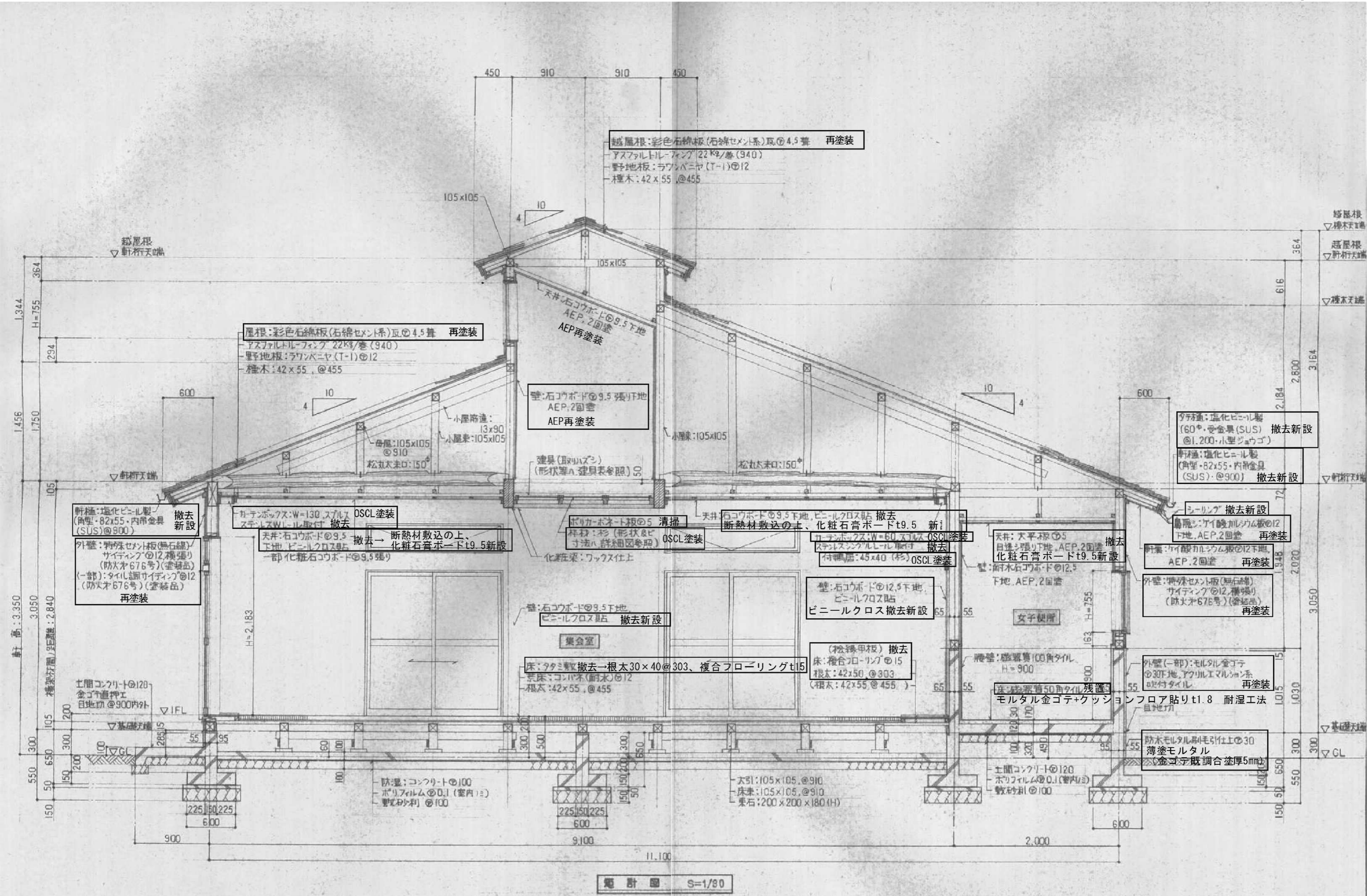
B-B断面図 S=1/100

排煙面積計算式

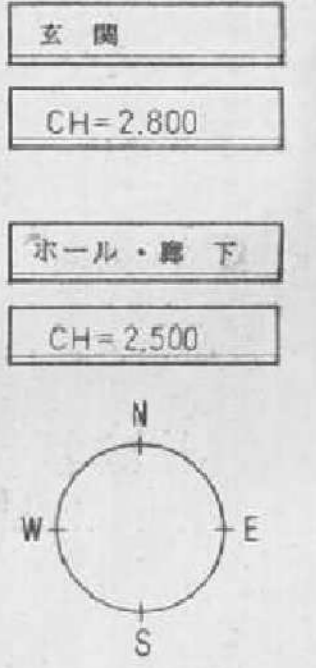
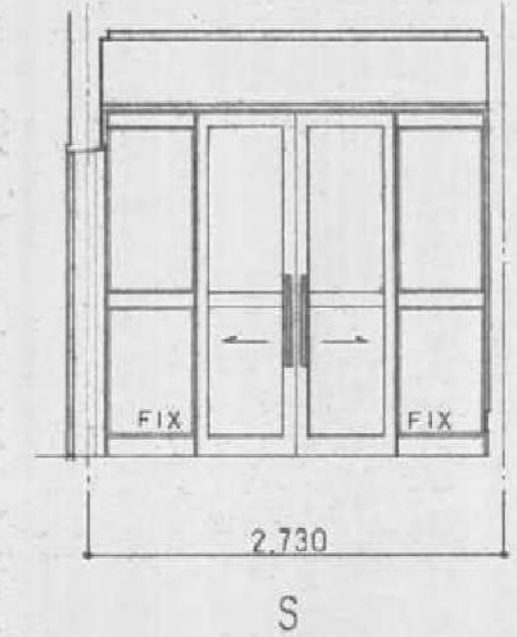
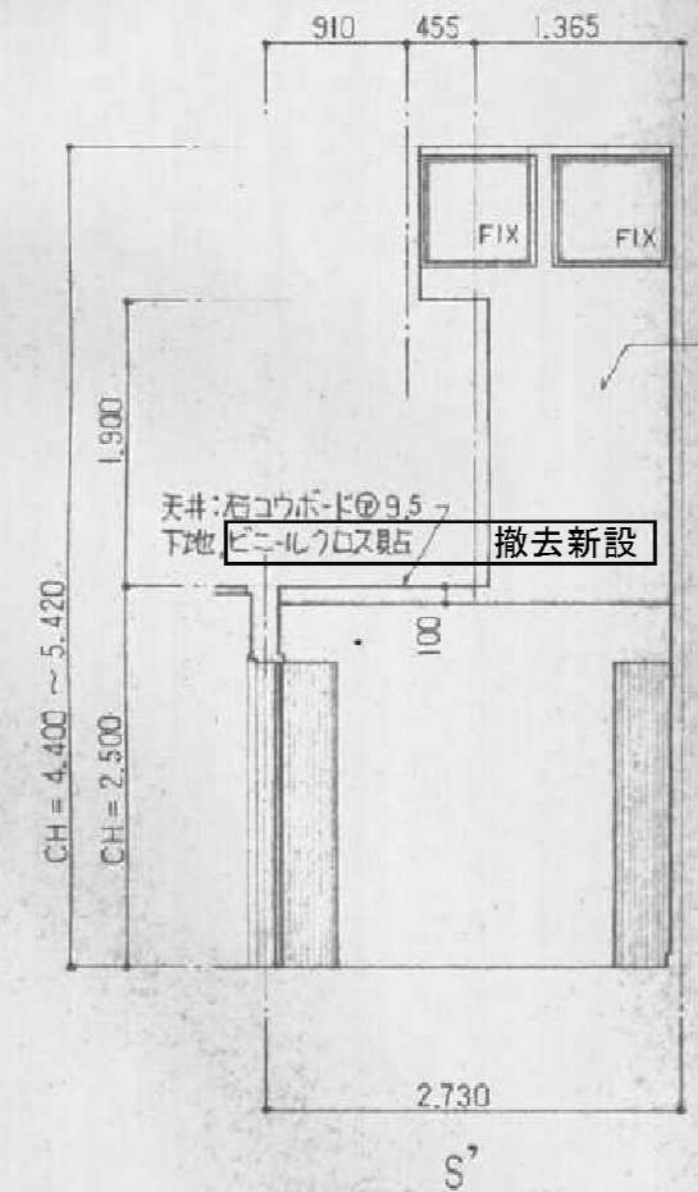
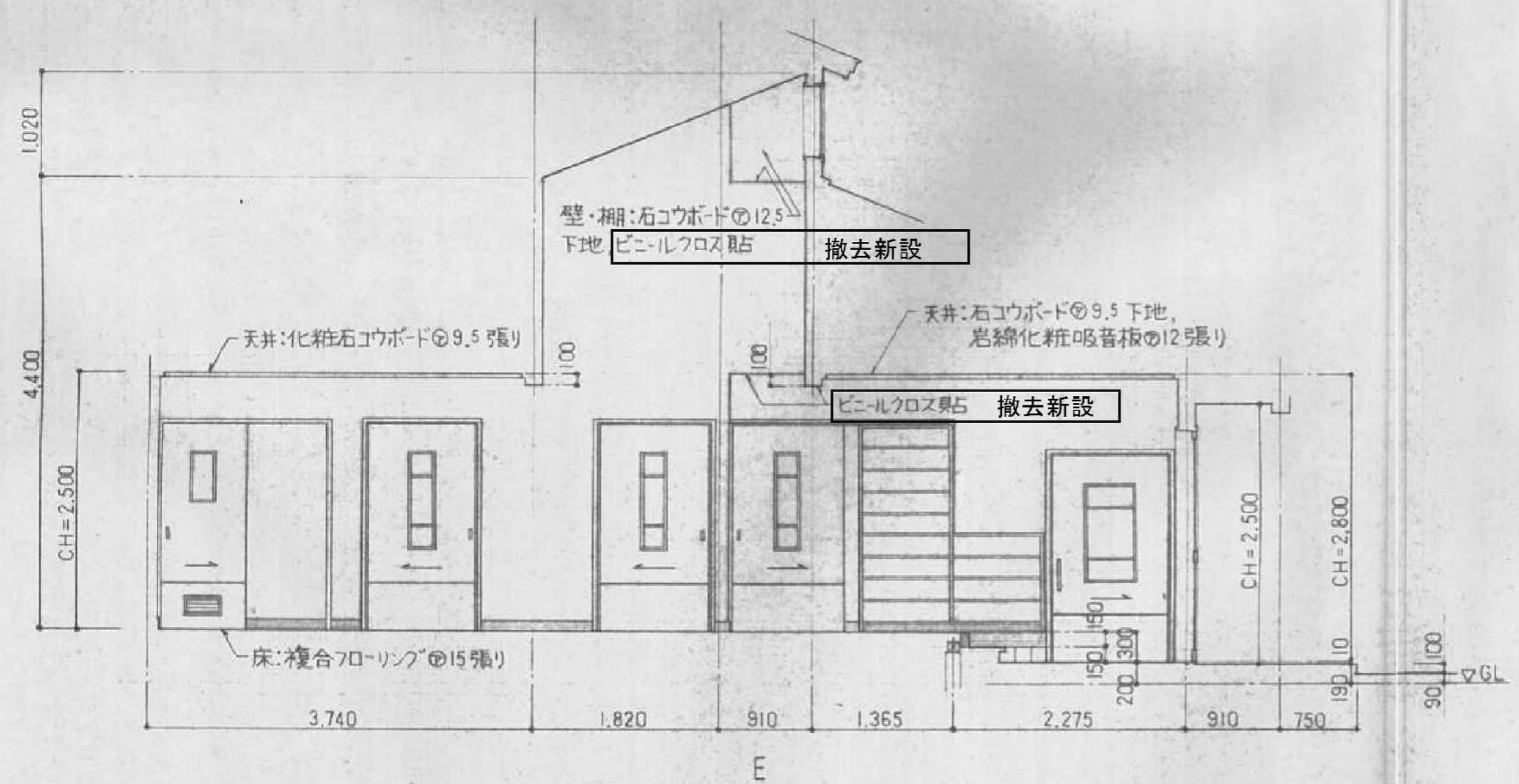
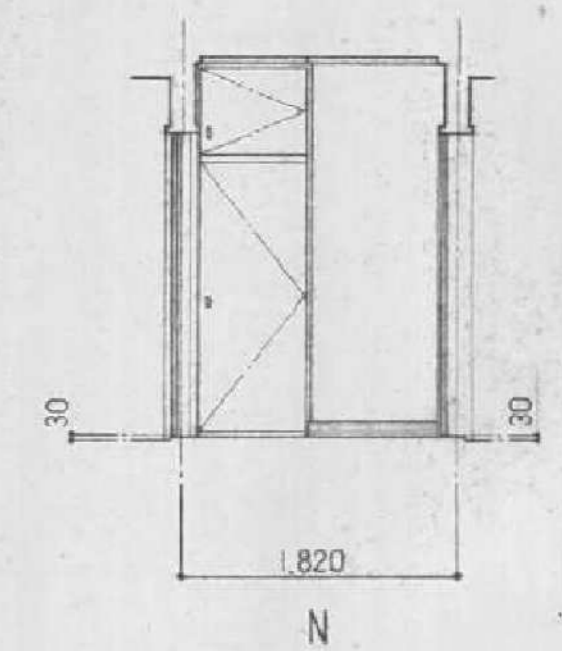
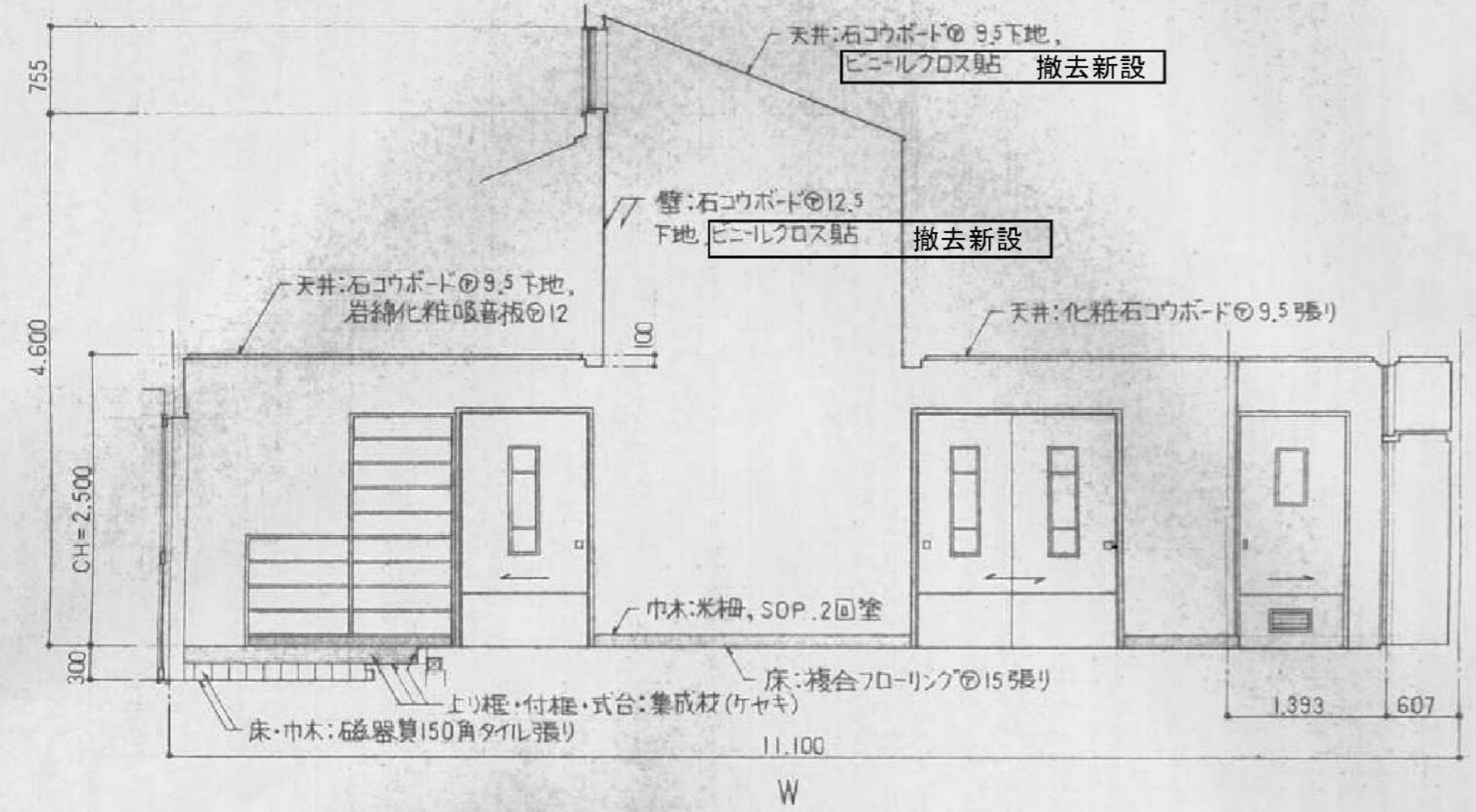
室名	室面積	必要開口部		判定	有効開口部		
		計算式	必要開口面積		計算式	有効開口面積	
集会室	49.68 m ²	49.68	$\times \frac{1}{50}$	0.993 m ²	< 1.0.K	$H_{(外側)} \times W_{(内側)} \times 2 + H_{(内側)} \times W_{(外側)} \times 2$ $0.285 \times 3.514 / 2 + 0.291 \times 1.692 \times 2$	1.485 m ²
調理室	18.01 m ²	18.01	$\times \frac{1}{50}$	0.360 m ²	< 1.0.K	$H_{(外側)} \times W_{(内側)} \times 2 + H_{(内側)} \times W_{(外側)} \times 2$ $0.058 \times 1.692 / 2 + 0.291 \times 1.692$	0.541 m ²
小会議室	20.90 m ²	20.90	$\times \frac{1}{50}$	0.418 m ²	< 1.0.K	$H_{(内側)} \times W_{(内側)} \times 2$ $0.534 \times 0.600 \times 2$	0.640 m ²

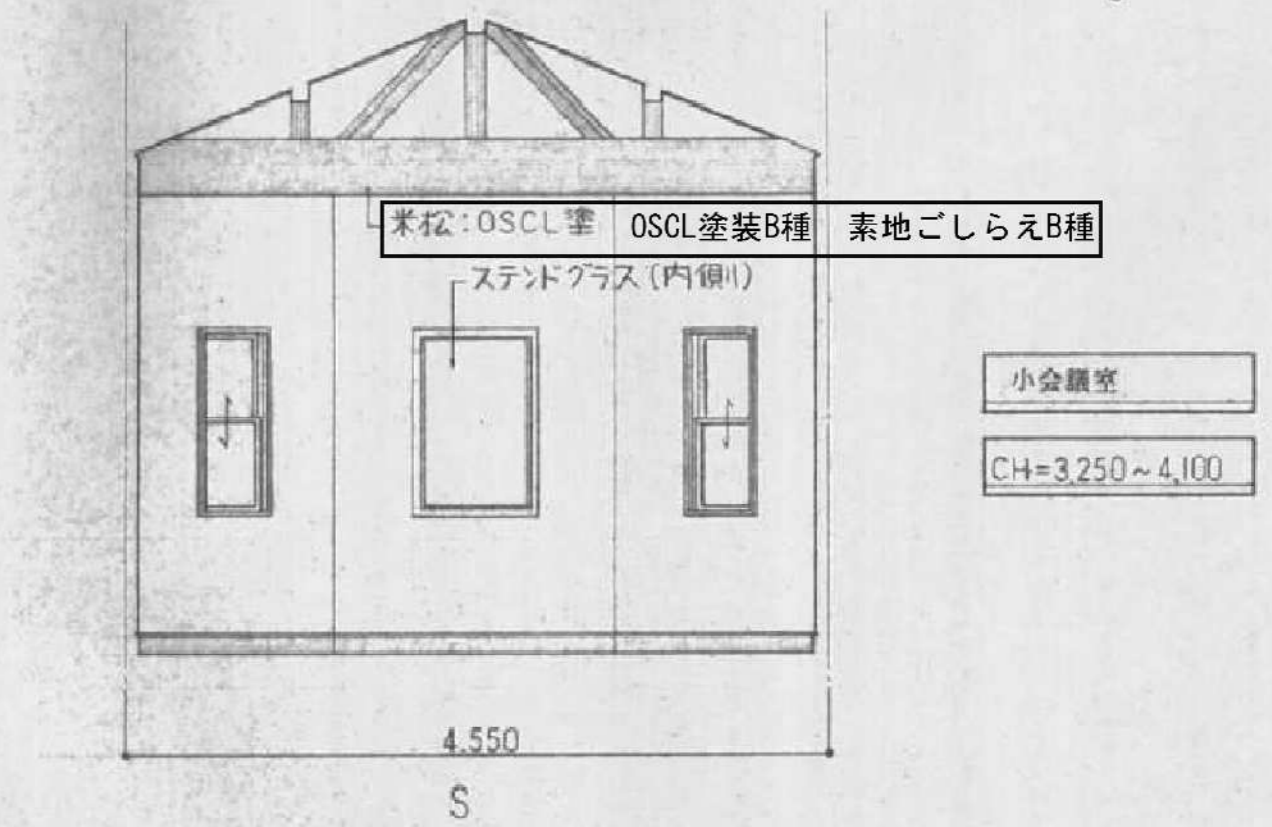
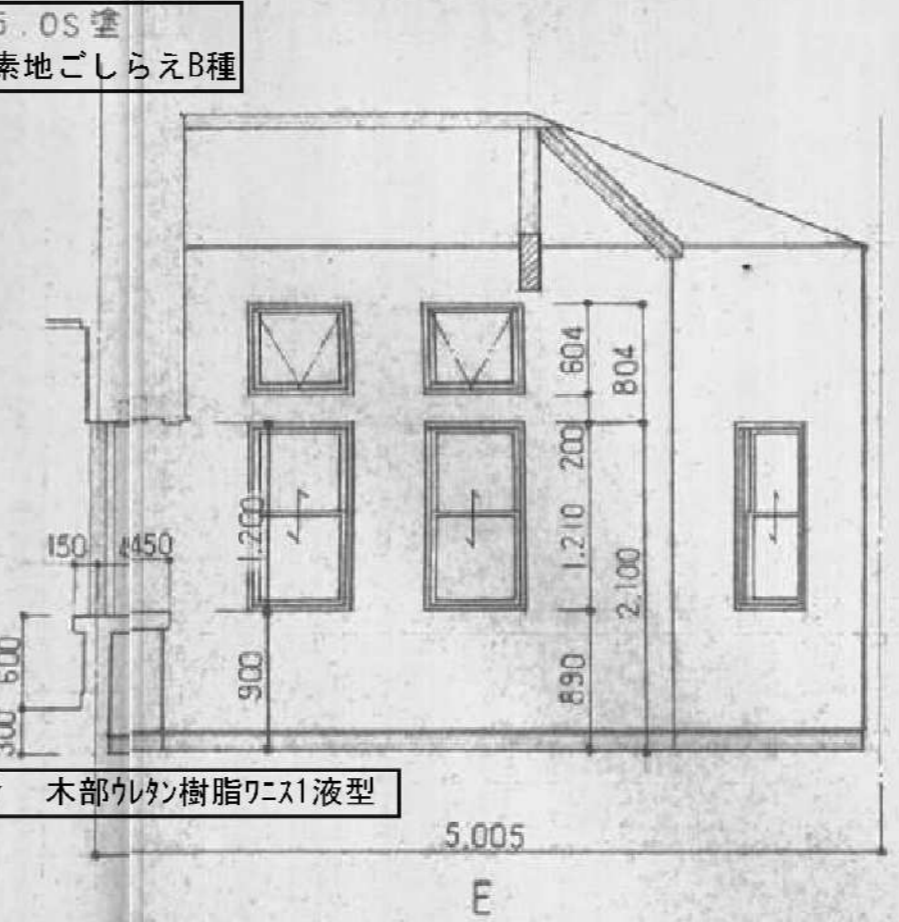
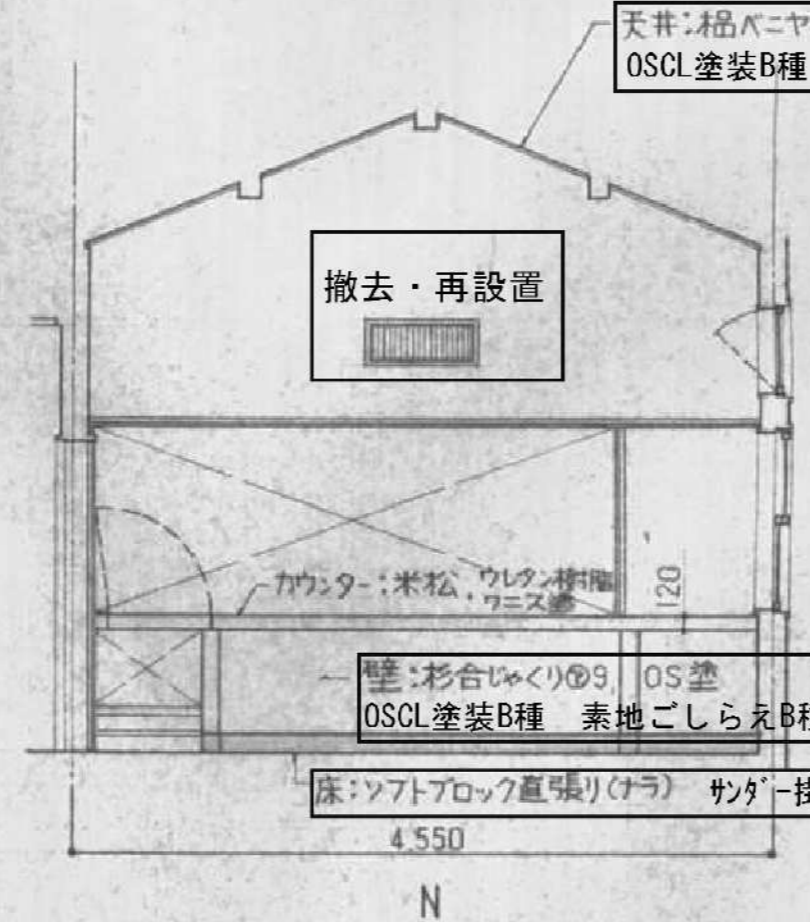
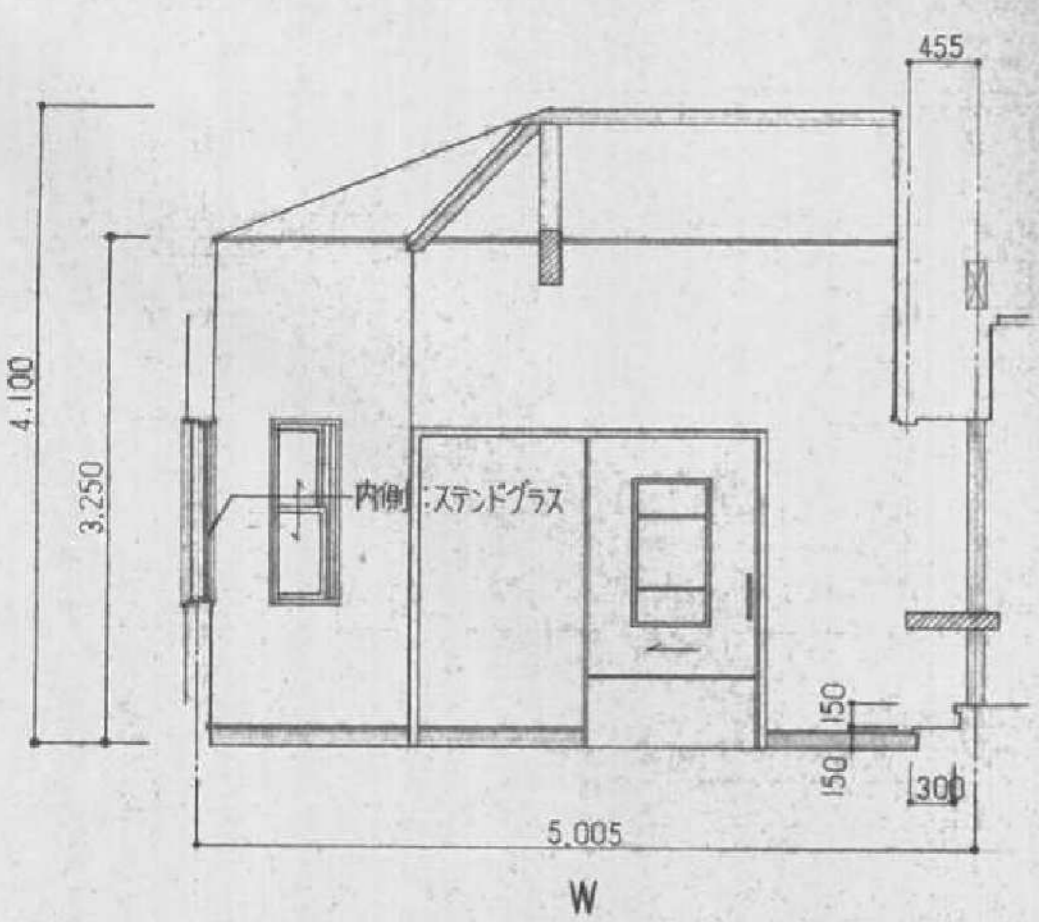
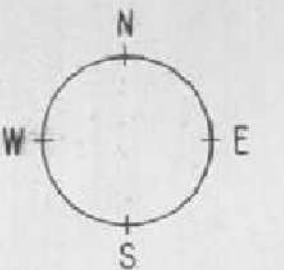
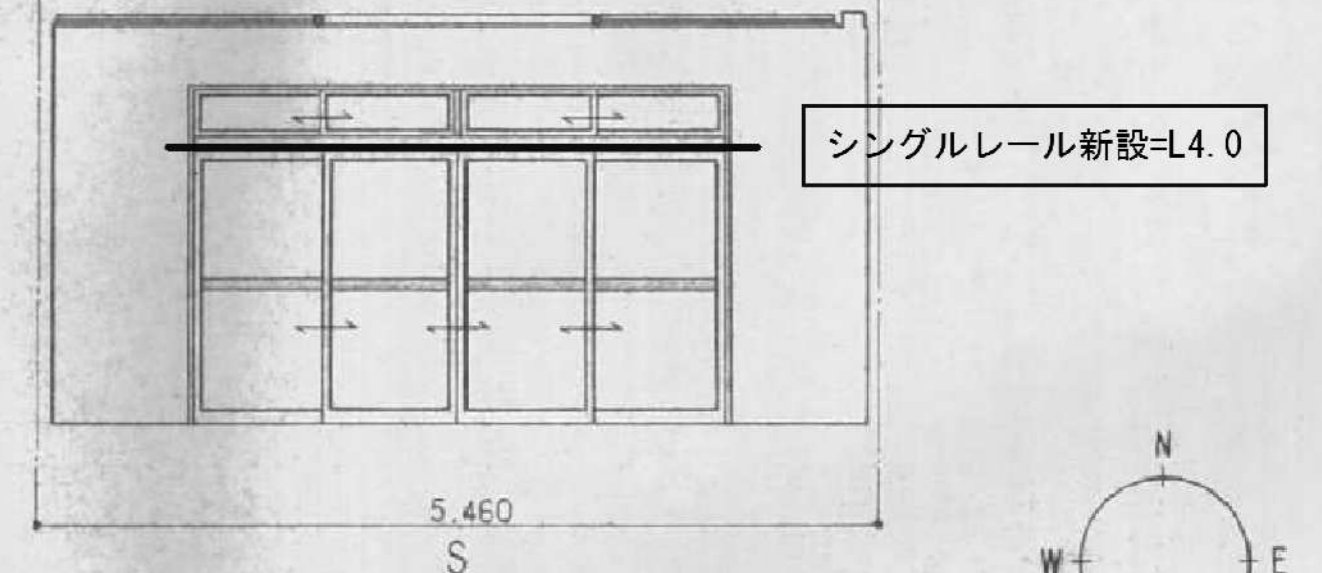
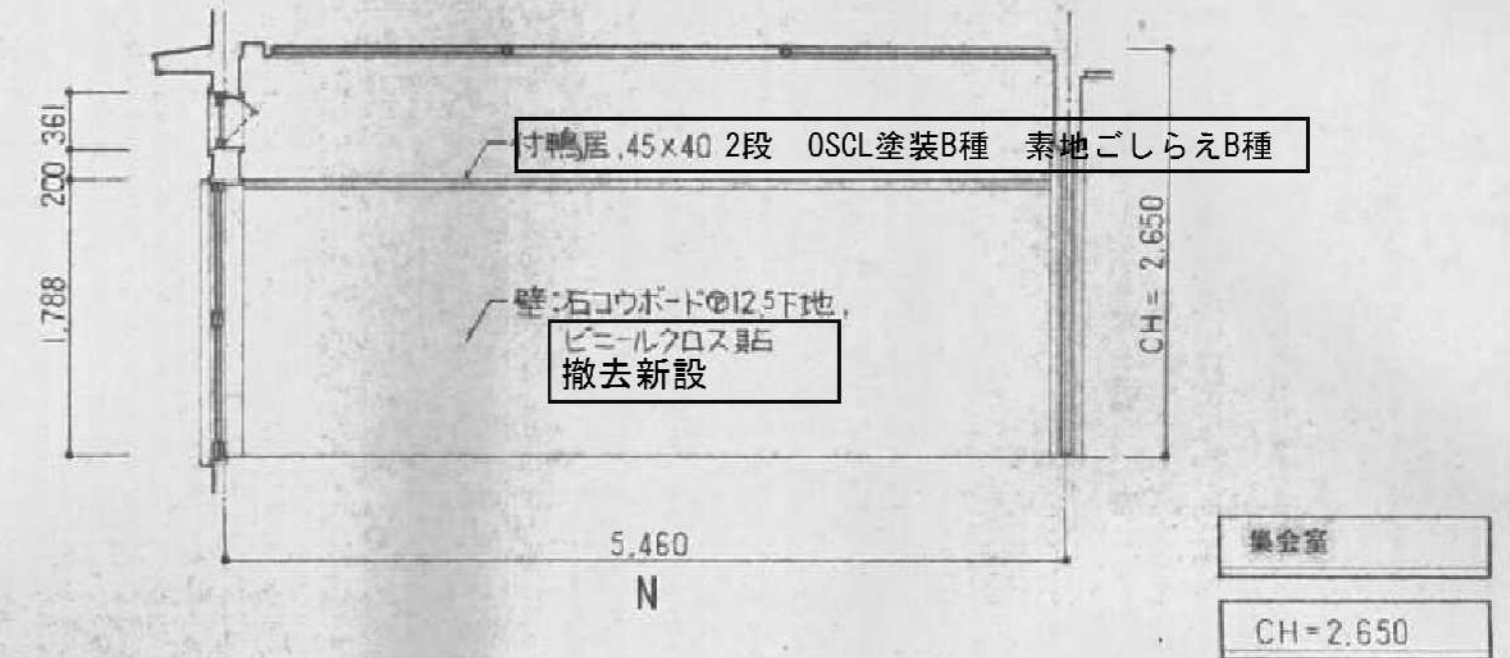
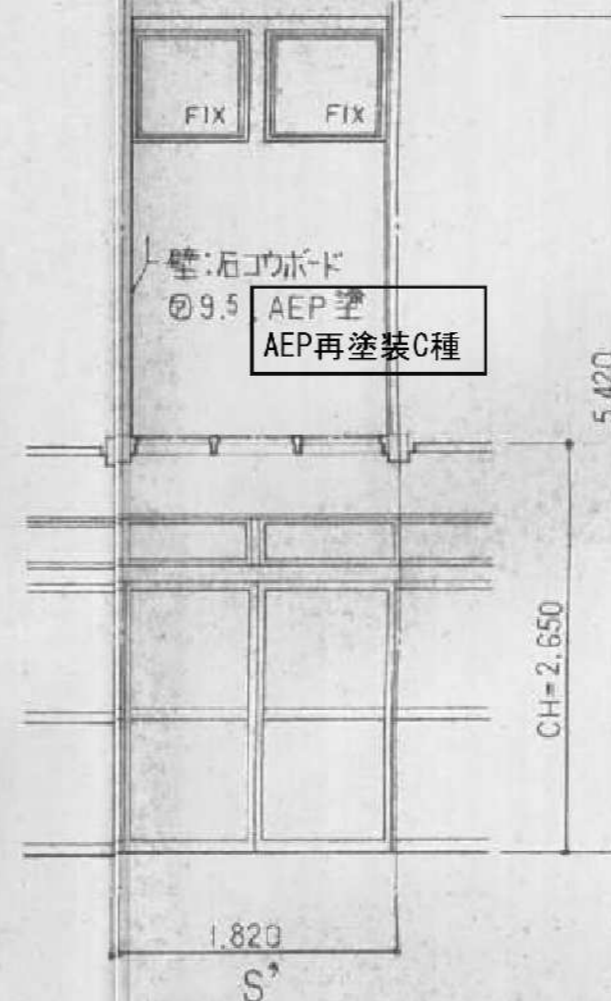
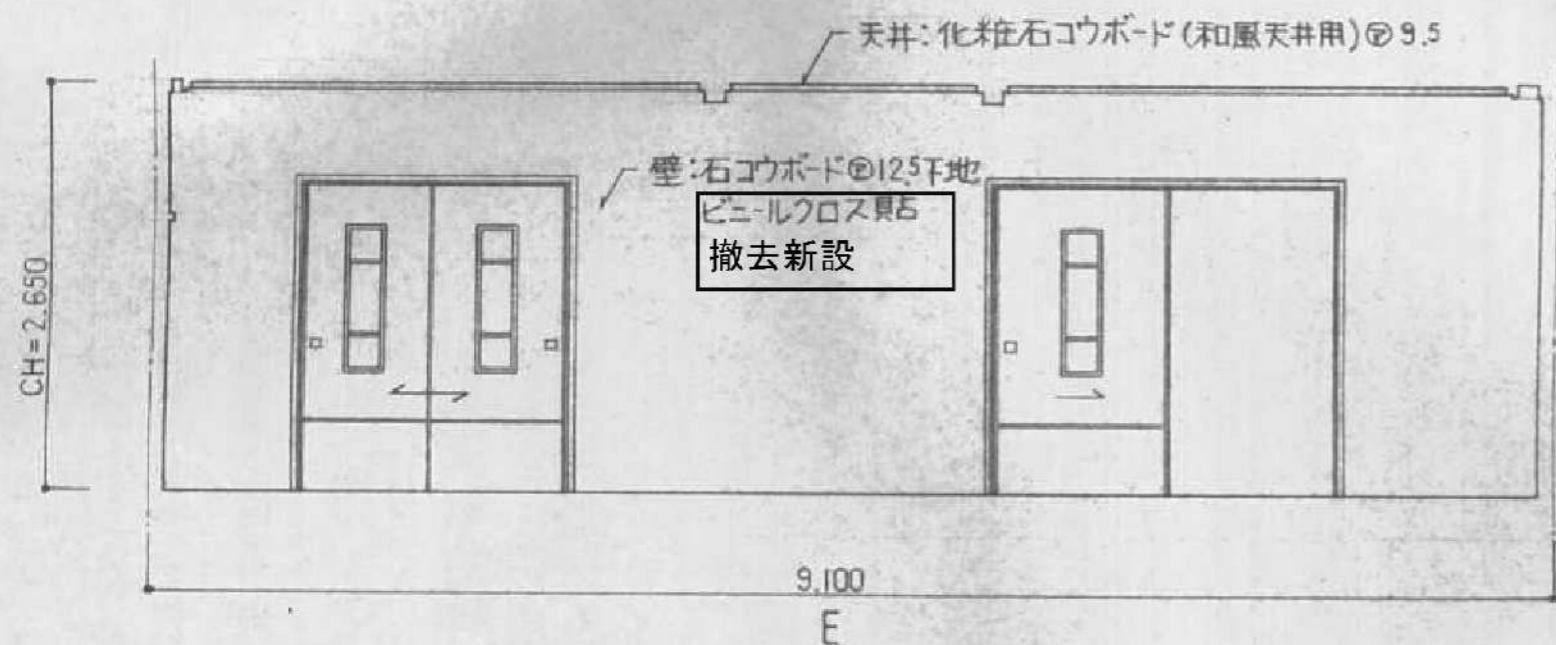
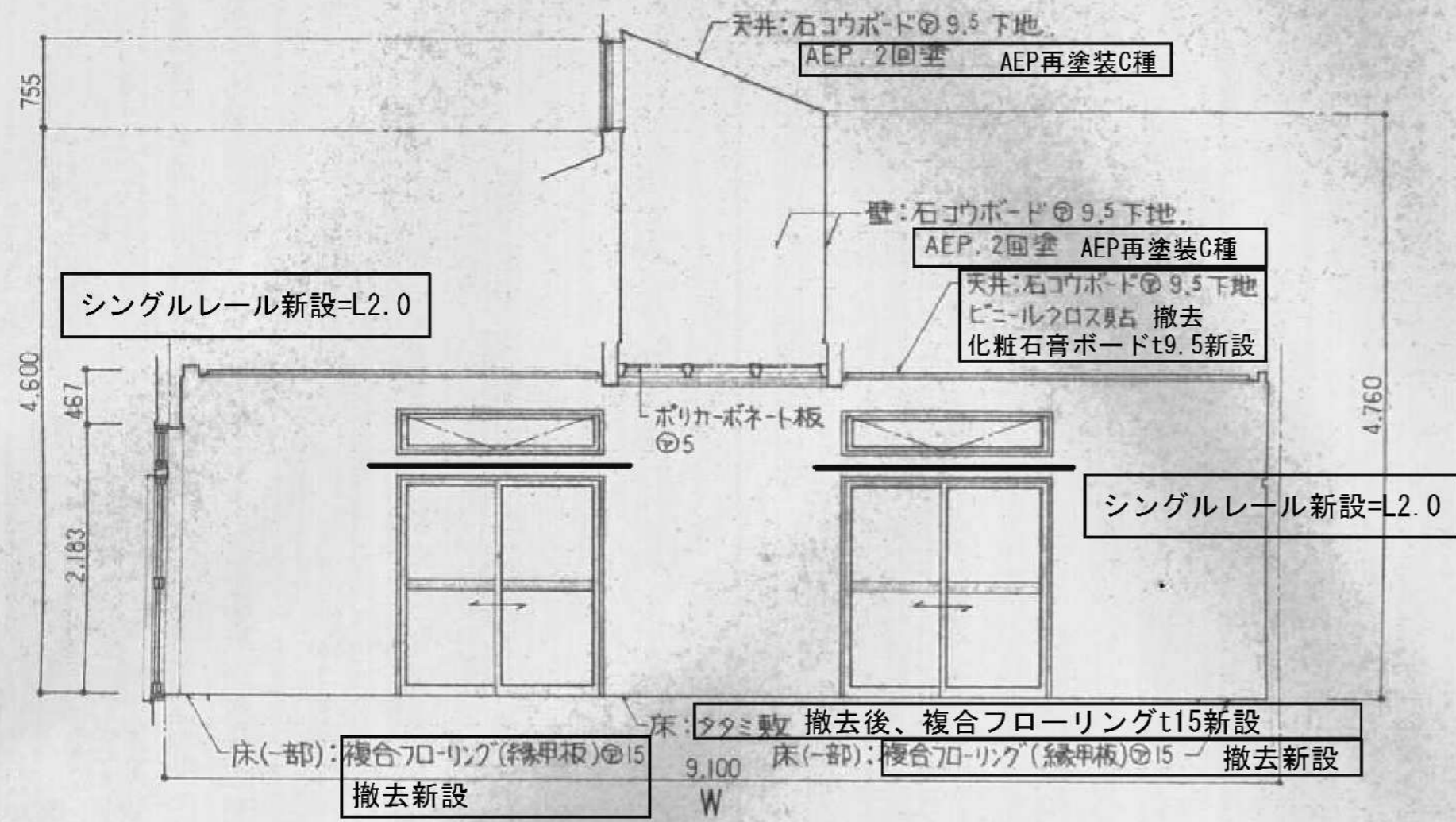


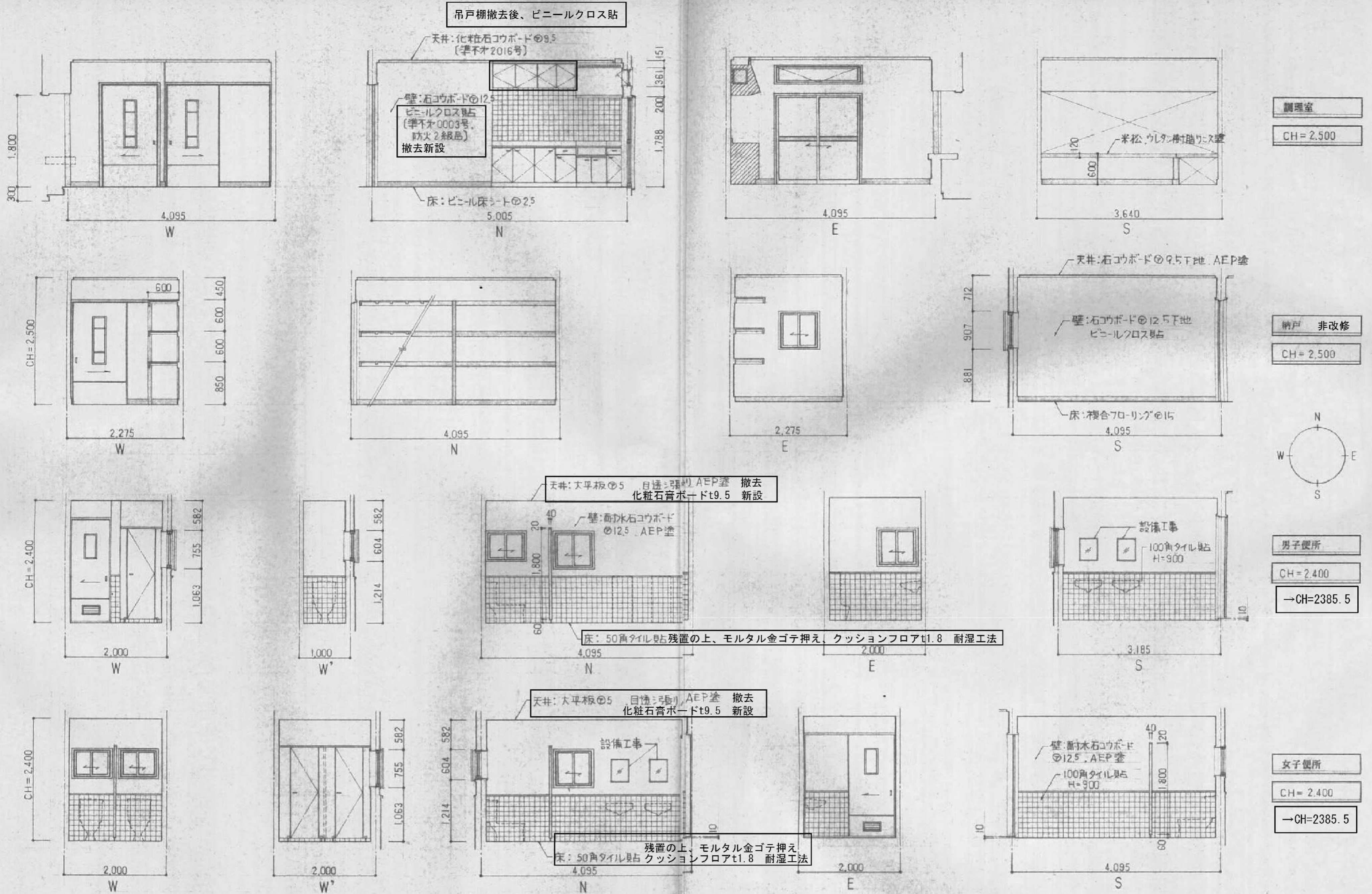
小会議室部分 S=1/100



断面図 S=1/80

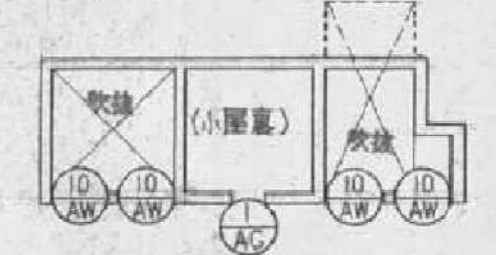
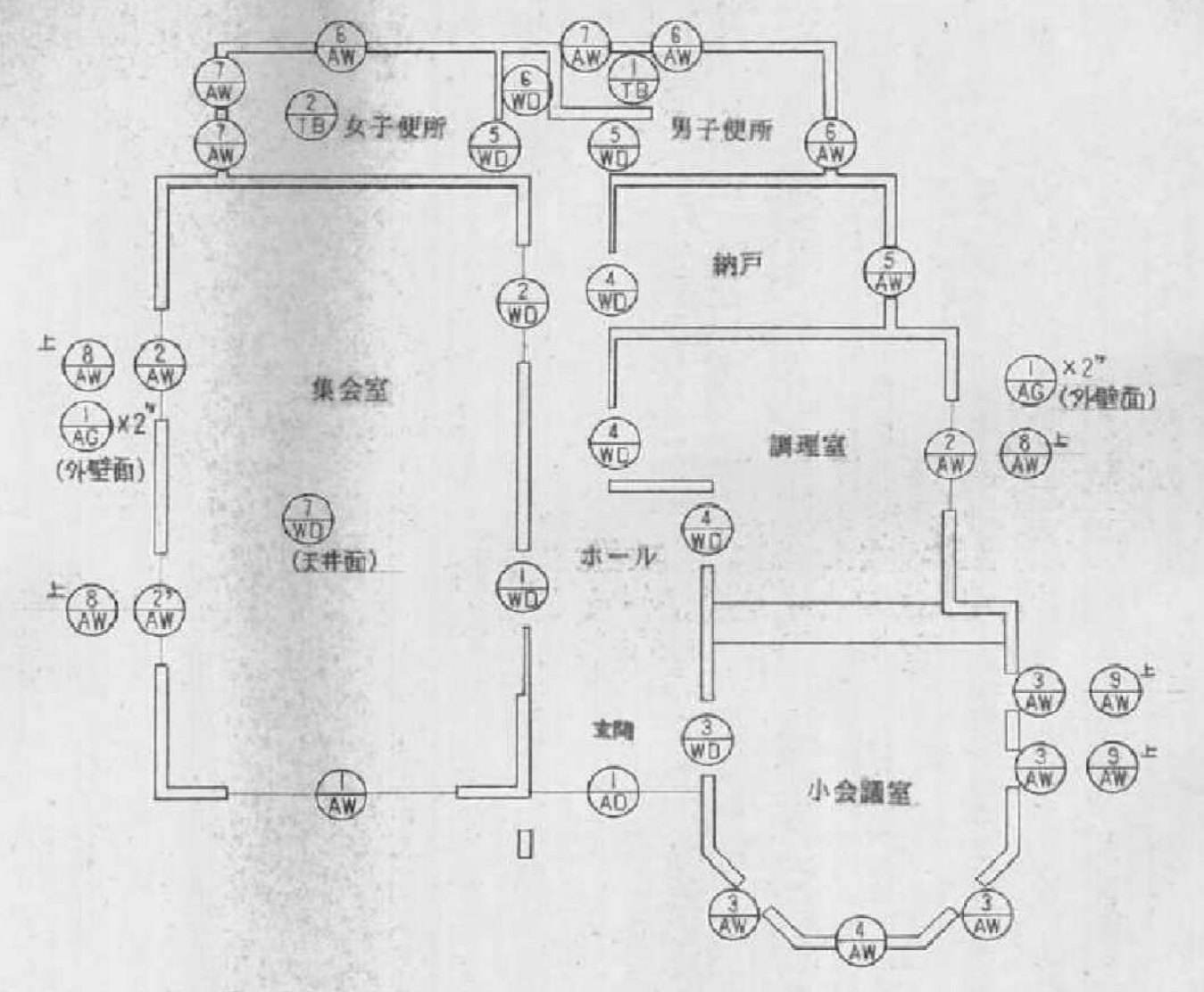






符号・場所・数量	① AD 玄関 1カ所	② AW 集会室 1カ所	③ AW 集会室・調理室 2カ所 1カ所	④ AW 集会室 1カ所	⑤ AW 小会議室 4カ所	⑥ AW 小会議室 1カ所
姿 図						
形 式	面袖FIX付 引合ケドア	ラマ引違イ付 4枚引違イ窓	引違イ窓	引違イ窓	上げ下げ窓	FIX窓
材料・仕上	アルミ・フロント材(カラー) 見込 70	アルミ雨戸サッシ(カラー) , 半外付	アルミ雨戸サッシ(カラー) , 半外付	アルミ雨戸サッシ(カラー) , 半外付	アルミサッシ(カラー) , 半外付	アルミサッシ(カラー) , 半外付
ガラス	上:網入透明ガラスφ6.8, 下:網入型ガラスφ6.8	透明ガラスφ5	透明ガラスφ5	透明ガラスφ5	透明ガラスφ4	透明ガラスφ5
金 物	敷居:ステンレスル, シリター錠, 引手:握バー(L=600), 戸車	フレット, 戸車, 網戸(ラマ共), 鏡板付戸袋, 断熱雨戸	フレット, 戸車, 網戸, 鏡板付戸袋, 断熱雨戸	フレット, 戸車, 網戸, 鏡板付戸袋, 断熱雨戸	ラッチ錠, サフロック, 網戸	ラッチ錠, サフロック, 網戸
備 考	他付属品一式	他付属品一式 張替	他付属品一式 張替	他付属品一式 張替	他付属品一式 張替	内側:ステンドグラス取付
符号・場所・数量	⑦ AW 納戸 1カ所	⑧ AW 男子便所・女子便所 3カ所	⑨ AW 男子便所・女子便所 3カ所	⑩ AW 集会室・調理室 3カ所	⑪ AG 車側・越屋根部分 5カ所	
姿 図						
形 式	引違イ窓	引違イ窓	引違イ窓	内倒シ窓	内倒シ窓	
材料・仕上	面格子付アルミサッシ(カラー), 半外付 取外し・再取付	面格子付アルミサッシ(カラー), 半外付 取外し・再取付	面格子付アルミサッシ(カラー), 半外付 取外し・再取付	アルミサッシ(カラー) , 半外付	アルミ製(カラー) , 半外付	
ガラス	型ガラスφ4	型ガラスφ4	型ガラスφ4	透明ガラスφ4	透明ガラスφ4	
金 物	フレット, 戸車, 網戸	フレット, 戸車, 網戸	フレット, 戸車, 網戸	トップラッチ, 丁番, 網戸張替	防湿ダンパー(FD)付	
備 考	他付属品一式 張替	他付属品一式 張替	他付属品一式 張替	他付属品一式 , フック付	防虫網付	
符号・場所・数量	⑫ AW 小会議室 2カ所	⑬ AW 越屋根部分 4カ所	⑭ AW 越屋根部分 4カ所	⑮ AW 越屋根部分 5カ所	⑯ AG 車側・越屋根部分 5カ所	
姿 図						
形 式	内倒シ窓	FIX窓	FIX窓	内倒シ窓	内倒シ窓	
材料・仕上	アルミサッシ(カラー) , 半外付	アルミサッシ(カラー) , 半外付	アルミサッシ(カラー) , 半外付	アルミサッシ(カラー) , 半外付	アルミ製(カラー) , 半外付	
ガラス	透明ガラスφ4	透明ガラスφ4	透明ガラスφ4	透明ガラスφ4	透明ガラスφ4	
金 物	トップラッチ, 丁番, 網戸	トップラッチ, 丁番, 網戸	トップラッチ, 丁番, 網戸	トップラッチ, 丁番, 網戸	防湿ダンパー(FD)付	
備 考	他付属品一式 張替	他付属品一式	他付属品一式	他付属品一式	防虫網付	

外壁建具廻りシーリング撤去新設: 変成シリコン系 ノンブリードタイプ

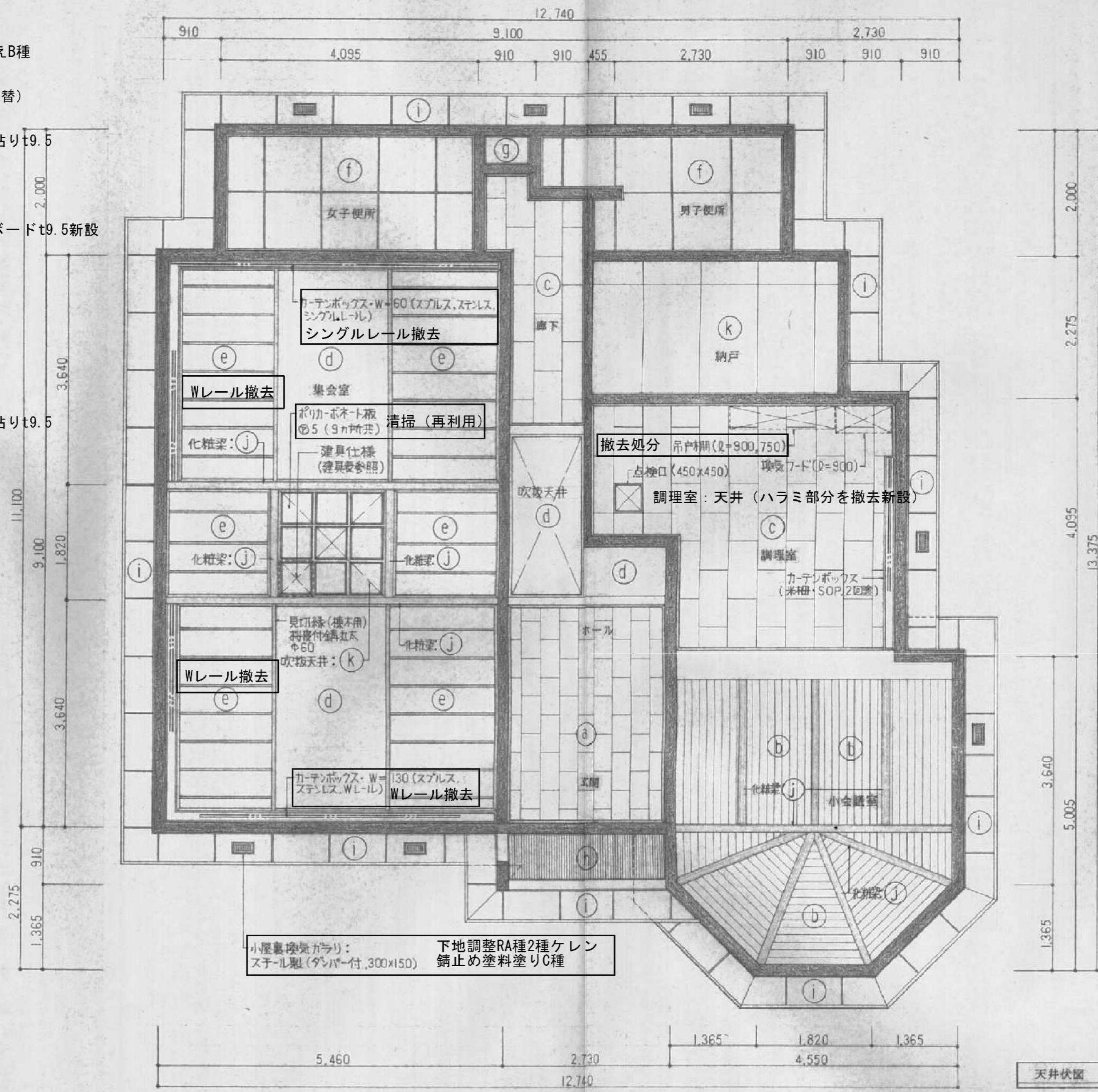


建具表: キープラン

符号・場所・数量	① WD 集会室 1カ所	② WD 集会室 1カ所	③ WD 小会議室 1カ所	④ WD 調理室・納戸 3カ所	⑤ WD 男子便所・女子便所 2カ所	⑥ WD 廊下(物入) 1カ所
図						
形式	片引きフラッシュ戸(窓入) 見込:36	引違いフラッシュ戸(窓入) 見込:36	片引きフラッシュ戸(窓入) 見込:36	片引きフラッシュ戸(窓入) 見込:36	片引きフラッシュ戸(窓入・ガフリ付) 見込:36	片開きフラッシュドア 見込:36
材料・仕上	ポリエステル化粧合板張り(両面), 大手:木製	ポリエステル化粧合板張り(両面), 大手:木製	ポリエステル化粧合板張り(両面), 大手:木製	ポリエステル化粧合板張り(両面), 大手:木製	ポリエステル化粧合板張り(両面), 大手:木製	表面:ポリエステル化粧合板 裏面:木製
ガラス	型ガラス④	型ガラス④	型ガラス④	型ガラス④	型ガラス④	
金物	引手(木製・角型), フラットレール(M型・1本), 戸車	引手(木製・角型), フラットレール(M型・2本), 戸車	引手(木製・角型), フラットレール(M型・2本), 戸車	引手(ステンレス), フラットレール(M型・1本), 戸車	引手(ステンレス), ステンレス数層レール(W-50), 戸車	取手, 丁番, マクホットキャッチ
備考					ガフリ:スワールス(150×300)	
符号・場所・数量	⑦ WD 集会室(天井) 1カ所					
図						
形式	取りはずし用ガラス戸 見込:60					
材料・仕上	杉 → OSCL 塗装					
ガラス	ポリカーボネート板⑤					
金物						
備考						
符号・場所・数量	① TB 男子便所 1カ所	② TB 女子便所 1カ所				
図						
形式	トイレブース サンドイッチパネル④0	トイレブース サンドイッチパネル④0				
材料・仕上	ポリエステル化粧合板張り (アルミエッジタイプ)	ポリエステル化粧合板張り (アルミエッジタイプ)				
ガラス						
金物	ラバトリ・ヒンジ, 同ラッチ, ストライク, 把手, 戸当り, 脚金具, 他取付金具一式	ラバトリ・ヒンジ, 同ラッチ, ストライク, 把手, 戸当り, 脚金具, 他取付金具一式				
備考						

改修仕上

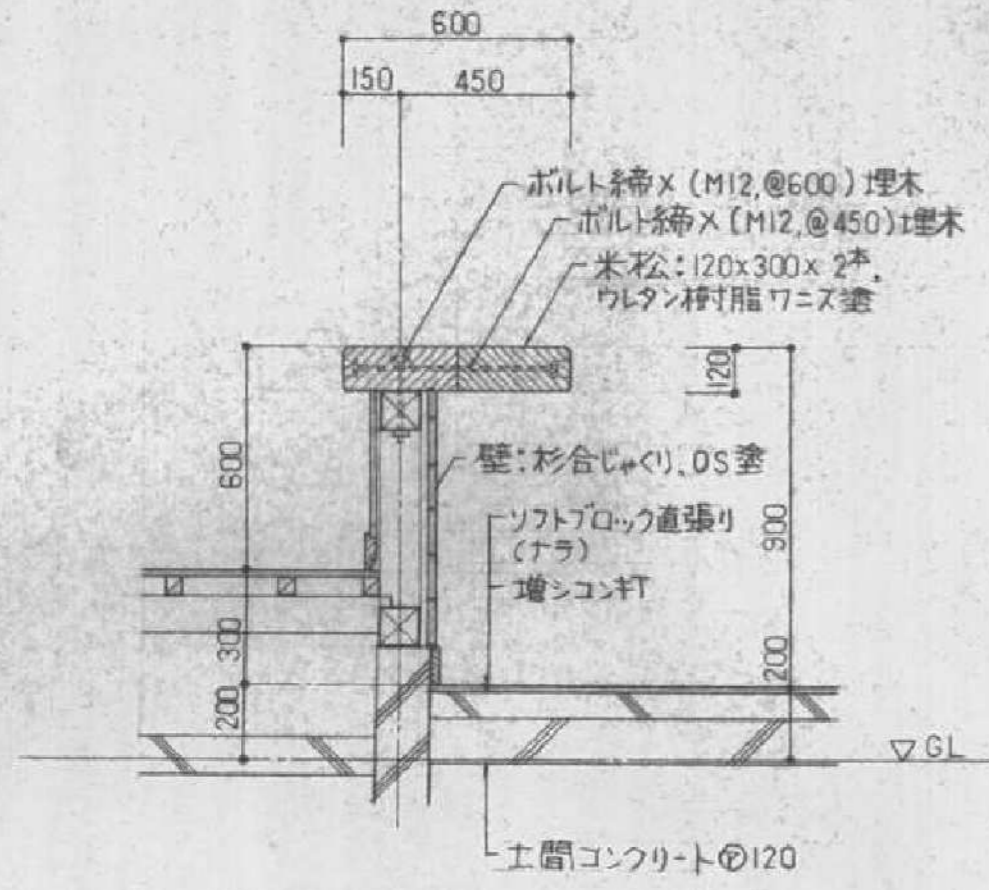
- a 天井仕上：既存のまま
廻縁：既存のまま
 - b 天井仕上：OSCL塗装B種 素地ごしらえB種
廻縁：天井仕上同様
 - c 天井仕上：既存のまま（調理室一部貼替）
廻縁：既存のまま
 - d 天井仕上：撤去後、化粧石膏ボード貼りt9.5
廻縁：OSCL塗装
 - e 天井仕上：既存のまま
廻縁：OSCL塗装
 - f 天井仕上：大平板（撤去・化粧石膏ボードt9.5新設）
廻縁：塩ビ製
 - g 改修なし
 - h 天井仕上：既存の上、AEP塗装C種
廻縁：既存の上、AEP塗装C種
 - i 天井仕上：既存の上、AEP塗装C種
廻縁：既存のまま
 - j OSCL塗装B種 素地ごしらえB湯
 - k 吹抜天井：撤去後、化粧石膏ボード貼りt9.5
納戸：改修なし
- ※d・Fの天井仕上は、石綿含有見込



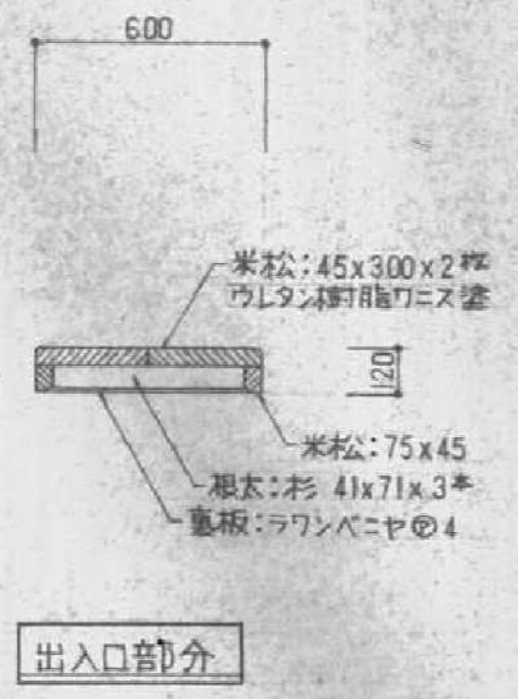
符号	仕上 (既存仕上)	廻縁
a	石コウボード@9.5下地、 岩綿化粧吸音板@12張り	米柵、SOP 2回塗
b	桐ベニヤ@5張り	目透シ
c	化粧石コウボード@9.5張り (調理室：準不才2016号)	米柵、SOP 2回塗
d	石コウボード@9.5下地、 ビニルクロス貼	杉
e	化粧石コウボード(和室天井用)@9.5張り	杉
f	大平板@5 目透シ張り下地、 合成樹脂エマルジョンパイト(AEP)2回塗	目透シ
g	ラワンベニヤ@4張り	米柵
h	軒天井ボード(岩綿吸音板・ストライプ調・ シーラー処理済)@12下地、AEP、2回塗	米柵
i	イソシアネート@12(無石綿)下地、 AEP、2回塗 [防火ホ590号]	目透シ
j	(化粧梁：米松) オイルステインリヤラッカー (OSCL) 3回塗・集会室：ワックス仕上	
k	石コウボード@9.5 目透シ処理下地、 合成樹脂エマルジョンパイト(AEP) 2回塗	目透シ

※ SOP：合成樹脂調合パイト塗
 ※ AEP：合成樹脂エマルジョンパイト塗
 ※ OSCL：オイルステインリヤラッカー塗

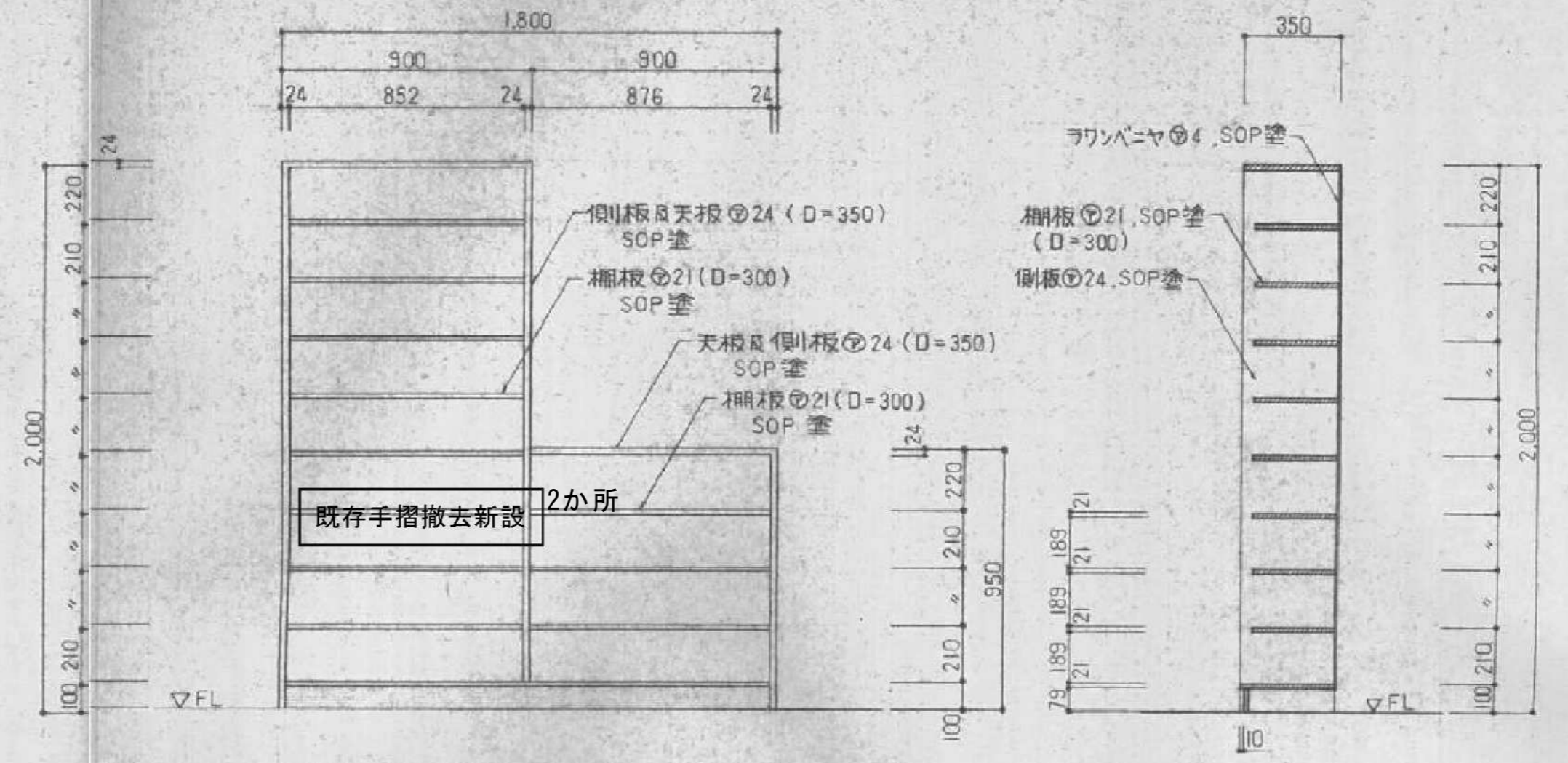
天井伏図 S=1/50



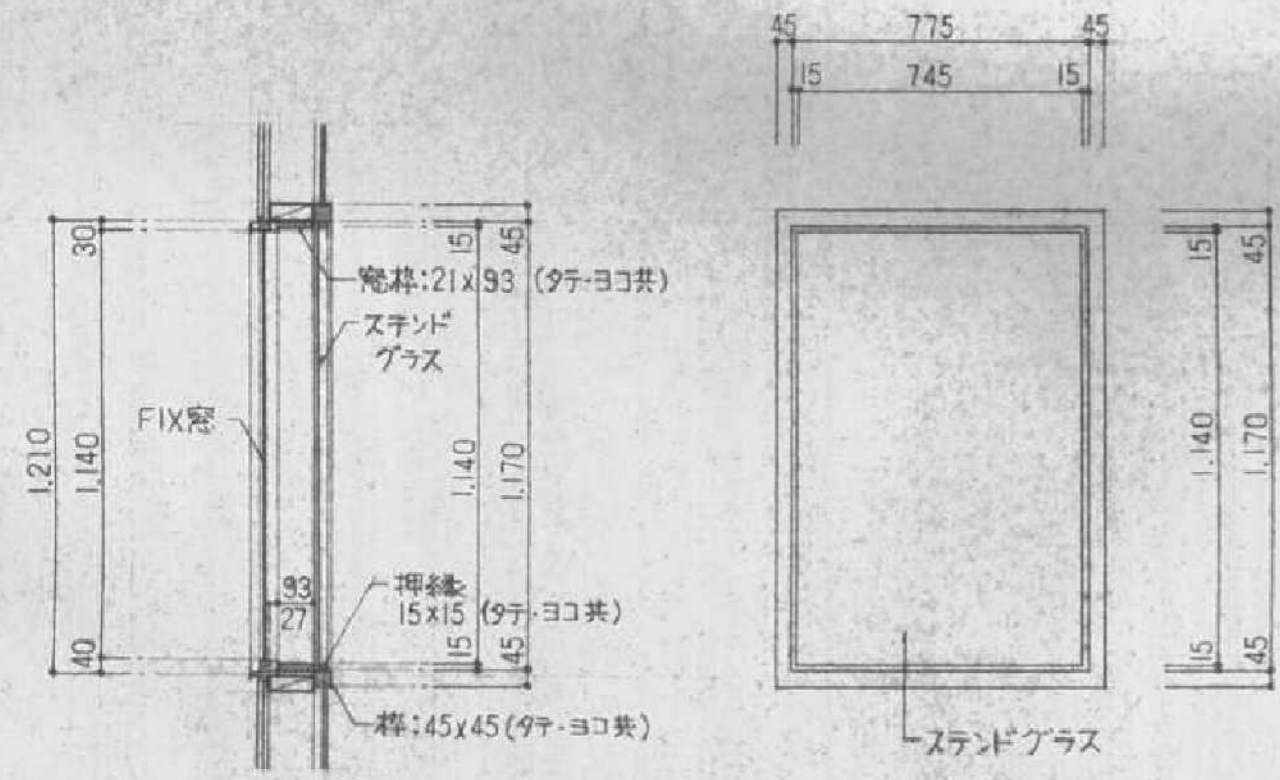
カウンター詳細図 S-1/20



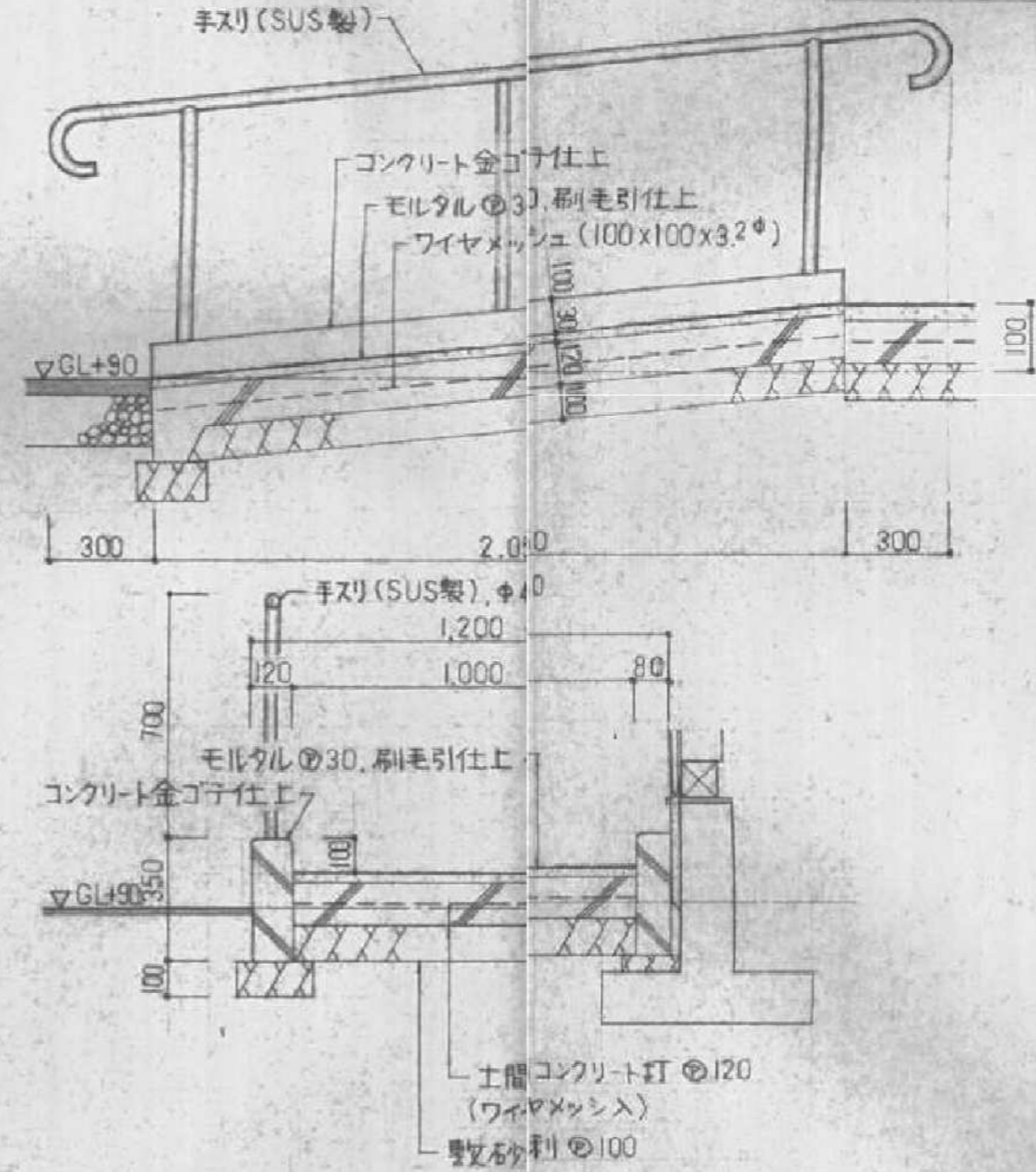
出入口部分



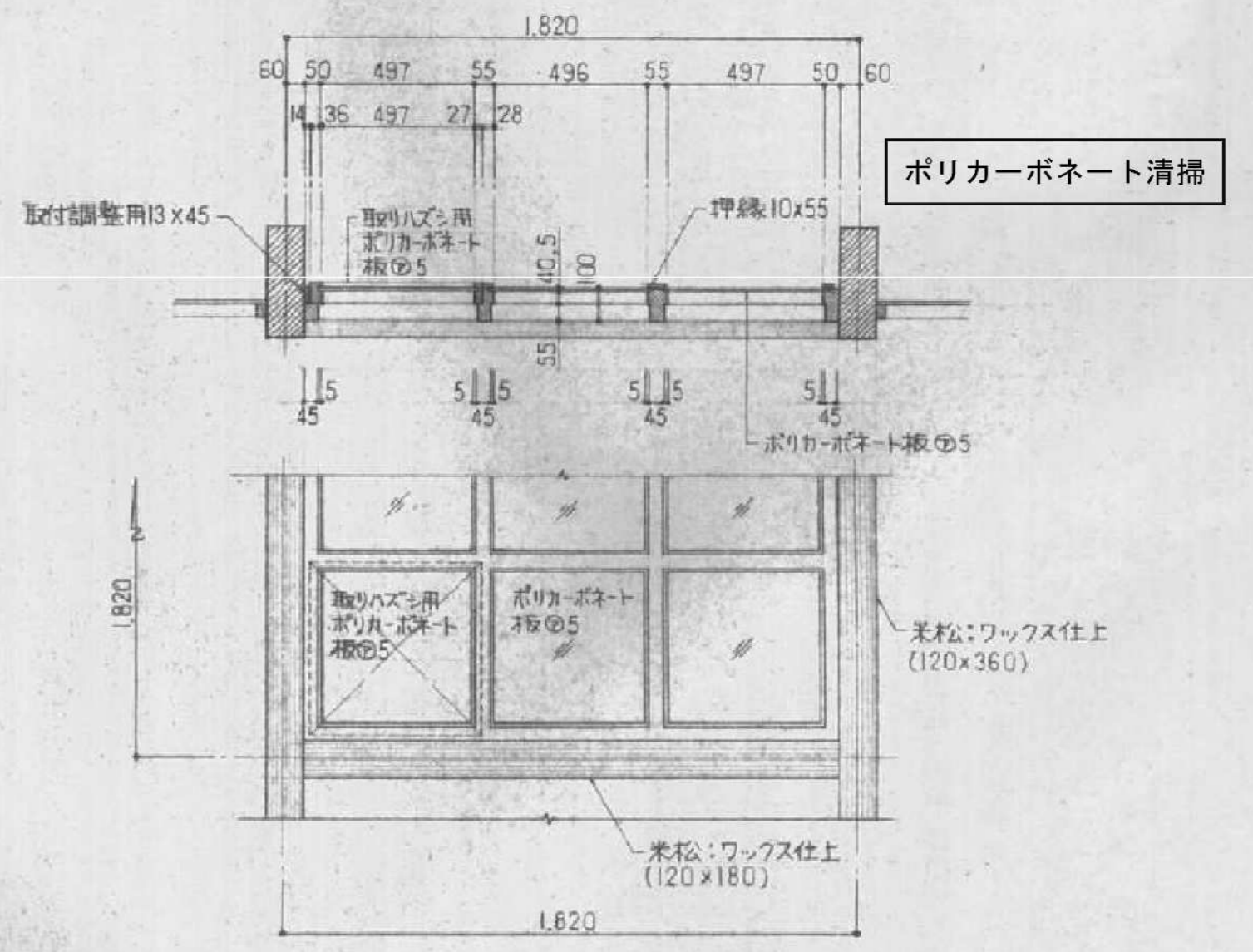
下駄箱詳細図 S-1/20



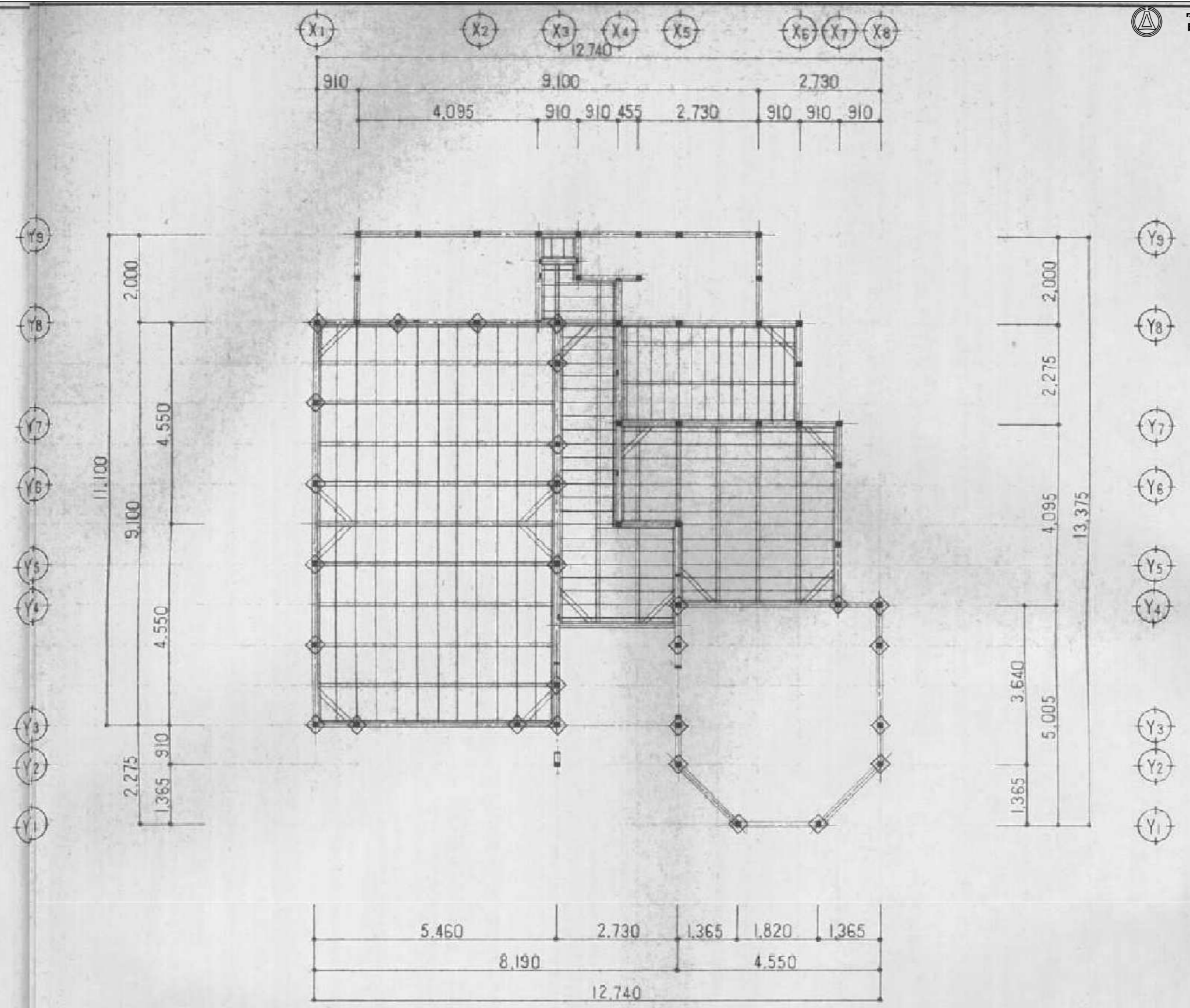
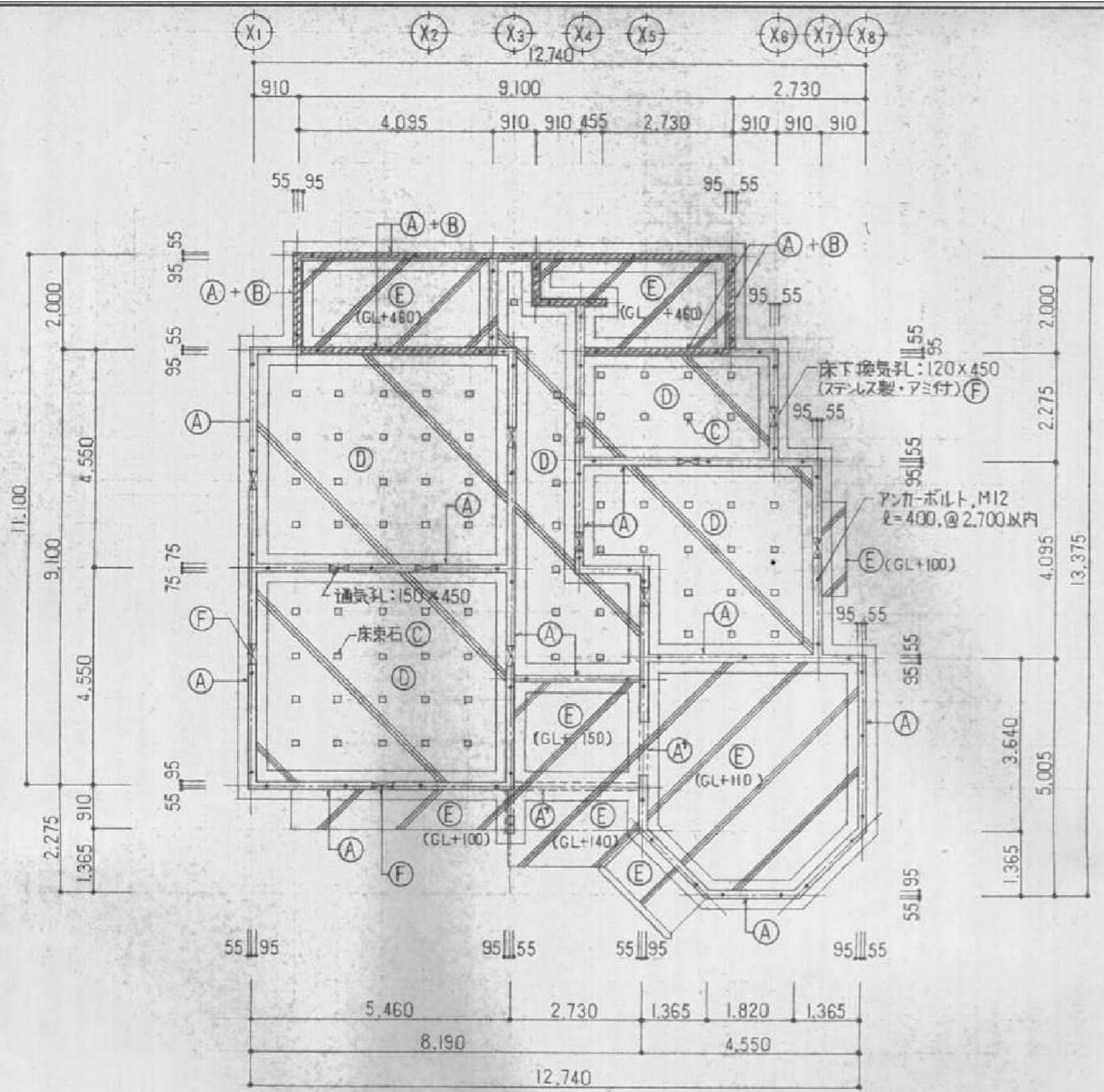
スタンドガラス取付詳細図 S-1/20



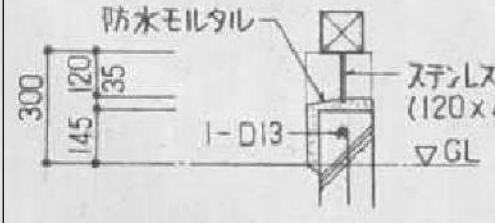
スロープ詳細図 S-1/20



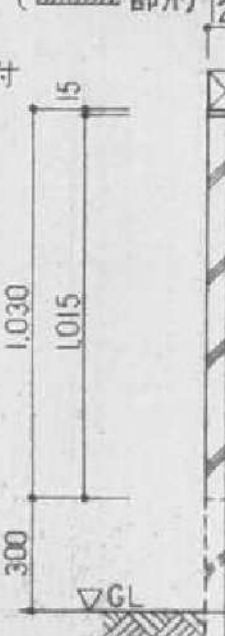
集会室・採光天井 S-1/20



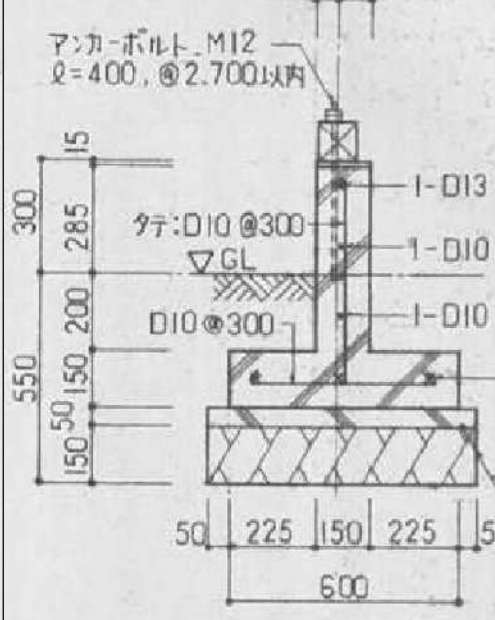
(F): 床下換気孔



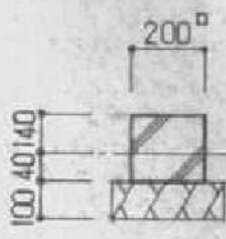
(B): 壁壁



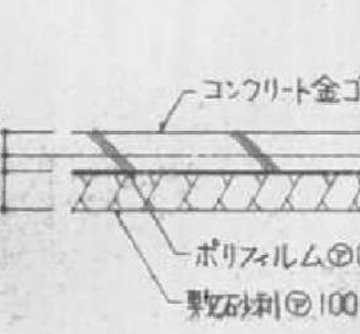
(A): 布基礎



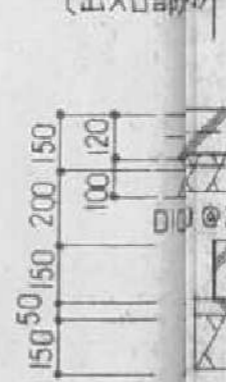
(C): 床基石



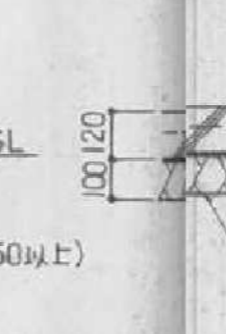
(D): 床下防湿コンクリート



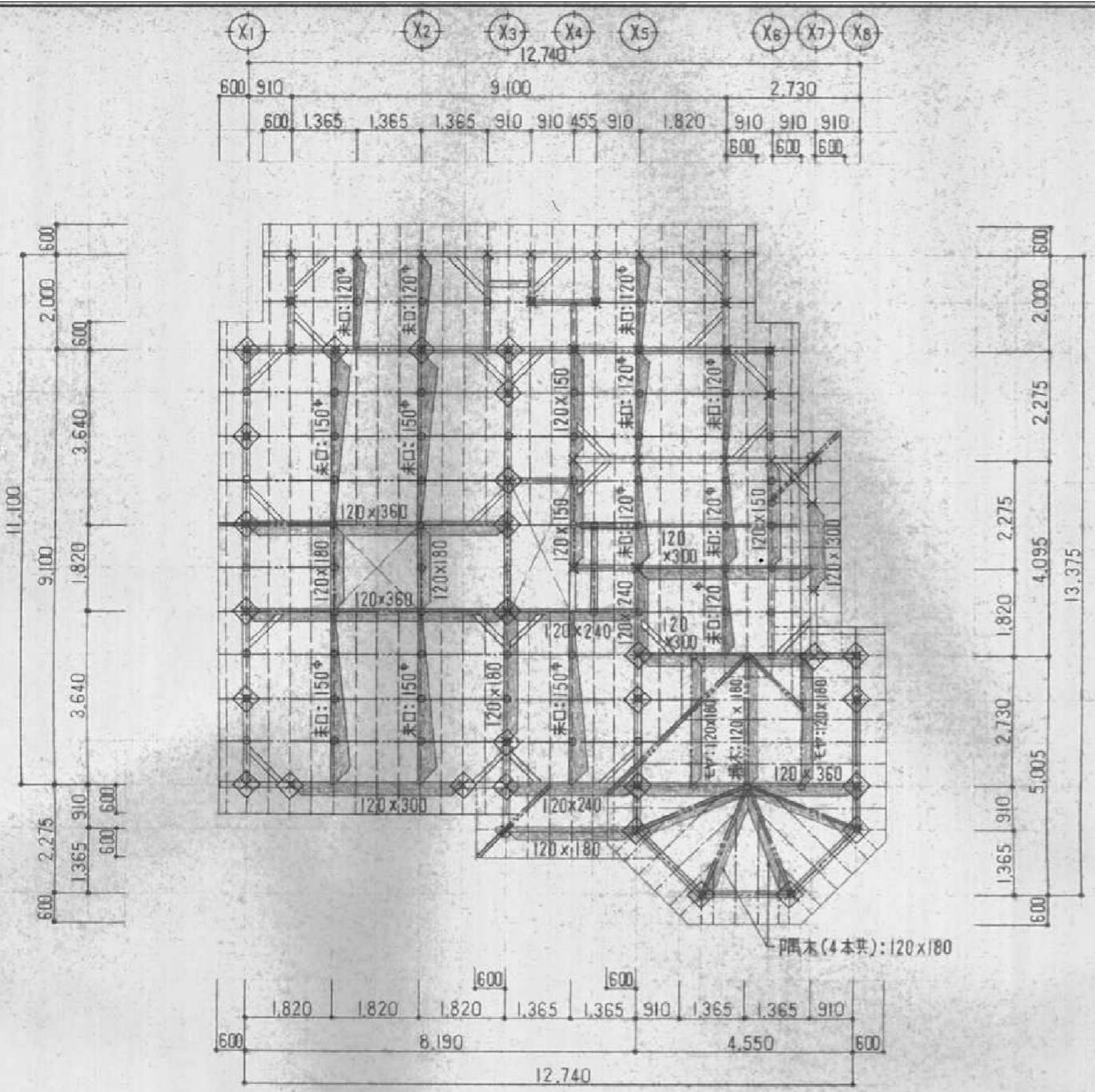
(E): 土間コンクリート



(E): 土間コンクリート

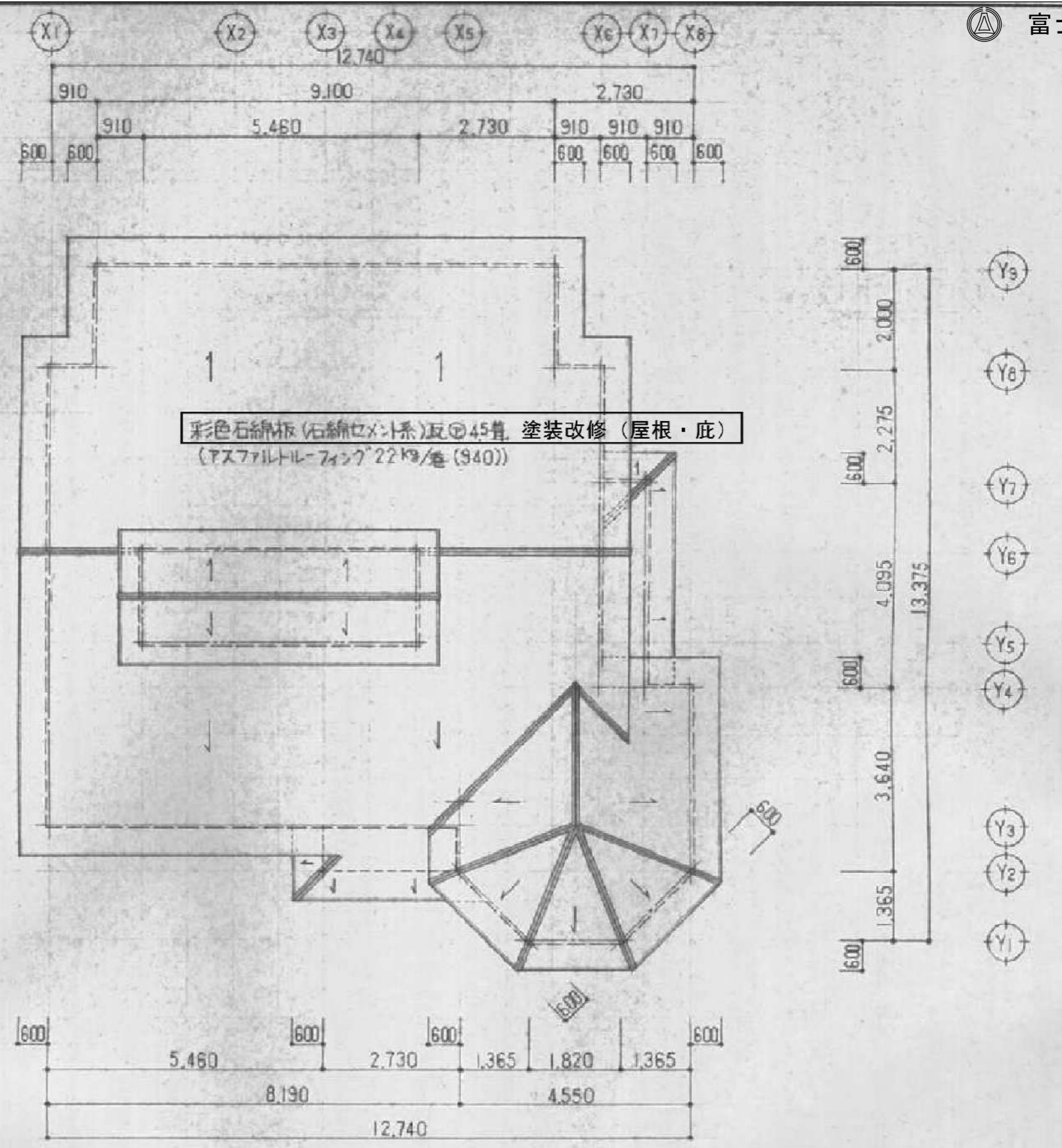


記号	部位	材種・等級	断面寸法	ピッチ
■	土台	防腐土台・1等 (米柵)	105 x 105	
■	柱	杉・特1等	105 x 105	
◆	柱	杉・特1等	120 x 120 (105角柱の外側合せ)	
—	大引 (集会室)	米ヒバ・1等	105 x 105	@ 910
—	大引 (上記以外)	米柵・1等	105 x 105	@ 910
—	床束 (集会室)	米ヒバ・1等	105 x 105	@ 910
—	床束 (上記以外)	米柵・1等	105 x 105	@ 910
—	根太 (集会室)	米柵・1等	42 x 55	@ 455
—	根太 (上記以外)	米柵・1等	42 x 55	@ 303
▲	火打土台	米ヒバ・1等	105 x 105/2	
—	根太掛	米柵・1等	27 x 100	
—	根付ラミキ	杉・1等	13 x 90	

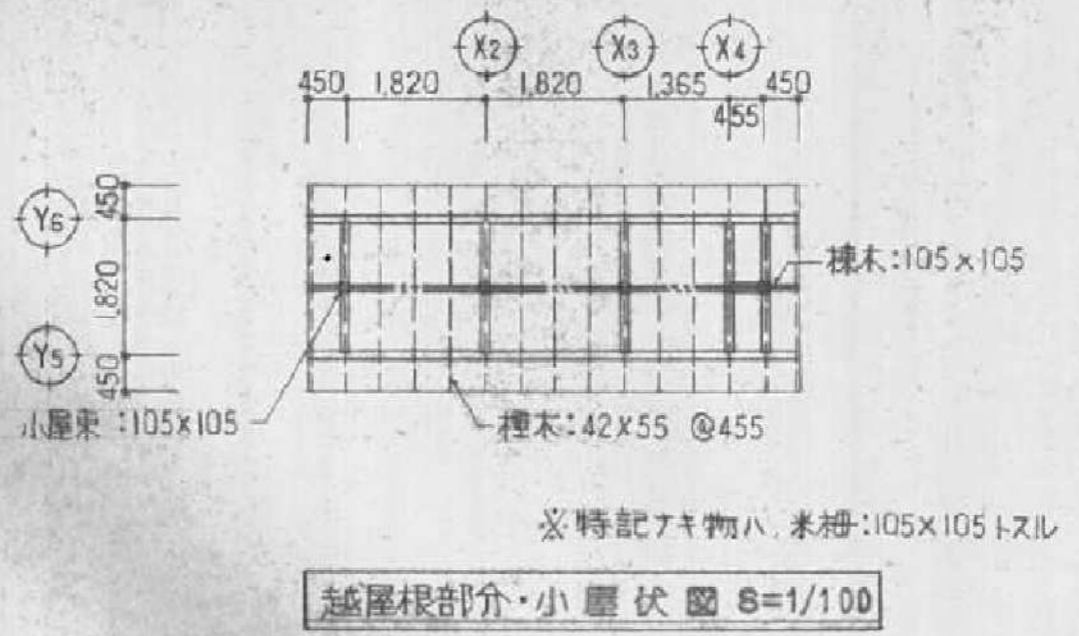


小屋伏図 1/100

記号	部位	材種・等級	断面寸法	ピッチ
—x—	柱	杉・特1等	105×105	
—◇—	柱	杉・特1等	120×120	
— —	材・頭継ぎ	米桧・1等	105×105	
— —	梁・胴差し	米松・1等	上記図示ニヨル	
— —	小屋梁	松丸太・1等	未口: 上記図示ニヨル (タイコ)	
—○—	小屋束	米桧・1等	105×105	@1,820以内
— —	棟木・隅木 谷木	米桧・1等	105×105	・特記ハ上記図示ニヨル
— —	母屋	米桧・1等	105×105	@910・特記ハ上記図示ニヨル
— —	一般種木	米桧・1等	42×55	@455
— —	種木(-部)	松・1等	45×105	@455
— —	火打梁	米桧・1等	105×105	斜1/2
— —	小屋筋違	杉・1等	13×90	1,820以内

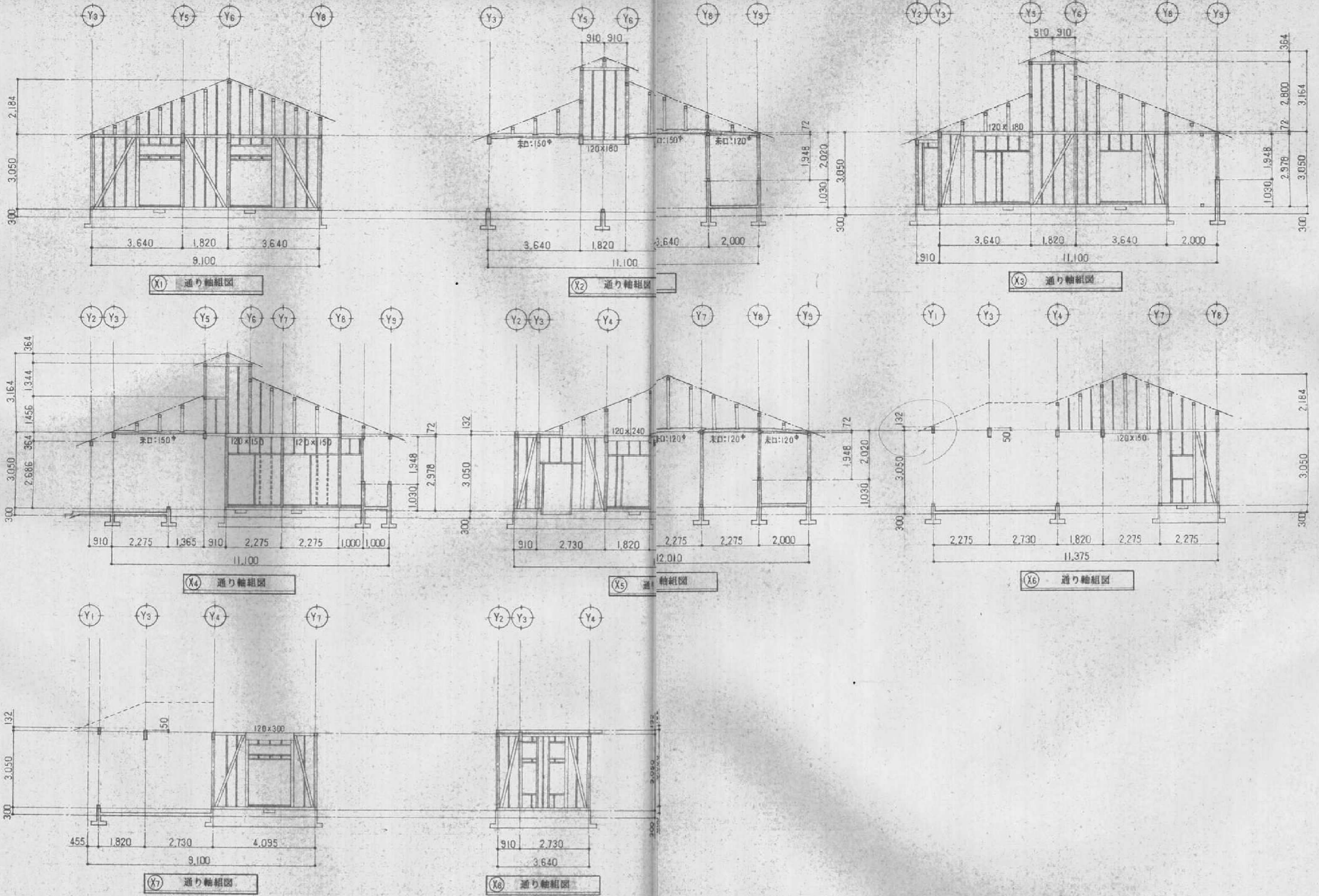


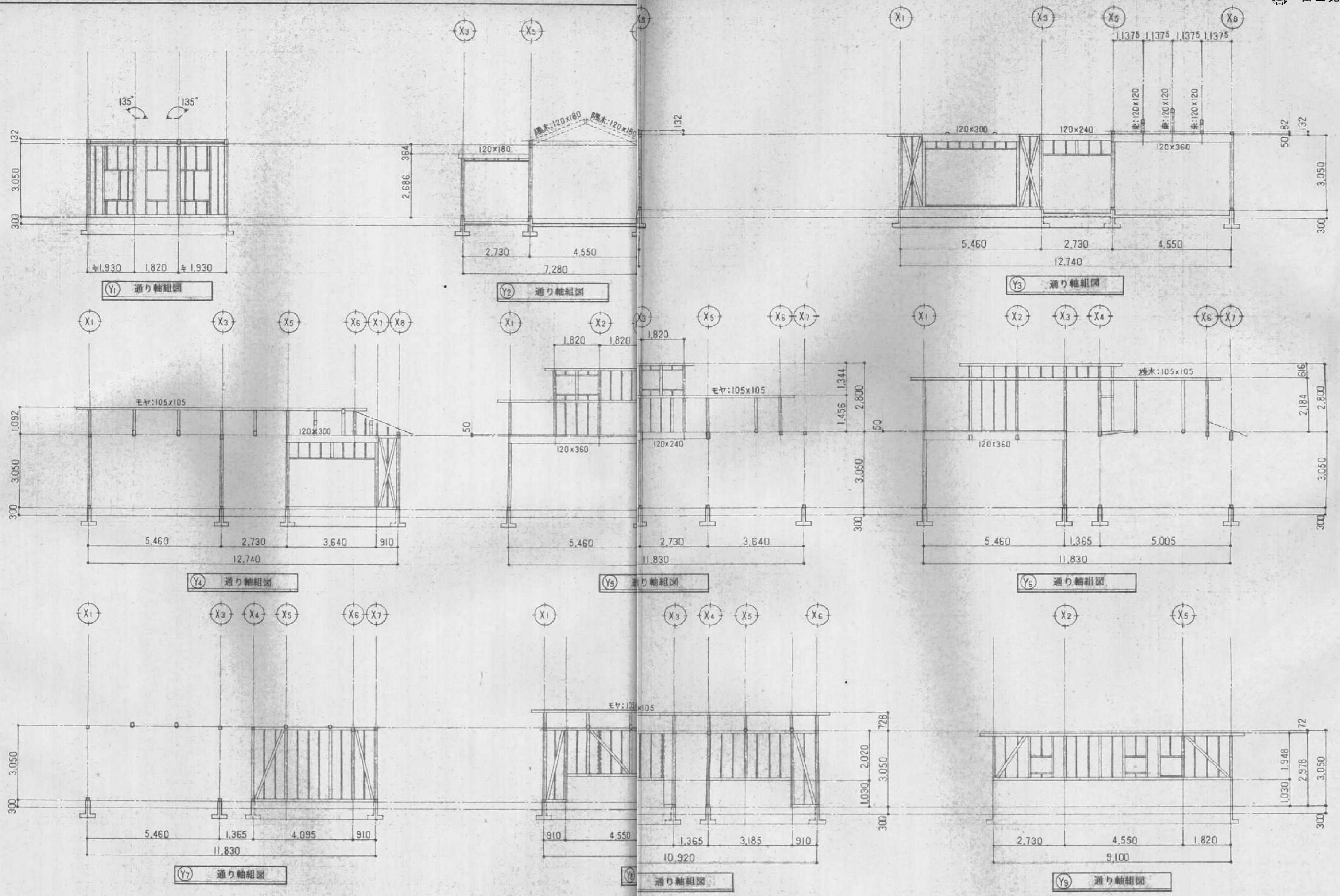
屋根伏図 1/100

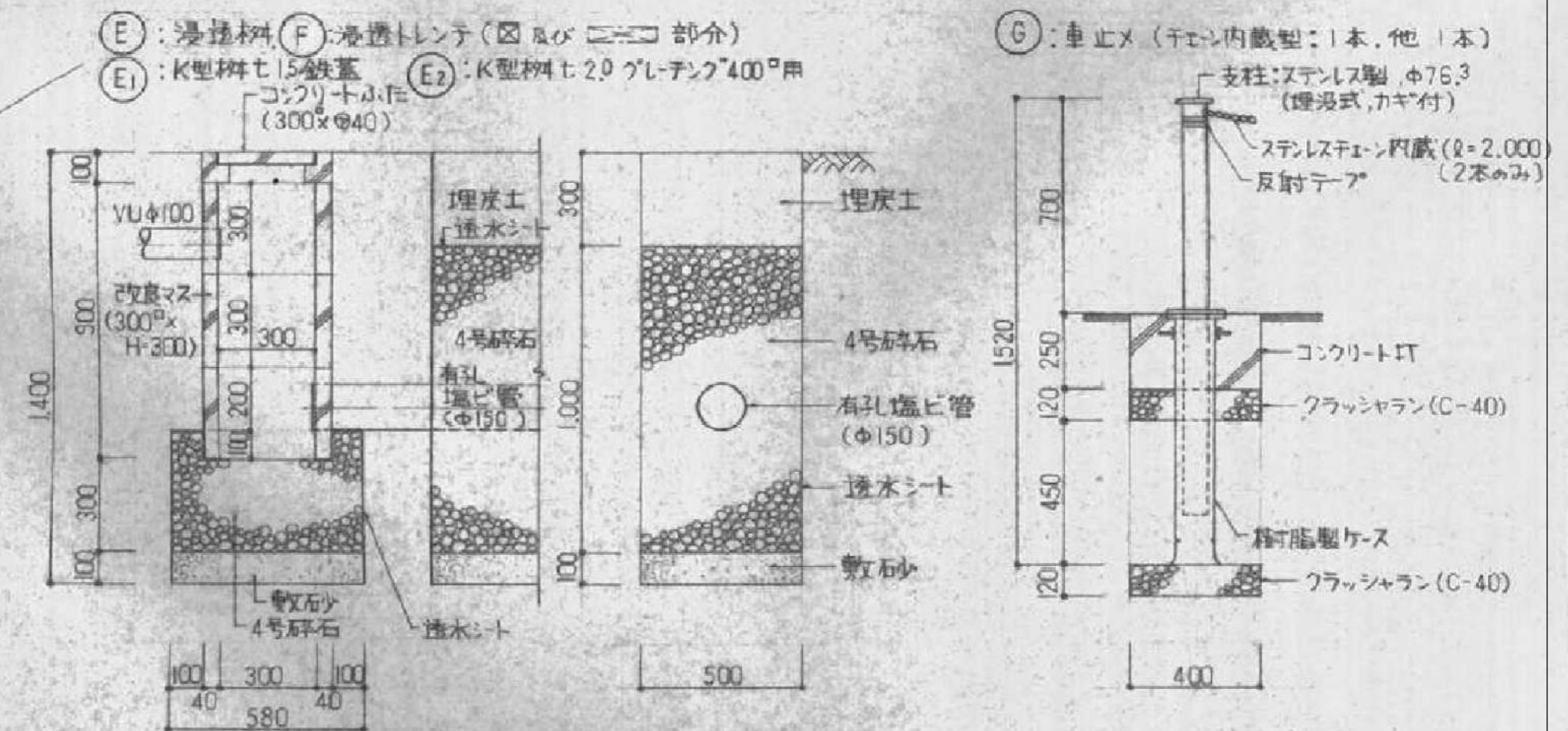
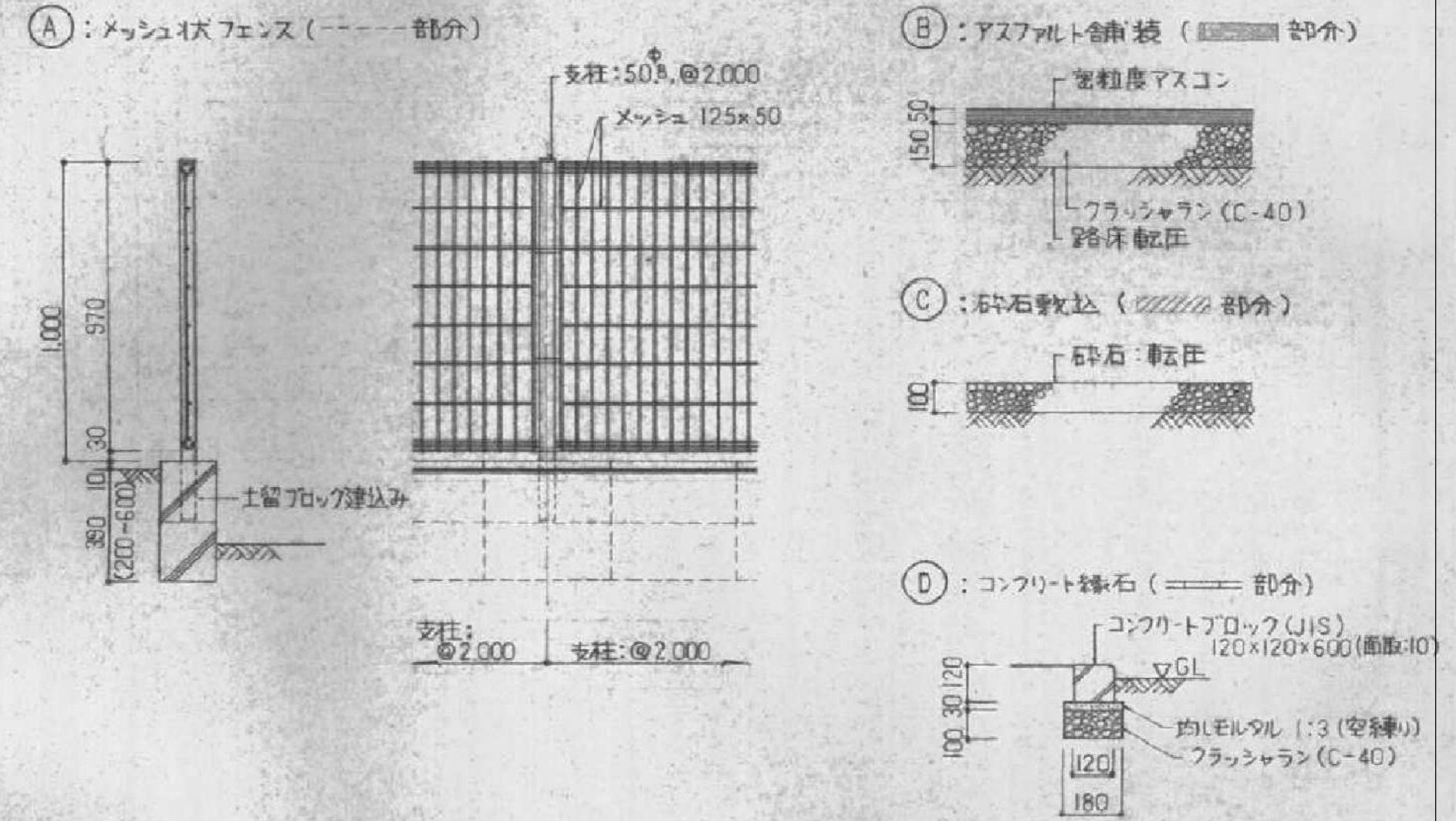
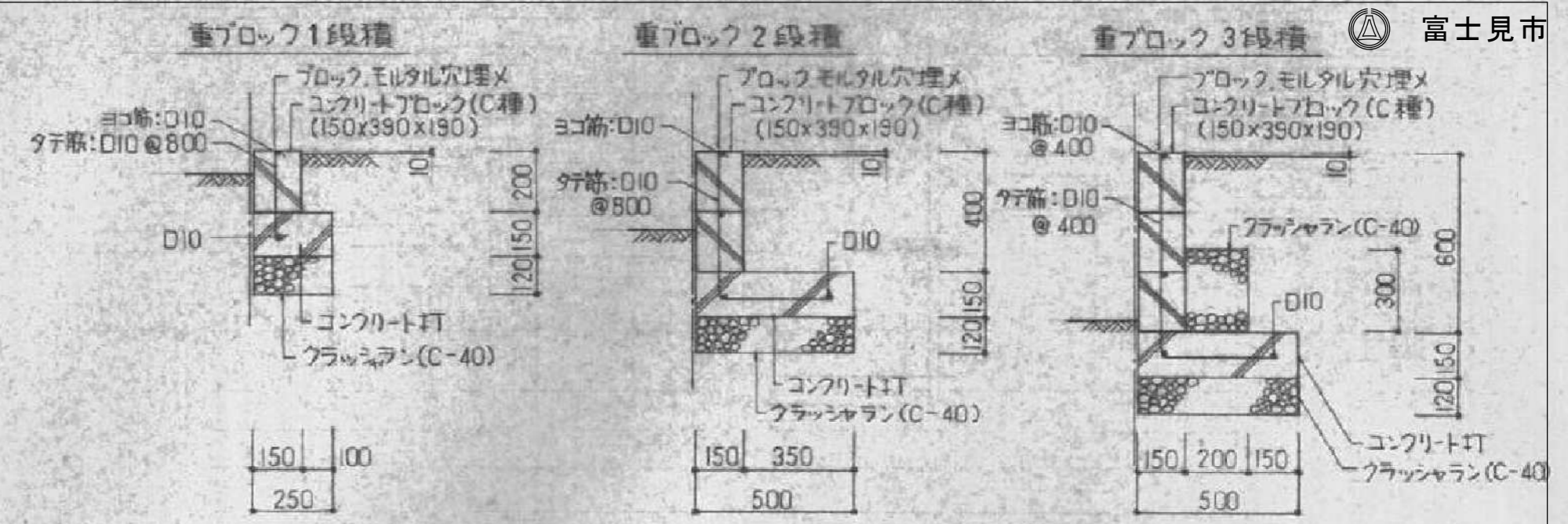
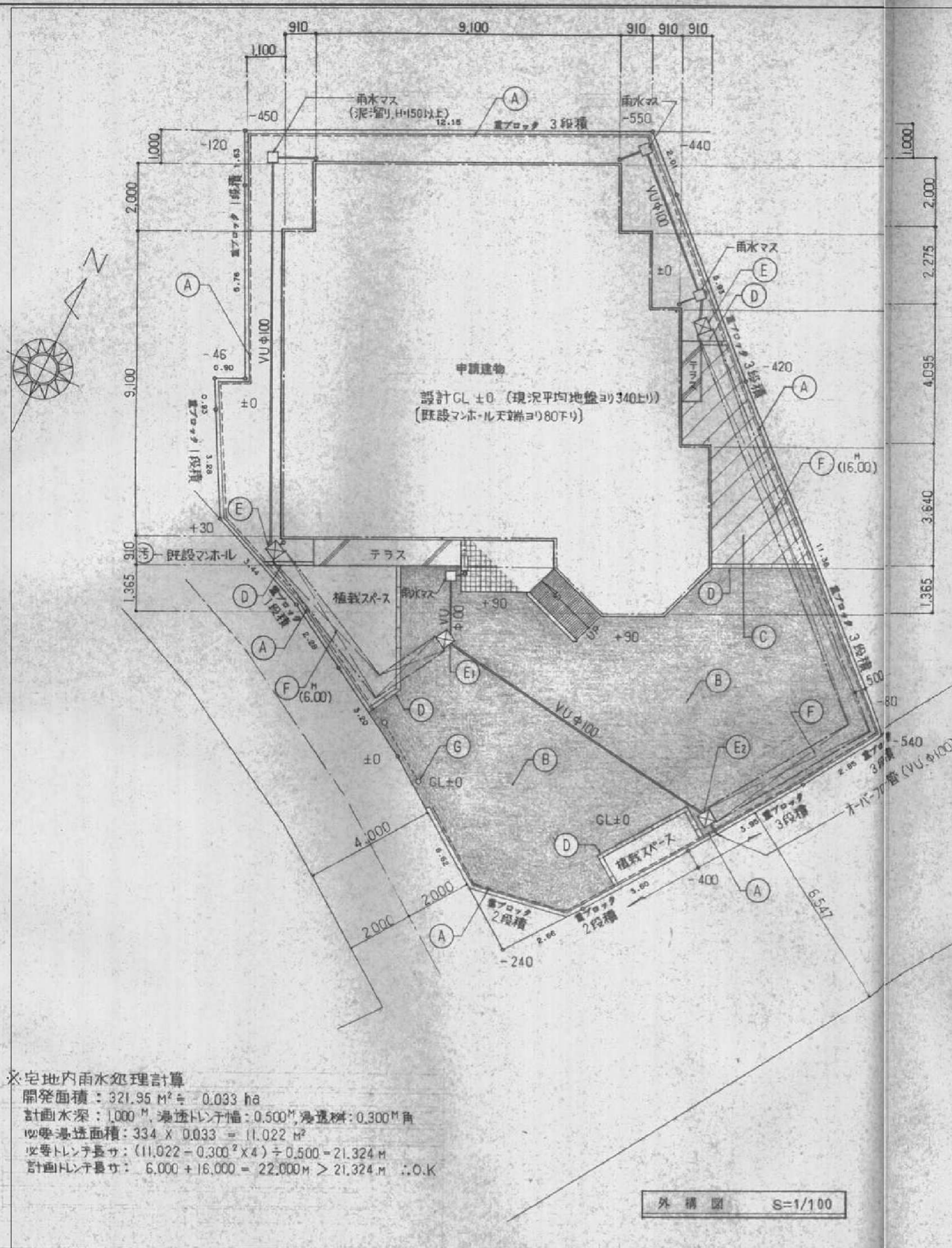


越屋根部分・小屋伏図 1/100

塗装改修(屋根・庇): 高圧洗浄
遮熱塗装 フッ素系3回塗(下塗り含む)
縁切り(タスペーサー同等)







※宅地内雨水処理計算
 開発面積：321.95 M² = 0.033 ha
 計画水深：1,000 M, 透透トレント幅：0.500 M, 透透樹：0.300 M²角
 必要透透面積：334 X 0.033 = 11.022 M²
 必要トレント長さ：(11.022 - 0.300² X 4) ÷ 0.500 = 21.324 M
 計画トレント長さ：6,000 + 16,000 = 22,000 M > 21.324 M ∴ O.K

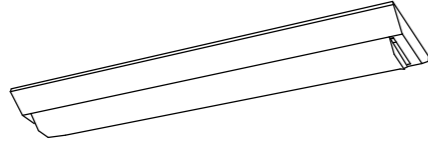
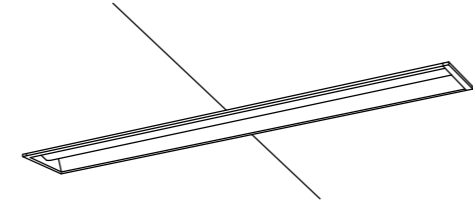
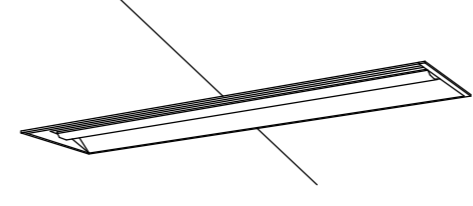
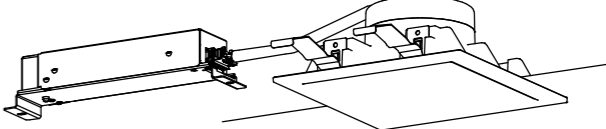
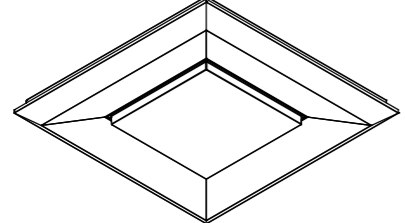
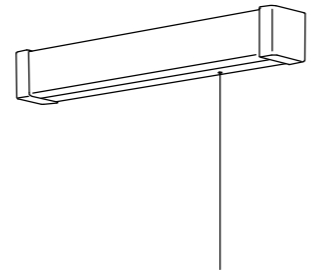
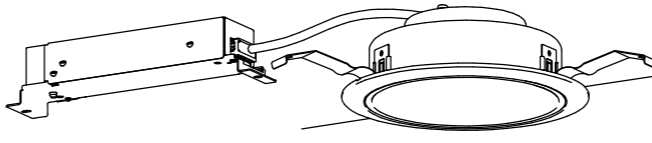
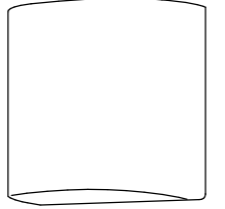

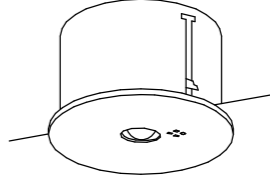
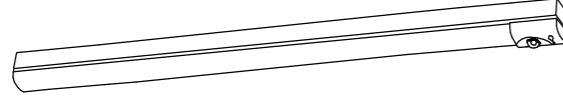
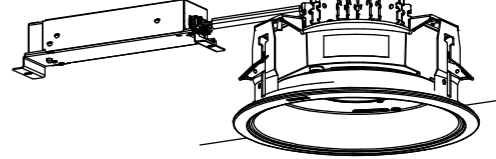
外構図 S=1/100

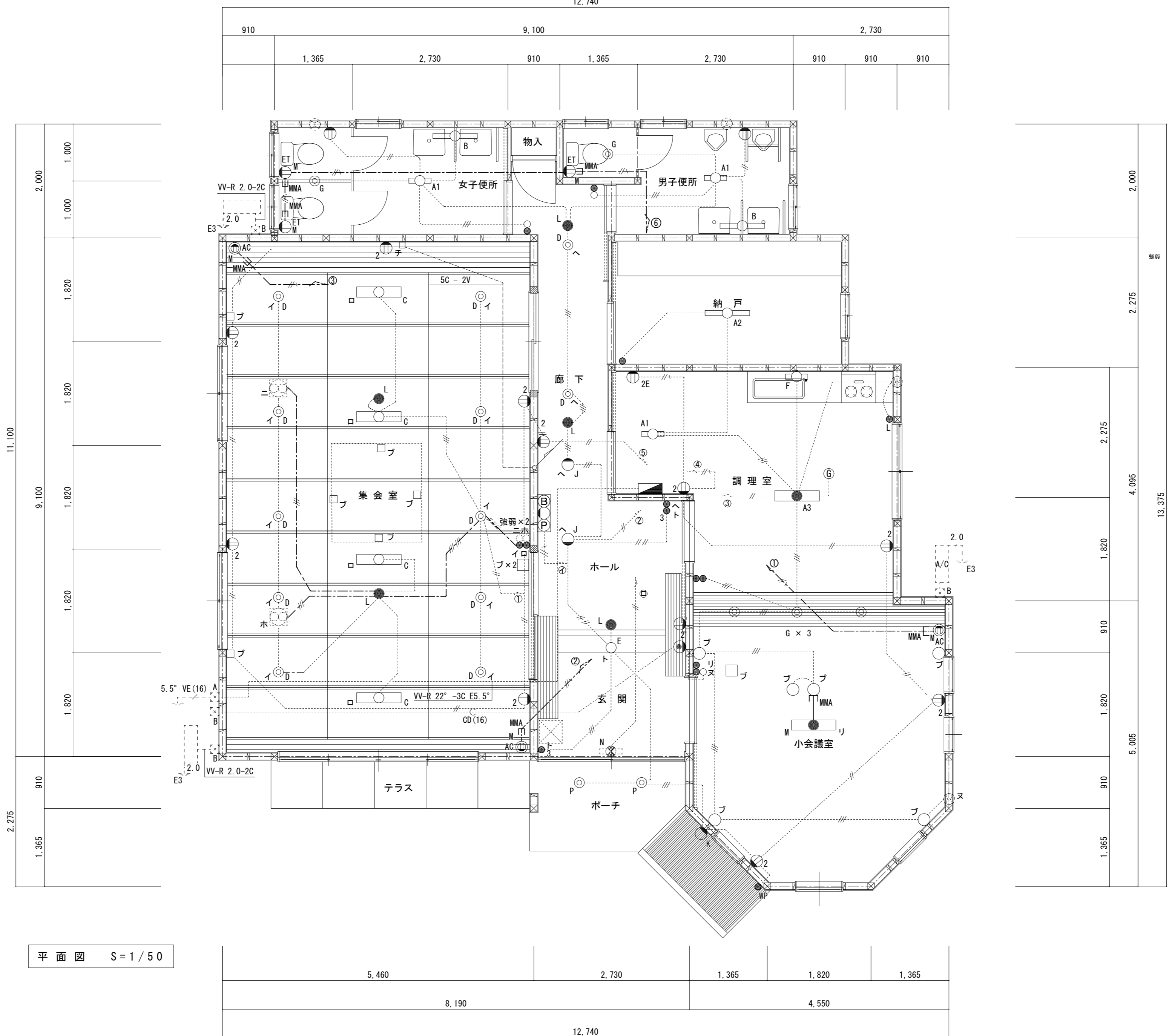
環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	<p>留意事項</p> <p>1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。</p> <p>2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。</p> <p>3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。</p>																																																																																																																																			
	2 アスベスト含有分析 調査	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]</p> <p>・ 行う（下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示</p> <p>分析対象</p> <p>※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）</p> <p>調査方法・分析方法</p> <p>※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。</p> <p>分析結果については、監督員に提出すること。</p>	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																									
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																			
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
3 アスベスト粉じん 濃度測定	<p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）</p> <p>測定箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">適 用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>レベル3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td>処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 5</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 6</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 (隔離シート除去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート除去後1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 9</td> <td>処理作業後 (シート除去後1週間以降)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 10</td> <td>処理作業後 (シート除去後1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td colspan="3">位相差・分散顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>ファンフィルターの直径</td> <td colspan="3">25 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td colspan="3">直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成（記録する項目）</p> <p>ア 測定結果</p> <p>イ 測定時間</p> <p>ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）</p> <p>エ サンプリング条件（メンブレンフィルター直径、吸引時間、吸引空気量）</p> <p>オ マウンティング方法</p> <p>カ 顕微鏡視野面積、計数視野数</p> <p>キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p>	適 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	レベル1	レベル2	レベル3						○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点		○	○	・	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点		○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認	○	・	・	測定 5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定 6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		○	○	・	測定 7	処理作業後 (隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		○	○	・	測定 8	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		・	・	・	測定 10	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			ファンフィルターの直径	25 mm			試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
適 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																																																														
レベル1	レベル2	レベル3																																																																																																																																			
○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点																																																																																																																															
○	○	・	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
・	・	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点																																																																																																																															
○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																														
○	・	・	測定 5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																														
○	○	・	測定 6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
○	○	・	測定 7	処理作業後 (隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																															
○	○	・	測定 8	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																															
・	・	・	測定 10	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5																																																																																																																																		
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																				
ファンフィルターの直径	25 mm																																																																																																																																				
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																		
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																																		
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																																																				
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																																				
計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																																																				
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																		

4 7μm以上含有吹き付け材の撤去（レベル1）	<p>アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3]</p> <p>・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等</p> <p>処理方法</p> <p>※密封処理（二重袋梱包）</p> <p>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。</p> <p>・セメント固化</p> <p>処理を行う吹き付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）	<p>アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]</p> <p>・ 行う</p> <p>作業上の隔離</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）	<p>1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]</p> <p>・ 行う</p> <p>処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による除去</p> <p>・ 行う</p> <p>処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材付配管</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有配管フランジパッキン</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。</p> <p><参考>石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre> graph TD A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --> B["可能性あり・不明"] A --> C["可能性なし"] B --> D["(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）"] D --> E["可能性あり・不明"] D --> C E --> F["分析を実施しない場合"] E --> G["分析を実施する場合"] F --> H["石綿含有とみなす"] G --> I["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"] I --> J["石綿含有0.1%を超えていると判断"] I --> K["石綿含有0.1%以下と判断"] J --> L["石綿使用あり・届出要件確認・届出"] K --> M["石綿使用なし"] </pre>	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・		※ 図示	・		※ 図示	・		※ 図示	・		※ 図示	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示	・石綿含有保温材付配管		※ 図示	・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示			※ 図示
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・		※ 図示																													
・		※ 図示																													
・		※ 図示																													
・		※ 図示																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示																													
・石綿含有保温材付配管		※ 図示																													
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示																													
		※ 図示																													

設計年月日	2024. 09	富士見市 総務課	課長	副課長	主幹	主査	担当	縮尺	NS	工事名称	市立諏訪集会所大規模修繕工事	図面名	電気設備工事特記仕様書（2）	図面番号	E-02
-------	----------	-------------	----	-----	----	----	----	----	----	------	----------------	-----	----------------	------	------

照明器具姿図


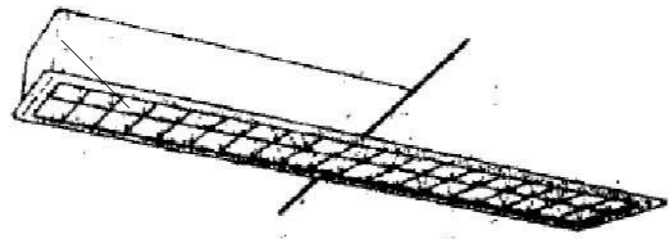

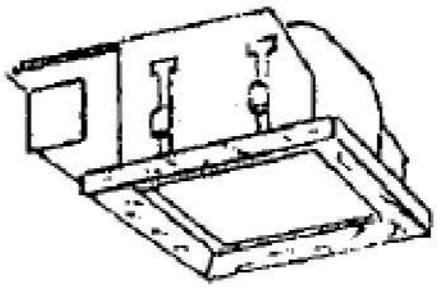
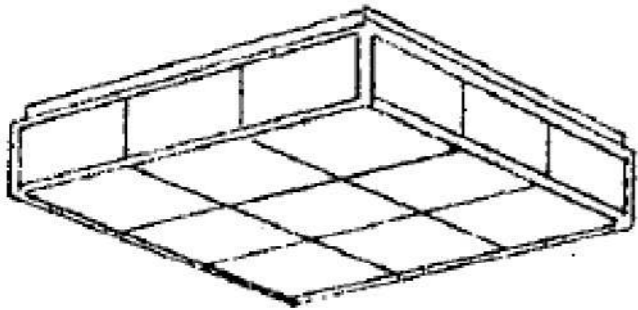
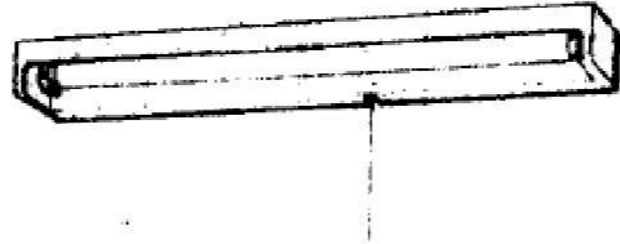
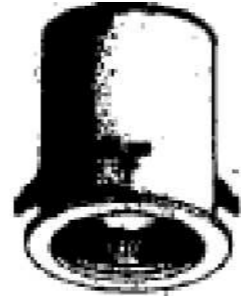
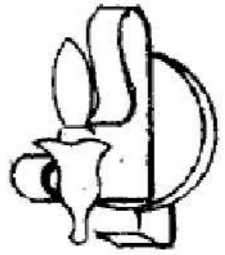
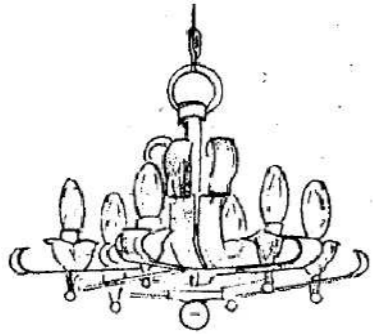
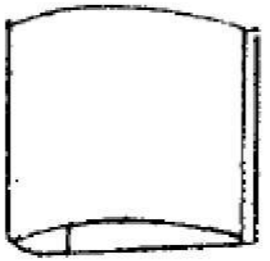
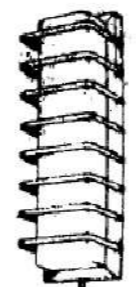
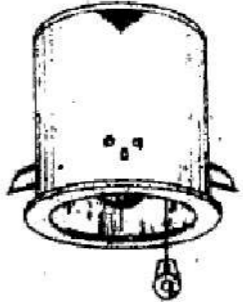
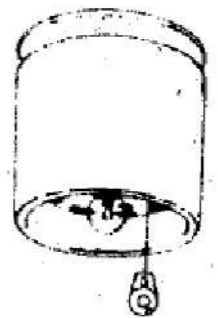
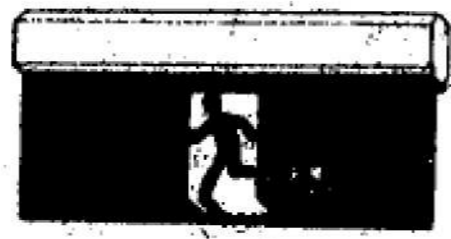

<p>A ベースライト 直付形</p>  <p>A1:LSS9-2-30 LE9 A2:LSS9-4-30 LE9 A3:K1-LSS9-4-48 LE9</p>	<p>B ベースライト 埋込形</p>  <p>LRS6-4-23 LE9</p>	<p>C ベースライト 埋込形</p>  <p>LRS3-4-48 LE9</p>	<p>D ダウンライト 埋込形 スクエア</p> <p>埋込穴：φ150 5000K、Ra85、拡散タイプ</p>  <p>XND0690SN LE9 相当品</p>
<p>E ベースライト 直付形 スクエア</p> <p>一般光源ユニット、4500lmタイプ 昼白色(5000K)、Ra83、φ570</p>  <p>XLX140AEN LA9 相当品</p>	<p>F キッチンライト</p> <p>昼白色(5000K)、Ra83 器具光束840lm、消費電力9.5W、電圧100V 拡散タイプ、コンセント付、プルスイッチ付</p>  <p>LGB85045LE1 相当品</p>	<p>G ダウンライト 埋込形</p>  <p>LRS1-13 LE9</p>	<p>Blank cell with diagonal line</p>
<p>Blank cell with diagonal line</p>	<p>J ブラケット 壁直付形</p> <p>昼白色(5000K)、Ra83 W=135 H=135 出し90</p>  <p>LGB81703LE1 相当品</p>	<p>K ブラケット 防湿・防雨形</p>  <p>LBF3MP/RP-2-06 LE9</p>	<p>L 非常照明器具 埋込形</p> <p>φ150低天井用(～3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 0 4</p>  <p>NNFB91615C 相当品</p>
<p>M 一体型LED非常用ベースライト</p>  <p>K1-LSS1-4-65</p>	<p>Blank cell with diagonal line</p>	<p>Blank cell with diagonal line</p>	<p>P 軒下ダウンライト(防雨型)</p> <p>軒下用防雨型、埋込穴：φ200 5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：3605lm、消費電力：30.7W</p>  <p>XNW3581WN LZ9 相当品</p>

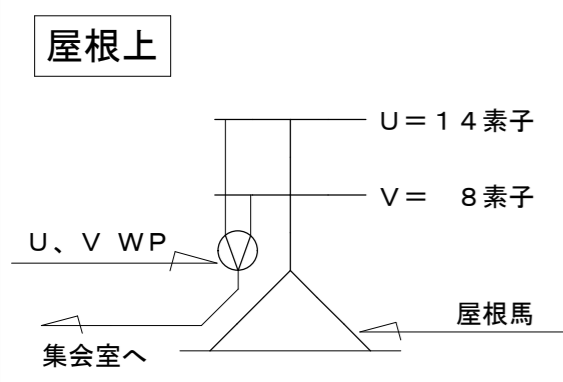


平面図 S=1/50

凡例	
●	埋込スイッチ 1P15A×1
○	埋込スイッチ 1P15A×1 確認表示灯
●	埋込スイッチ 3W15A×1
●●	埋込スイッチ 1P15A×2
●○	埋込スイッチ 1P15A×1 + 確認表示灯
●●	埋込スイッチ 1P15A×1 + 3W15A×1
●○	埋込スイッチ 1P15A×2 + 確認表示灯
●	埋込スイッチ 1P15A×1 防水型
□	blank plate 角型
○	blank plate 丸型
□	blank chip
⊗	非常警報装置 一体型 露出
Ⓛ	埋込コンセント 2P15A×1
Ⓛ	埋込コンセント 2P15A×2
Ⓛ	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付
Ⓛ	埋込コンセント 2P15A×1 接地端子付
Ⓛ	スイッチボックスA型1個用共
Ⓛ	埋込コンセント 250V2P15/20A×1
Ⓛ	接地極・接地端子付
Ⓛ	スイッチボックスA型1個用共
特記事項	
— EM-EEF1.6-3C	
- - - EM-EEF1.6-3C×2	
- - - EM-EEF1.6-2C+3C×2	
— EM-EEF2.0-3C	
E- 立下り1種金属線び保護とする。	
MMA	
--- 既存配線	
必要に応じて結線を行うこと。	

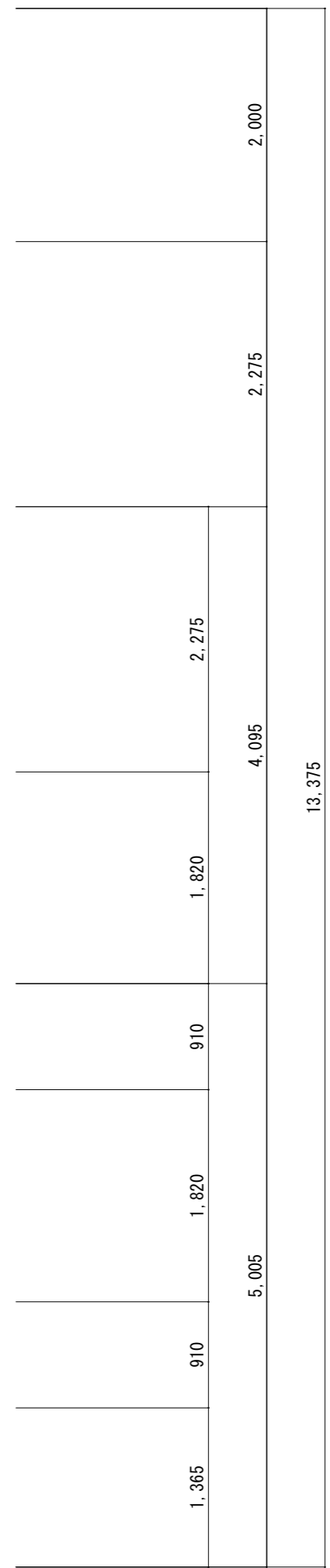
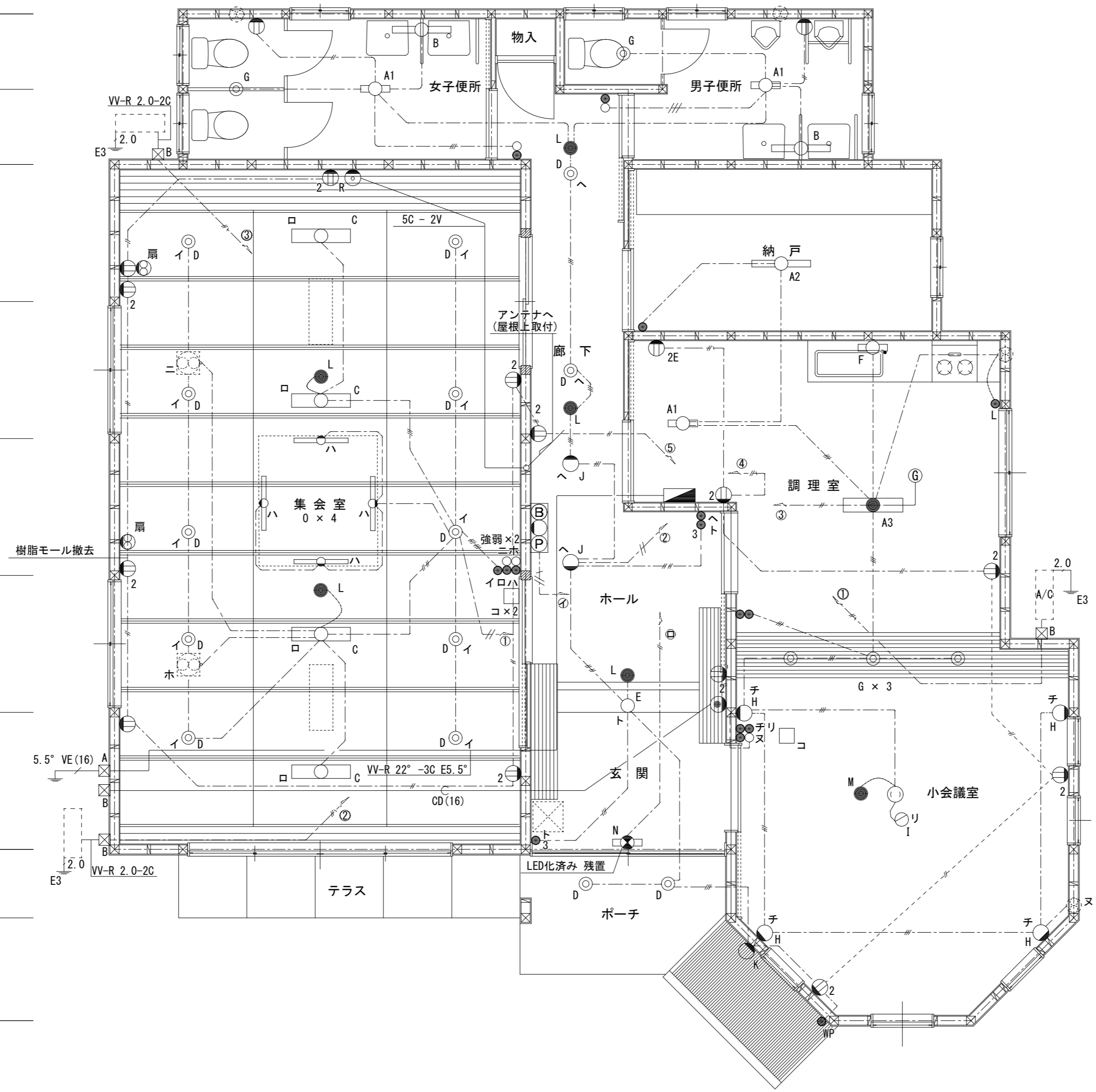
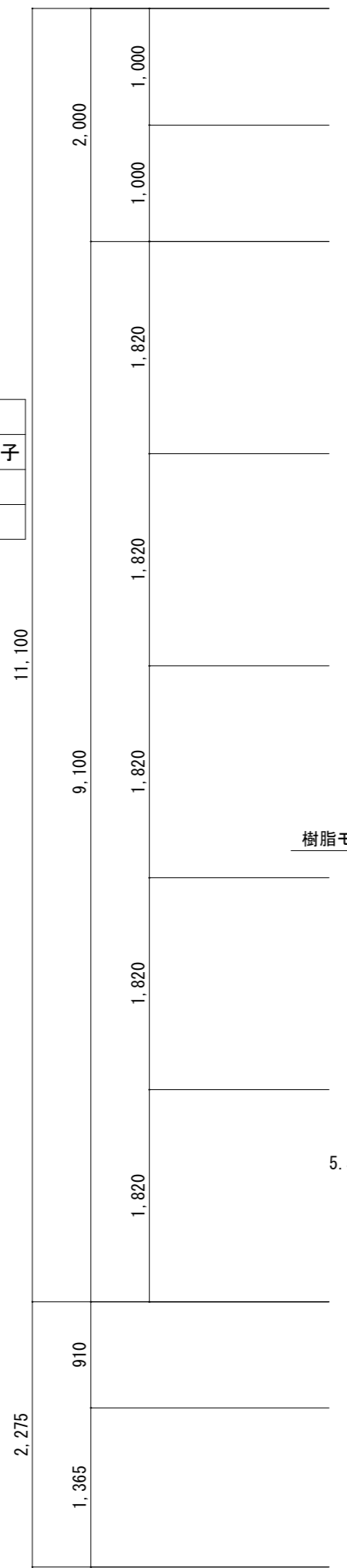
照明器具姿図

A1 A2 A3	FL 20W×2 FL 40W×1 FL 40W×2	B	FL 32W×1	C	FL 40W×2	D	13Wツイン2蛍光灯1灯	
 <p>A1:FSS4-202-GH A2:FSS4-401-RH A3:K1-FSS4-402-RH</p>		 <p>FRS15L5-321-RH</p>		 <p>NF42633SUH</p>		 <p>NF11655EL</p>		
E	FCL 40W+32W	F	FL 20W×1	G	13Wツイン2蛍光灯1灯	H	IL 40W	
 <p>HAZ8873</p>		 <p>HW2601KTGPL</p>		 <p>HLW6202TEL</p>		 <p>NL80071T</p>		
I	IL 40W×6	J	16WパルックボールT形蛍光灯1灯	K	FL 10W×1	WP	L	IL 20W 電池内臓型
 <p>NL17671T</p>		 <p>HEW1016E</p>		 <p>HN6151TGL</p>		 <p>K1-IRS2-20</p>		
M	IL 40W 電池内臓型	N	FL 10W×1 電池内臓型	O	FL 40W×1			
 <p>K1-ISS4-40</p>		 <p>SH1-FBF10P-101</p>		 <p>FSS1-401-RH</p>				

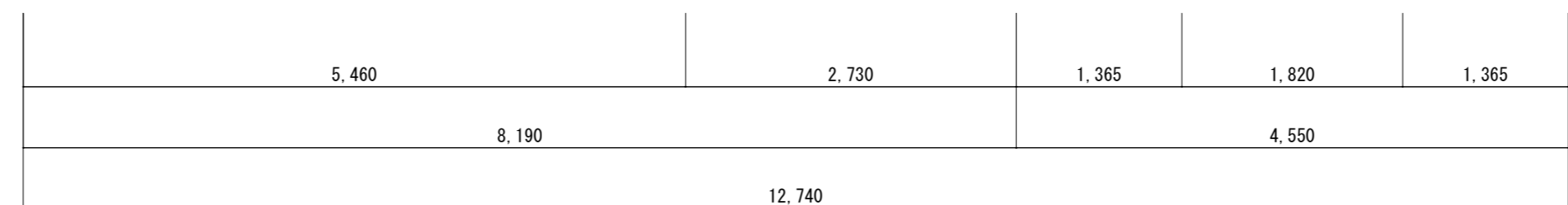


テレビ共同受信設備

特記事項
 撤去：テレビアンテナ、混合器、屋根馬、テレビ端子
 屋外配線を撤去し、建物内は残置とする。



平面図 S=1/50



凡例

●	埋込スイッチ 1P15A×1
○	埋込スイッチ 1P15A×1 確認表示灯
●	埋込スイッチ 3W15A×1
●●	埋込スイッチ 1P15A×2
●○	埋込スイッチ 1P15A×1 + 確認表示灯
●●●	埋込スイッチ 1P15A×1 + 3W15A×1
●●●○	埋込スイッチ 1P15A×3
●●●○	埋込スイッチ 1P15A×3 + 確認表示灯
○	埋込スイッチ 確認表示灯 + 強弱スイッチ
●	埋込スイッチ 1P15A×1 防水型
□	コインタイマー 参考寸法：240H×185W×70D
Ⓜ	非常警報装置 一体型 露出
○	埋込コンセント 2P15A×1
○	埋込コンセント 2P15A×2
○	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付
⊗	壁付形 扇風機 450φ コンセント式
└	テレビアンテナ
∇	混合器
○	テレビ端子 端末

● 空気調和設備	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財)日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p> <p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多温箇所排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画直通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(口)・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh・(イ)・Ⅹとし範囲は図示による)</p> <p>⑨ 試運転調整 風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ※しない</p> <p>1 ダクト ※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能 図示による</p> <p>3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>1 小便器用節水装置 JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>2 バリアフリー対応 ・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (照明無 ・照明付)</p> <p>3 衛生器具付風水栓 (1) 器具付風水栓は ※ドライパー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>④ 自動水栓類の電源 ※AC100V ○乾電池等 ・自己発電</p> <p>⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ○AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー ※設ける (ピット内は除く) ・設けない</p> <p>8 掃除用シ ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>9 排水器具用J M継手 ※使用できる ・使用できない</p> <p>10 標記板 大便器、小便器の洗浄用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>12 擬音装置</p> <p>・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事)</p> <p>・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事)</p> <p>・バリアフリートイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事)</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。</p> <p>13 その他</p> <p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施工箇所 管種別 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ・SGP-PD 地中埋設部 (水道直結部分) ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ 地中埋設部 (一般部分) ※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ 県営住宅 住戸内 ※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 便所天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 湿潤シンダー内配管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ・SGP-PD 地中埋設部 (一般部分) ※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ 便所天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 (注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮・ダブり ※協管) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※協管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。</p> <p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水栓 ※給排水水栓を除き大ききの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量水器 ※観メーター (※賞品 ・) ・子メーター (※買い取り ・)</p> <p>5 量水器柵 ※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>6 弁類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水栓柱 ・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))</p> <p>9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ実施すること。</p> <p>10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施工箇所 管種別 雑排水配管 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※SGP (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白) その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 汚水配管 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 共通 地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P 通気配管 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白) その他の部分 ※リサイクルV P 又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビライニング管。RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 柵の適用 別紙柵による。</p> <p>1 配管材料 ・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p> <p>1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-V S ・HIVP 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-V S ・HIVP 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・(b) ・(c))</p> <p>1 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>② シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・ ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む) 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。</p> <p>第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象とししないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	<p>2024.4</p>															
						設計年月日	2024.09	富士見市 総務部 営繕課	課長	副課長	主幹	主査	担当	縮尺	NS	工事名称	市立諏訪集会所大規模修繕工事	図面名	機械設備工事特記仕様書 (2)	図面番号

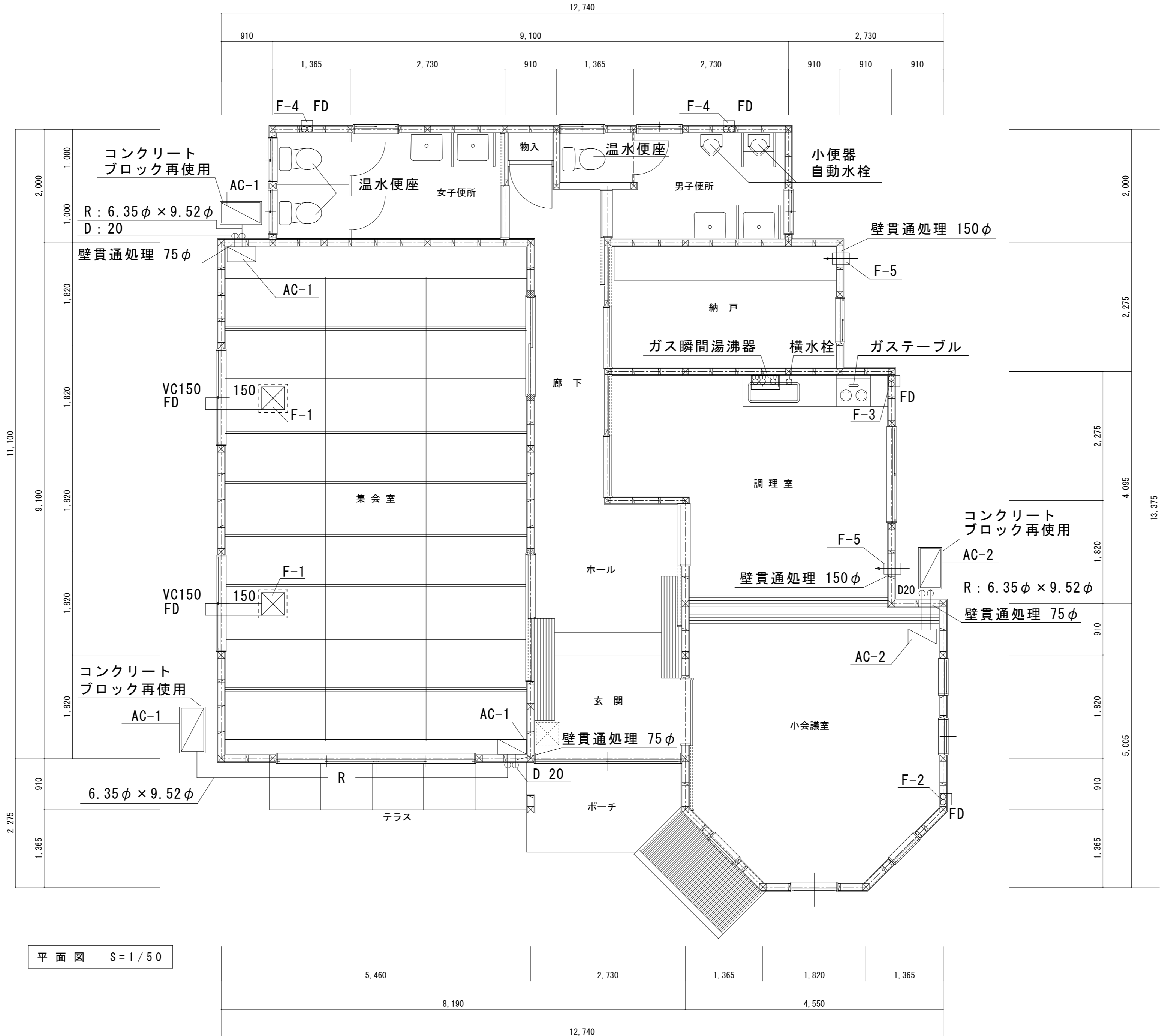
環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	<p>留意事項</p> <p>1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。</p> <p>2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。</p> <p>3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。</p>																																																																																																					
	2 アスベスト含有分析 調査	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]</p> <p>・ 行う（下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示</p> <p>分析対象</p> <p>※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）</p> <p>調査方法・分析方法</p> <p>※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。</p> <p>分析結果については、監督員に提出すること。</p>	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																											
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																					
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																						
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																						
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																						
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																						
3 アスベスト粉じん 濃度測定	<p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）</p> <p>測定箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベ#1</td> <td>レベ#2</td> <td>レベ#3</td> <td>測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点・各3点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点 空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>各1点 除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベ#3は1点)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベ#3は1点)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定10</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ファン径の直径</td> <td>25 mm</td> <td></td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ×直径比 3:1 以上の繊維状物質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成（記録する項目）</p> <p>ア 測定結果</p> <p>イ 測定時間</p> <p>ウ 測定位置（測定高さとともに図面に記載）</p> <p>エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ径、吸引時間、吸引空気量）</p> <p>オ マウンティング方法</p> <p>カ 顕微鏡視野面積、計数視野数</p> <p>キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	レベ#1	レベ#2	レベ#3	測定1	処理作業室内	※各2点・各3点	○	○	・	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	○	○	・	測定3	処理作業室内	各2点	・	・	・	測定4	セキュリティゾーン入口	各1点 空気の流れを確認	○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点 除じん装置の性能確認	○	○	・	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	○	○	・	測定7	処理作業室内	各2点 (レベ#3は1点)	○	○	・	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	・	・	・	測定9	処理作業室内	各2点 (レベ#3は1点)	・	・	・	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			ファン径の直径	25 mm		47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ×直径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																																		
レベ#1	レベ#2	レベ#3	測定1	処理作業室内	※各2点・各3点																																																																																																		
○	○	・	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																		
○	○	・	測定3	処理作業室内	各2点																																																																																																		
・	・	・	測定4	セキュリティゾーン入口	各1点 空気の流れを確認																																																																																																		
○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点 除じん装置の性能確認																																																																																																		
○	○	・	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																		
○	○	・	測定7	処理作業室内	各2点 (レベ#3は1点)																																																																																																		
○	○	・	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																		
・	・	・	測定9	処理作業室内	各2点 (レベ#3は1点)																																																																																																		
・	・	・	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																		
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5																																																																																																				
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																						
ファン径の直径	25 mm		47 mm																																																																																																				
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																				
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																				
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																						
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																						
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ×直径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																						
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																				

4 7μm以上含有吹き付け材の撤去（レベル1）	<p>アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3]</p> <p>・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等</p> <p>処理方法</p> <p>※密封処理（二重袋梱包）</p> <p>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。</p> <p>・セメント固化</p> <p>処理を行う吹き付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）	<p>アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]</p> <p>・ 行う</p> <p>作業上の隔離</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）	<p>1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]</p> <p>・ 行う</p> <p>処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による除去</p> <p>・ 行う</p> <p>処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材付配管</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有配管フランジパッキン</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。</p> <p><参考>石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre> graph TD A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --> B["可能性あり・不明"] A --> C["可能性なし"] B --> D["(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）"] D --> E["可能性あり・不明"] D --> F["可能性なし"] E --> G["分析を実施しない場合"] E --> H["分析を実施する場合"] G --> I["石綿含有とみなす"] H --> J["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"] J --> K["石綿含有0.1%を超えていると判断"] J --> L["石綿含有0.1%以下と判断"] K --> M["石綿使用あり・届出要件確認・届出"] L --> N["石綿使用なし"] </pre> <p><参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー</p> <p>1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）</p> <p>成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹き付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。</p>	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・		※ 図示	・		※ 図示	・		※ 図示	・		※ 図示	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて	・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて	・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて			※ 図示 ○撤去範囲すべて
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・		※ 図示																													
・		※ 図示																													
・		※ 図示																													
・		※ 図示																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													

<p><作業フローチャート></p> <p>石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施</p> <p>工事計画・要領書の作成・届出 必要機器・資材の準備・調達</p> <p>除去工事実施の表示 外側から見やすい位置に掲示する。</p> <p>事前清掃</p> <p>周辺の養生 床養生以外に開口部もシート等で養生する。</p> <p>粉じん飛散抑制剤の散布・遠送</p> <p>取り残しあり</p> <p>原形のまま取り外し 破壊した場合は、高性能真空掃除機で清掃する。</p> <p>取り残しがないことの確認</p> <p>除去面に粉じん飛散防止処理剤散布</p> <p>養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布</p> <p>養生の撤去</p> <p>最終清掃</p> <p>作業記録</p> <p>所管行政の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分</p>	<p>2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）</p> <p>建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱いは作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。</p> <p><作業フローチャート></p> <p>石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施</p> <p>作業計画の作成・作業の届出 必要機器・資材の準備・調達</p> <p>除去工事実施の表示 (所管行政の指導がある場合)</p> <p>事前清掃</p> <p>石綿含有部分以外の部分で切断 参考図のとおり切断する。</p> <p>プラスチックシートまたは袋で二重梱包</p> <p>最終清掃</p> <p>作業記録</p> <p>切断部分の収集・運搬</p> <p>最終処分</p> <p>参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法</p> <p>参考図2 配管フランジパッキンの除去方法</p>
<p>3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）</p> <p>直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱いは作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。</p> <p><作業フローチャート></p> <p>石綿作業主任者の選任 作業員への特別教育の実施</p> <p>工事計画・要領書の作成・届出 必要機器・資材の準備・調達</p> <p>除去工事実施の表示 外側から見やすい位置に掲示する。</p> <p>事前清掃</p> <p>周辺の養生 開口部等をシート等で養生する。</p> <p>配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生 配管エルボ部を湿らしたウエス等で湿潤化</p> <p>石綿含有部分以外の部分で切断 参考図のとおり切断する。</p> <p>薬液で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包</p> <p>最終清掃</p> <p>作業記録</p> <p>切断部分の収集・運搬</p> <p>最終処分 ※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。</p> <p>参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法</p>	<p>2024. 4</p> <p>設計年月日</p> <p>2024. 09</p> <p>富士見市 総務部 営繕課</p> <p>課長 副課長 主幹 主査 担当</p> <p>縮尺</p> <p>N S</p> <p>工事名称</p> <p>市立諏訪集会所大規模修繕工事</p> <p>図面名</p> <p>機械設備工事特記仕様書（3）</p> <p>図面番号</p> <p>M - 0 3</p>

機器表(新設)

記号	名称	仕様	設置場所	台数	備考
AC-1	ルームエアコン	冷房能力：4.0kW 暖房能力：5.0kW 壁掛型 1φ200V リモコンホルダー共	集会室	2	S403ATVP-W 相当品
AC-2	〃	冷房能力：5.6kW 暖房能力：6.7kW 壁掛型 1φ200V リモコンホルダー共	小会議室	1	S563ATVP-W 相当品
F-1	天井換気扇	24時間換気 180φ 強弱スイッチ共 SUS製FD付ベントキャップ共 P-04SWL2	集会室	2	VD-20ZVR7-C 相当品
F-2	壁付換気扇	250φ × 880CMH SUS防虫網ウエザ-カバー共	小会議室	1	EX-25SH9 相当品
F-3	〃	〃	調理室	1	EX-25EMP9 相当品
F-4	〃	200φ × 540CMH SUS防虫網ウエザ-カバー共	男子・女子便所	2	EX-20SH9 相当品
F-5	給気レジスタ	150φ SUS製防虫網ベントキャップ共	集会室・調理室	3	P-18QSR 相当品
	ガス瞬間湯沸器	屋内壁掛式 開放式 5号	調理室	1	
	ガステーブル	2口コンロ 幅59cm グリル機能なし	〃	1	
	横水栓	スパウト回転式 泡まつキャップ付	〃	1	T130AEQF13 C 相当品
	温水便座	洗浄・暖房便座・脱臭機能付	男子・女子便所	3	CW-KB31 相当品
	小便器自動水栓	自動フラッシュバブル(露出形・電池式)	男子便所	2	TEA61ADS 相当品



平面図 S=1/50

器具表

名 称	記 号	便男 所子	便女 所子	調 理 室	そ の 他	計	備 考
洋 風 大 便 器	C770+S771B	1	2			3	INAX C110+DT1810 抗菌仕様
小 便 器	U307C+FV	2				2	U321+FV 抗菌仕様
洗 面 器	L230	2	2			4	L132G 抗菌仕様
	TS126AR	2	2			4	
化 粧 鏡	TS119FR3	2	2			4	
自 在 水 栓	T130AR-13			1		1	
散 水 栓	T27-13 SUSボックス				1	1	
ガ ス 湯 沸 器	5号 元止式			1		1	GV+GC 共
ガ ス カ ラ ン	LBヒューズコック9.5m/m			1		1	

機器表

記 号	名 称	仕 様	台 数
F - 1	天井換気扇	低騒音形 380m ³ /h × 3mmAq SUSパイプフード 150 FD付	2
F - 2	換 気 扇	インテリアタイプ 25cm × 600m ³ /h SUSウェザーカバー FD付	1
F - 3	〃	電気式 25cm × 900m ³ /h 〃	1
F - 4	〃	〃 20cm × 400m ³ /h 〃	2
AC - 1	ヒートポンプ式 エアコン	天井埋込カセット形(2方向吹出し) 冷房能力 5.0kW 暖房能力 5.6kW 圧縮機 1.5kW 1φ 200V 室内外連絡配線共 コンクリート基礎共	2
AC - 2	〃	壁埋込形 冷房能力 4.0kW 暖房能力 5.6kW 圧縮機 1.1kW 1φ 200V 取付枠 グリル付 室内外連絡配線共 コンクリート基礎共	1

